年報
２０２１

vol.19

～人と自然と文化の調和した丹波の森づくりをめざして～

（公財）兵庫丹波の森協会

県立丹波の森公苑
県立丹波年輪の里
県立ささやまの森公園
県立丹波並木道中央公園

CONTENTS

もくじ

森トピックス P1

活動方針 P2

事業報告 P5

兵庫丹波の森協会事務局
丹波の森公苑 P40
講座一覧 P41
出前講座の状況 P49
活動一覧 P50
施設利用一覧 P55
評議員会・理事会・運営委員会の開催状況及び委員等名簿 P57
機能 P62
沿革 P67
施設の概要 P69
組織と職員 P71

丹波年輪の里 P73
活動一覧 P74
施設利用一覧 P76
運営協議会委員及び関係者名簿 P77
沿革 P78
施設の概要 P80
組織と職員 P81

ささやまの森公園 P82
活動・施設利用一覧 P83
運営協議会の開催状況及び委員名簿 P89
機能 P91
沿革 P92
施設の概要 P94
組織と職員 P95

丹波並木道中央公園 P96
活動一覧 P97
施設利用一覧 P103
森の円卓会議の開催状況及び委員名簿 P109
施設の概要・沿革 P111
組織と職員 P112

利用案内
利用案内 P114

森トピックス

１．たんばハブ・パーク ・・・P18
丹波並木道中央公園

２．フェノロジーカレンダー ・・・P20
丹波年輪の里・ささやまの森公園・丹波並木道中央公園

３．国蝶オオムラサキの舞う里山づくり ・・・P21
丹波の森公苑

４．昆虫大捜査線 in 丹波の森公苑 ・・・P23
丹波の森公苑

５．森の学校（第 14 期生） ・・・P26
ささやまの森公園

６．講座「丹波学」の開設 ・・・P31
丹波の森公苑

７．アートクラフトフェスティバル in たんば 2021 ・・・P35
丹波年輪の里

活動方針

兵庫丹波の森協会は、昭和 63 年（1988）に設立（平成２年（1990）法人化、平成 24 年（2012）公益財団法人へ移行）され、「丹波の森宣言」（昭和 63 年９月１日）に基づき、人材育成、ふるさと教育の推進、地域づくり活動の支援に取り組むとともに、県立４施設（丹波の森公苑、丹波年輪の里、ささやまの森公園、丹波並木道中央公園）の指定管理者として、丹波の森づくりの拠点施設に相応しい運営を担ってきた。

平成 30 年度には、「丹波の森宣言」から 30 周年を迎え、これまでの取組を総括し、改めて「丹波の森宣言」に込められた地域づくりの理念の重要性を確認し、ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）等の新たな視点を加え、今後の 30 年を見据えた「丹波の森づくりのこれから」として取組の方向性を示した。

一方、令和２年１月以降、新型コロナウイルスの感染が拡大し、令和２年度は二度の緊急事態宣言の下、「三つの密」の回避やリモートワークなど新しい生活様式の中での事業推進や施設運営のあり方が問われてきた。新型コロナウイルス禍で、丹波地域はもとより全国的、世界的な規模で失われた損失や非日常からの回復、復興と価値観の再構築が大きな課題となる中、丹波地域が有する豊かな自然環境や森のスローライフなど生活スタイルの持つ特性が、今後の新しい生活様式に最も適応した地域として田園回帰や二地域居住に広がるなど、大きく注目されている。

これまでの丹波の森づくり活動の実践として、令和２年度には、「檜皮葺」の選定保存技術を含む「伝統建築工匠の技」がユネスコの無形文化遺産に登録されたことや「丹波篠山の黒大豆栽培」が日本農業遺産に認定されるなど丹波の森づくりは、着実な展開が見られる。また、恐竜・哺乳類等化石を活かした丹波地域恐竜化石フィールドミュージアムの推進では、世界最小恐竜卵化石の発見や化石石割体験、スタンプラリーを通じた啓発活動の他、篠山層群が露頭する川代渓谷の旧県道整備などの取組が進んでいる。また、生物多様性では、本州で一番低い中央分水界（分水嶺）を全国に発信する氷上回廊水分れフィールドミュージアム拠点施設「水分れ資料館」のリニューアルオープン、有機農業の郷丹波市市島町でのコウノトリ巣塔設置、丹波篠山市での河川環境整備など新たな展開が始まっている。

こうした取組を着実に前進させ、未来に繋ぐため、森の自然や文化と調和した地域生活情報の発信、生物多様性を重視した環境学習の推進、里山の価値を見直し、丹波産材の活用を促す木育の推進など様々な分野の学習、交流、地域づくり事業等を、ポストコロナ社会に向けた新しい生活様式の中で先導して推進し、支援していく。

ウィーンの森親善訪問は、新型コロナウイルスの終息まで実施を見合わせるが、オオムラサキの交流では、2019 年から 2020 年までの飼育状況の整理及び新生卵が未孵化となった解析とオオムラサキの食樹であるエノキの現地での育成に取り組む。

芸術文化においては、丹波地域の秋の風物詩となっている「丹波の森国際音楽祭シューベルティアーデたんば」の再開と、丹波文化団体協議会等の活動を継続して支援することにより、地域の芸術文化活動の活性化と発展を推進していく。

丹波の森研究所では、リモートワークや移住・二地域居住の視点も加え、引き続き「小規模集落の活性化に向けた地域づくり」及び「生物多様性保全に向けた丹波の森の環境づくり」を重要研究テーマに位置づけ、大学や地域、行政機関と連携し、研究・調査に取り組むとともに、様々な市民活動を支援するシンクタンクとしての役割を果たしていく。

また、当協会が指定管理を担っている県立４施設は、令和３年度から新たな事業計画に基づく指定

管理期間が始まるため、丹波の森宣言の実践施設として、さらに人的交流を含む施設間の連携強化を図り、里山文化の魅力発信、芸術文化の振興に向けた取組の充実を図る。

【公益財団法人兵庫丹波の森協会（公益目的事業）】

１　森林文化（地域づくり）の創造

人と自然が共生する丹波の森づくりを推進するために

⑴ 魅力ある地域づくりの推進

⑵ 生物多様性保全に向けた豊かな地域づくりの推進

⑶ 生物多様性を育む地域とのふれあい事業の推進

２　生活創造活動への支援

多様なライフスタイルの創造を支援するため、地域・団体活動の支援や生涯学習の場の提供、くらしの安全安心の推進、明日を担う丹波っ子の育成など生活創造活動への支援を行う。

３　芸術文化の振興

人と人、人と自然のふれあいの中から生まれた文化を大切にする心を醸成するとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供や芸術文化活動の振興、芸術文化団体活動の支援など芸術文化の振興を図る。

【施設ごとの活動方針】

・「県立丹波の森公苑」では、自然と織りなす豊かなライフスタイルを創造するための拠点施設として、新型コロナウイルス感染予防に配慮した運営を行いながら、丹波らしさを活かした地域づくりを推進する。

１　丹波の森公苑の里山を活用し、里山林の整備や自然体験学習の場を提供することにより森づくりに参画する人材の育成を図るとともに、青少年の環境学習を推進し、人と自然が共生する丹波の森づくりを進める。また、シンボルの森として里山を楽しめる施設となるよう維持管理を行う。

２　豊かなライフスタイルを創造するための県民の主体的な活動を支援するため、丹波地域の団体・グループ等の活動情報を収集・発信するとともに施設利用団体への活動支援をする。また、生涯学習の一環として高齢者に学習と交流の機会を提供し、永年培ってきた知識や経験をより磨き、地域づくりの実践者を養成する。

本年度は、オンライン講義の導入を検討するとともに、各講座・研修等の内容の充実を図り、シニア世代の豊かな学びと社会参加を支援する。

３　音楽・演劇等の優れた芸術に触れる機会と創作活動の発表の場を提供するとともに個性豊かな地域文化を育てる。地域で芸術文化活動を展開している丹波文化団体協議会等の活動を支援するほか、丹波の森国際音楽祭シューベルティアーデたんばのコンサートを再開し、地域の芸術文化活動の活性化と発展を推進する。

また、丹波の森公苑ホールは、天井耐震化工事等計画的な改修工事を実施するとともに、丹波の森公苑の施設全般について老朽化の改修工事を推進する。

・「県立丹波年輪の里」では、地域の木工クラフトの創造・創作活動の拠点として、木とのふれあいの中で、物づくりの楽しさを伝えると共に、「暮らしの中に木を取り入れる」ことをねらいとして木の普及

振興に努める。

特別木工教室においては、初心者向けの教室から本格的な木工教室まで、幅広い実習内容を工夫すると共に、団体及び個人利用者向けには、木工キットメニューの見直しを随時行う。

林産指導事業においては、県農政環境部林務課及び県木材業協同組合連合会と連携し、木材研修会や木育キャラバン事業、情報収集広報活動等の充実を図る。

・「県立ささやまの森公園」では、自然との共生を体験する施設として、里山保全や多彩な自然体験プログラムを展開し、世代や地域を越えた交流を通じて、豊かな丹波の里山づくりを推進する。

さらに、コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社明石工場の森づくり活動の取組に協力する。この取組を通して、広葉樹を中心とした樹林の維持造成を推し進め、水源地として魅力ある里山づくりに努める。

・「県立丹波並木道中央公園」は、令和３年度から新たな指定管理期間を迎えるにあたり、「丹波の森構想」と「ＳＤＧｓ」の理念や考え方を踏まえ、当公園の資源である自然環境、生物多様性、里山、棚田などを活用した事業や、当公園の魅力である丹波の特産物と恐竜化石を活かしたイベントの実施などを、地域や各種団体と連携強化を図りながら取り組む。

またポストコロナ社会に適合した利用促進や利便性の向上を図るため、利用の質を変える新サービスを展開する。具体的には、花木林や景観林に遊べる森ゾーンの創出や、自然観察などセルフ型の公園遊びプログラムの開発、専門的観点から多様な人が楽しめるユニバーサルな公園備品の設置や空間整備など、来園者が憩いと安らぎを感じる公園運営に努める。

事業報告

令和３年度に実施した（公財）兵庫丹波の森協会の主要な事業・取り組み

公１　森林文化（地域づくり）の創造

（１）魅力ある地域づくりの推進

・丹波の森大学の開設
・ウィーンの森親善訪問事業
・丹波の森研究所
・地域づくり支援事業
・花づくり活動支援事業
・丹波の森フェスティバルの開催
・丹波の森収穫祭（なみきみちまつり）の開催【県立丹波並木道中央公園】
・丹波年輪の里事業【県立丹波年輪の里】
・丹波並木道中央公園事業【県立丹波並木道中央公園】

（２）生物多様性を育む地域づくりの推進

・丹波地域生物多様性保全事業
・丹波の森公苑里山事業
・丹波の森公苑環境学習推進事業
・ささやまの森公園事業【県立ささやまの森公園】

公２　生活創造活動への支援

（１）地域・団体活動の支援

・生活創造活動支援事業（消費生活を含む）
・生活創造活動施設貸し館業務
・スポーツ大会・文化教室の開催【県立丹波年輪の里】

（２）生涯学習の場の提供

・兵庫県地域高齢者大学４年制大学講座（丹波ＯＢ大学）の開設
・兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座（丹波ＯＢ大学大学院）の開設
・講座「丹波学」の開設
・丹波地域学ぶ高齢者のつどいの開催

（３）明日を担う丹波っ子の育成

・トライやる・ウィーク等の受入【全施設】
・丹波の森子どもミュージカル体験塾の開催
・丹波（丹波篠山市・丹波市）のむかしばなし語りべクラブの活動支援

公３　芸術文化の振興

（１）舞台芸術鑑賞機会の提供

・丹波の森国際音楽祭シューベルティアーデたんばの開催
・丹波の森公苑ホール等自主事業

（２）芸術文化活動の振興

・アートクラフトフェスティバル in たんばの開催【県立丹波年輪の里】
・丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちゃ展）の開催【県立丹波年輪の里】
・丹波の森アートフェスティバルの開催
・展示ギャラリ―の開設
・伝統文化活性化支援事業
・丹波の森公苑芸術文化配信事業
・座っ展―丹波で坐る木の椅子―の開催【県立丹波年輪の里】
・音楽活動団体等への支援

公共　丹波地域情報の発信等

（１）丹波地域情報の発信等

・年報の発行、ホームページ等による情報発信

他１　芸術文化団体等活動支援事業

（１）芸術文化団体等活動支援

・芸術文化団体等への活動支援【全施設】

※【　　】書きは実施している施設名を記載。記載がないものは県立丹波の森公苑で実施。

丹波の森大学の開設

◇実施内容

学習の基本テーマを「森の声を聴く」とし、丹波の森から聞こえる様々な森の声に耳を傾け、先人が築きあげた文化や歴史を大切にし、自分の言葉で話しかけることから、新しい丹波の森づくりを始めるきっかけを学ぶ講座を開催しました。現地学習では、滋賀県近江八幡の新町通り、旧西川家住宅、八幡堀、日牟禮八幡宮をボランティアガイドの解説を受けながら見学をしました。

講義

開催期間：５月２９日（土）～令和４年１月２２日（土）
講義８回と現地学習１回

令和３年５月２９日（土）に開講式を開催
令和４年１月２２日（土）に閉講式を開催

場　　所：丹波の森公苑、丹波篠山市民センター
受 講 者：５７人（延べ４２９人）
（詳細は P41 講座一覧表に掲載）

◇成果（自己評価等）

丹波の森から聞こえてくる様々な声に耳を傾け、向き合うことで、人づくり、地域づくり、環境づくり、それを支えるもりびとづくりのための学習と実践の場となりました。また、「丹波の森構想」の理念や丹波地域の地域づくり活動に関わることの醍醐味を、改めて確認することができました。

ウィーンの森親善訪問事業

◇実施内容

平成 31 年２月に交流のシンボルとして送った国蝶オオムラサキの幼虫 60 頭のうち 30 頭が、令和元年度にウィーン 13 区の国立シェーンブルン動物園で育成し、産卵しました。しかし、令和２年度に産卵した卵は孵化せず、令和３年度の繁殖事業は休止せざるを得ない状態となっていました。そのような中において、丹波の森公苑内で産卵し孵化した幼虫をたくさん確保できたため、令和４年３月に幼虫 150 頭を国立シェーンブルン動物園に送付しました。

送付した越冬幼虫
（シェーンブルン動物園にて）

◇成果（自己評価等）

令和２年８月に産卵したが孵化せず、ウィーン産二世の誕生を迎えられませんでしたが、オオムラサキは、ウィーンの森と丹波の森の友好の象徴と位置付けられています。平成 26 年より数回にわたり、越冬幼虫を持参もしくは送付したことにより、シェーンブルン動物園のオオムラサキの飼育能力は充実してきました。令和４年３月に送付した幼虫も無事に到着し、今後の繁殖事業に繋げることができました。

丹波の森研究所の活動

◇実施内容

丹波の森研究所の調査研究

丹波の森研究所では、令和元年度より、「丹波の森宣言３０周年記念シンポジウム」で提案された新たな課題として「集落に住み続ける」、「生物多様性を育む」について継続した調査研究を行っています。

①移住者増大と地域活性化に関する調査

本調査は、丹波地域における小規模集落再生に向けた地域の基礎情報として地域環境の魅力の発掘と地域意識評価をアンケート調査やワークショップで把握し、今後の移住者等の人材定着のための地域環境の魅力化と再生方策の検討を目的としています。

【移住促進策に対する考え方】

調査では特に「移住希望者への田舎暮らしや自治会ルール等の丁寧な説明」や「移住者が地元居住者や先輩移住者に相談できる環境づくり」が最も期待される施策であると判断された。

アンケートの分析から注目すべき点として、「地元居住者と移住者との交流の度合い」と「地域活動の活発化」とには、有意な相関がみられました。このことから、地域の活性化の一つの手法として、地元居住者と移住者との交流の機会の創出やその場づくりが今後の施策提言で重要となると考えています。

②シンポジウムの開催

これまでの調査を踏まえ、シンポジウム「丹波の森づくりの新展開に向けて」～次世代のもりびとと共に～を開催しました。自治会やまちづくり協議会、また両市、県民局の関係部局など約 150 名の参加がありました。

シンポジウムは、調査研究の報告のあと、地元の自治会長やまち協の代表、活躍されている移住者、まちづくりの専門家に集まっていただきパネルディスカッションを行いました。冒頭、今井県民局長から移住者への期待や移住対策の展開など、今後の方向についてお話して頂きました。

③生物多様性の推進に向けた実践プロジェクト提案

生物多様性の推進に向けた実践プロジェクトの提案では、丹波の森公苑をベースとして、『丹波の森の再生と継承プロジェクト』をテーマとし、次世代を担う中高生とともに「生物多様性の推進」を目指して、人材育成につなげていこうとしています。

丹波森公苑では初代の丹波の森公苑長である河合雅雄先生の理念のもとに「縄文の森塾」が小学生を対象として継続して開催されています。プロジェクト提案では、「縄文の森塾」のアドバンスコースとして、高校生や大学生などを対象とした「縄文の森ユース躍動プロジェクト」を開講することになりました。この講座では、野生動物や地域の里山の植物の生態系での役割について理解を深め、さらに、人との関わりの歴史や現代における課題を知り、生物多様性を知るきっかけとしたいと考えています。

④地域づくり支援事業（アドバイザー派遣事業）

活力と魅力ある丹波の森づくり推進に向けて、地域のまちづくり活動団体のほか、行政や大学等と連携しながら地域づくり活動を支援しています。

ア）丹波篠山市河原町地区

令和５年度に予定されている河原町通り無電柱化完成記念で修復されたお披露目を検討している実行委員会のコーディネートを支援しました。

イ）福住地区まちづくり協議会

昨年度策定された「戦略的移住推進モデル事業」計画に基づき、その展開について他地区での事例等を紹介しながらアドバイスを行った。

受託事業等

①フィールドミュージアム推進総合プロデューサー

（丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会委託事業 ）

主な事業の一つは「丹波地域恐竜化石オンラインセミナー」で、２回開催しました。１回目は丹波篠山市立太古の生きもの館から、２回目は、丹波竜発見地の隣の上滝発電所記念館から行いました。現在は、ユーチューブでアーカイブ配信を行っています。

もう一つは「丹波地域恐竜化石モバイルスタンプラリー」でスタンプラリーを活用して、ギネス世界記録に認定された「世界最小の恐竜卵化石」の発見地や恐竜ゆかりの地 10 か所をめぐる非接触型のモバイルスタンプラリーを実施しました。

②丹波地域のモデルとなる里山づくり活動団体支援

（丹波の里山づくり促進事業実行委員会委託事業）

丹波の里山づくり支援として、10 地区のモデル地区にアドバイザーを派遣しました。

③丹波地域の移住および二地域居住等現状分析事業

（兵庫県地域創生局地域創生課委託事業）

「移住」や「二地域居住」を推進していく上で、キーマンとなっている人へのヒアリング調査を行うとともに、「丹波の森宣言」以降の地域活動のキーマンの系譜を調査しました。

④福住地区戦略的移住推進モデル事業の支援

（福住地区まちづくり協議会委託研究）

本事業は、福住地区で実施されている移住推進の仕組みづくりや移住コーディネーターが展開しようとしている諸事業ついて、まちづくり協議会や自治会とディスカッションしながら支援しています。

丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進事業
出張化石発掘体験会 2021

◇実施内容

県立人と自然の博物館が認定した化石専門指導員を活用し、これまで丹波地域内で開催してきた化石発掘体験会を阪神間等の施設で実施しました。

（篠山チルドレンズミュージアム）
　開催日：６月２０日（日）
　参加者：４５人（３回）
　開催日：８月２８日（土）
　参加者：４３人（３回）
　開催日：１０月９日（土）
　参加者：３８人（３回）
（県立尼崎の森中央緑地）
　開催日：７月１０日（土）
　参加者：４０人（４回）
　開催日：令和４年
　　１月１６日（日）
　参加者：４５人（３回）
（県立舞子公園）
　開催日：８月７日（土）
　参加者：４０人（４回）
（県立淡路島公園）
　開催日：１０月３日（日）
　参加者：３８人（３回）
（県立丹波の森公苑）
　開催日：１０月２４日（日）
　参加者：３１人（３回）
（県立一庫公園）
　開催日：１１月３日（水・祝）
　参加者：４４人（４回）
　開催日：１１月６日（土）
　参加者：４１人（４回）
（西紀サービスエリア上り線）
　開催日：１１月２０日（土）
　参加者：４５人（１２回）
（淡路島国営明石海峡公園）
　開催日：１２月４日（土）
　参加者：４１人（３回）
（県立丹波並木道中央公園）
　開催日：令和４年
　　３月１９日（土）
　参加者：２３人（３回）

県立淡路島公園

県立一庫公園

淡路島国営明石海峡公園

◇成果（自己評価等）

丹波地域恐竜化石フィールドミュージアムエリア外でも化石発掘体験会を行うことにより、県内外から来られた参加者に恐竜化石等の化石発見地である丹波地域を広く周知し、興味を持って頂くことができました。

丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進事業
オンラインセミナー

◇実施内容

「篠山層群」で進んでいる化石発掘調査やその成果を近隣地域の方だけでなく、遠隔地の方にも広く伝えることのできるオンラインシステムを活用して、地域の魅力を発信し、来訪者の増加につなげ地域活性化を目指すことを目的として、丹波地域恐竜化石フィールドミュージアムオンラインセミナーを実施しました。

１「恐竜化石調査に“参加する”ってどんなこと」
開催日：１０月３１日（日）１４時～１５時１５分
配信場所：太古の生きもの館
内　容：YouTube を用いて生配信（申込不要・無料）
セミナー終了後 YouTube で配信中
https://youtu.be/zvD5YGPLoTM
・特別配信：「恐竜化石の発掘調査に参加しよう！」
化石の発掘から調査まで。実際の現場の様子を解説動画でチェック
・化石を岩石から取り出す「剖出（ぼうしゅつ）」作業をのぞき見
・質問タイム

恐竜化石調査に“参加する”ってどんなこと

２「化石研究を語りつくそう in 篠山層群」
開催日：令和４年
３月２０日（日）１４時～１５時３０分
配信場所：旧上久下村営上滝発電所記念館
２Ｆ展示室
内　容：YouTube を用いて生配信（申込不要・無料）
セミナー終了後 YouTube で配信中
https://youtu.be/Dno4svTJy48
・特別配信：「篠山層群の恐竜たち」
・発掘・調査のリアルな話
・「博士に聞いてみよう」質問コーナー

化石研究を語りつくそう in 篠山層群

◇成果（自己評価等）

オンラインセミナーを実施することにより、県内外の恐竜化石等に興味のある参加者に化石発見地である丹波地域を広く周知することができました。

丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進事業
たんば恐竜街道モバイルスタンプラリー

◇実施内容

丹波地域恐竜化石フィールドミュージアムの主要施設や恐竜化石の発見地など、何度も訪れたくなるような恐竜ゆかりの地をスタンプスポットとした「たんば恐竜街道モバイルスタンプラリー」を実施しました。

期　間：１１月１３日（土）～１２月１９日（日）
参加者：９３６名
総スタンプ数：２，２４５個
応募数：８１７個
内　容：ＱＲコードを使ったモバイルスタンプラリー
　　スタンプ２個ごとに、参加賞（ステッカー）とガチャポン１回
景　品：缶バッチ、丹波竜フィギュア、交換所オリジナルグッズ

スタンプスポット１０箇所

【スタンプスポット（１０か所）】
西紀ＳＡ上り線、西紀ＳＡ下り線、太古の生きもの館、丹波並木道中央公園、篠山チルドレンズミュージアム、篠山城大書院、川代公園、元気村かみくげ、恐竜化石・世界最小の恐竜卵化石発見地、ちーたんの館

【景品交換所（６か所）】
西紀ＳＡ上り線、西紀ＳＡ下り線、丹波並木道中央公園、篠山チルドレンズミュージアム、元気村かみくげ、ちーたんの館

景品交換所ガチャ６箇所

◇成果（自己評価等）

たんば恐竜街道モバイルスタンプラリーを行うことにより、県内外から来られた参加者に恐竜化石等の発見地である丹波地域を広く周知し、興味を持って頂くことができました。

たんばオープンガーデン交流促進事業

◇実施内容

個人の庭を広く一般に公開する社会活動として、「たんばオープンガーデン」が開催されました。花を愛する人が花を通してつながり、「人がつながる」「花がつながる」、そして「交流が始まる」という趣旨に賛同し、当協会としても丹波の森公苑に庭を作り、オープンガーデンに参加しました。

なお開催は５月のみで、４月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になりました。

開催日：５月２３日（日）
場　所：丹波の森公苑内の花壇

◇成果（自己評価等）

昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止であったが、今年度については４月開催は中止になったものの、５月は開催することができました。丹波篠山市及び丹波市管内で 37 の個人宅等のお庭が参加され、それぞれのお庭で人と花がつながり、そこから交流が始まっていました。オープンガーデンは長年継続されてきた地域の取組みであり、当協会としても趣旨に賛同し、協力していくことが重要であると考え、今後も参加していく方針です。

花づくり活動支援事業

◇実施内容

美しい丹波づくりを推進するため、花、緑、園芸に関する知識の習得並びに地域での普及活動のリーダーを育成する教室を開催しました。

（花と緑の教室）

開催日：７、９、１１、１２、３月の年５回
受講者：午前・午後の部　計３９人

（花と緑の教室　自主活動グループ）

開催日：７、９、１１、１２、３月の年５回
受講者：４グループ・１６人
※花と緑の教室と同教室自主活動グループは、新型コロナウィルス感染症拡大防止のため全６回の内１回中止

（園芸教室）

開催日：６、８、９、１０、１２、３月の年６回
受講者：３０人
（詳細は P41 講座一覧表に掲載）

花と緑の教室

◇成果（自己評価等）

丹波地域住民を中心に、花づくりを通じた交流が深まりました。また、平成３０年度からは、過去の受講生をリーダーとし、花の魅力を伝える「自主活動グループ制度」を創設したことにより、地域における普及活動に弾みがついています。

２０２１丹波の森フェスティバル開催

◇実施内容

丹波の森公苑では、真の豊かさの実現をめざす生活創造活動を通じて丹波の森づくりが幅広く展開されるよう住民主役の活動と交流を図る様々な事業を進めており、活動成果の発表や交流の場として、２０２１丹波の森フェスティバルを開催しました。

開催日：１０月２４日（日）
ワークショップ等：１４ブース
活動団体の作品展示等：１０団体
特設ステージ：８団体
来場者：１，１００人

中庭芝生広場

◇成果（自己評価等）

「自然の中で楽しいひと時を！ゆったり満喫☆丹波の森公苑」をテーマに里山体験（ハイキング、ツリーイング）、屋外ワークショップを中心に、感染症対策を行い規模を縮小して開催しました。
秋の好天のもと、約１，１００人の来苑者があり、子どもから大人までゆっくりと自然あふれる丹波の森公苑を満喫していただくことができました。

ツリーイング

丹波年輪の里事業【丹波年輪の里】

① 特別工作教室

◇実施内容

糸鋸教室やスプーンなどを始めとする木工の基本工作を体験できる手軽な内容を多く企画しました。専門性の高い内容では、前年に引き続き、仕込み塾を６か月にわたり長期開催し、また、体験することのできない手道具に関する多くの内容を盛り込んだ教室を開催しました。

【開催した各種教室】

・手仕事道具塾	月２回	１９２人
・Teshigoto work shop（１０月から）	月２回	４８人
・木工基礎　講座　第２１期		６４人
第２２期		７２人
・木工講座（中級）第１０期		４０人
・木工クラブ	２３回	１８４人
・刳りモノ work shop(スプーン削り)	５回	２２人
・ウッドライフ教室(セロテープカッター)	１回	１０人
・ウッドライフ教室(スマホスタンド)	１回	５人
・ウッドライフ教室(オーバルボックス)	１２回	９６人
・ウッドライフ教室(ペーパーカップホルダー)	２回	９人
・ウッドライフ教室(プサルテリー)	３回	１５人
・ウッドライフ教室(焼きペン教室)	２回	１０人
・私が作る(マイスプーン)	６回	４４人
・私が作る(菓子盆と菓子切り)	２回	１４人
・私が作る(積み木)	３回	１５人
・夏休み親子工作教室(鯉のぼり、ひな人形他)	２回	２１人
・ＧＷ親子教室(中止) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため		
・糸のこ教室	５回	２４人
・クリスマスリースづくり	１回	２１人

糸鋸工作教室（５月人形）

◇成果（自己評価等）

木工技術の習得にこられる方が多くなりました。特に木工講座や教室には、多くの希望者があり、好評を得ています。

② 第５回　たんば絵てがみコンクール

◇実施内容

第５回のテーマは「希望」。家族や友人、親しい人の顔を思い浮かべながら、暮らしのひとコマ、風景、身近にあるものを描いた「絵てがみ」を募集し、展示しました。

募集期間：９月１日(水)～１２月２８日(火)
応募者数：３１８人
応募総数：４３９点
展示期間：令和４年２月５日（土）～２０日（日）
場　　所：丹波年輪の里木の館
入 場 者：７６５人（休館日を除く１４日間）
巡 回 展：兵庫県中央労働センター
【令和４年３月１日(火)～２２日(火)】

一般の部金賞「カタリン・カリコ博士へ」

◇成果（自己評価等）

コロナ禍にあっても北海道から鹿児島まで全国各地の子供や大人から多数の応募がありました。審査委員のみなさんからは年々レベルが上がっていると評価いただいており、また、来場者からは多数の心温まる絵手紙作品に好評のお声をいただきました。

③ 児童・幼児対象のワークショップなど木材研修会の開催

◇実施内容

〇開催日：１０月３日（日）
　場　所：丹波年輪の里
　テーマ：「キーホルダー製作」
　参加者：川西市立桜が丘小学校児童　５３人
　　自然学校体験学習の一環として

〇開催日：１０月２１日（木）
　場　所：猪名川町立六瀬幼稚園
　テーマ：「焼板のタオル掛け製作」
　参加者：園児　１７人

〇開催日：１０月２８日（木）
　場　所：宍粟市立波賀みどり保育園
　テーマ：「写真立て製作」
　参加者：園児　２３人

〇開催日：１１月２日（火）
　場　所：宍粟市立波賀幼稚園
　テーマ：「キーホルダー製作」
　参加者：園児　８人

〇開催日：１１月１６日（火）
　場　所：宍粟市立はりま一宮こども園
　テーマ：「メッセージボード製作」
　参加者：３８人

〇開催日：１２月１６日（木）
　場　所：宍粟市立戸原こども園
　テーマ：「写真立て製作」
　参加者：園児　１４人

〇開催日：令和４年２月１８日（金）
　場　所：認定こども園あおがき
　テーマ：「写真立て製作」
　参加者：園児　３０人

木材研修会の様子

〇開催日：１１月１１日（木）
　場　所：宍粟市立山崎若葉保育園
　テーマ：「写真立て製作」
　参加者：１６人

〇開催日：１２月４日（土）
　場　所：丹波年輪の里
　テーマ：「写真立て製作」
　参加者：（福）南但愛育会　児童養護施設
　　睦の家　児童　３人

〇開催日：令和４年２月１日（火）
　場　所：丹波年輪の里
　テーマ：レーザー加工体験、木育活動紹介
　参加者：兵庫県立森林大学校「木育」研修会
　　学生　１２人

〇開催日：令和４年３月５日（金）
　場　所：篠山チルドレンズミュージアム
　テーマ：「キーホルダー製作」
　参加者：一般　４１人

◇木育玩具貸出し（木育キャラバン他）

丹波篠山市・丹波市　認定こども園他８か所

猪名川町　幼稚園３か所

芦屋市　幼稚園５か所

神戸市　保育園他

◇成果（自己評価等）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため研修会や木育活動は難しい状況でしたが、木製玩具の貸出しや宍粟市地域創生課の依頼でワークショップを開催しました。

木の香り、手触りを製作の中で感じ取るとともに、道具を扱う際の緊張感や集中することの大切さも、子どもたちの取り組む姿から感じ取ることができました。

④ 木工クラフトへの新たなアプローチ

力を合わせてアウトドアテーブルを製作

◇実施内容

　クラフト体験を織り交ぜた婚活イベントを２月２６日に、開催しました。

こんかつ inTAMBA 実行委員会との協力で参加者を募り、合計 11 名の方にご参加いただきました。

　体験では折りたたみ式のアウトドアテーブルの製作を設定しました。参加者同士でコミュニケーションを取りながら協力して製作する様にし、実行委員会の提案する「アウトドアこんかつ」のテーマに寄り添った内容を提案しました。

◇成果

　利用者の空白層となっている 20 代から 30 代の利用をピンポイントで確保する事ができ、募集世代の設定と開催回数の充実などで獲得したい利用者層に対する訴求力となると実感しました。

　昼食には専門店にバーベキューの提供を依頼しました。苑内での火気の使用が課題となったがレストランの敷地利用や協力により柔軟に対応することができました。協力機関のニーズに対し当方のルールを押しつけるのではなく、開催時の対策や実績に基づいて利用を許可する事ができた事が今後地域企業との協力イベントやタイアップ企画開催拡充へ大きな一歩となりました。

　今後は、婚活イベントのみに関わらず、特に利用者の薄い 20 代から 30 代の利用に繋がる地域企業とのタイアップ企画・年輪の里内のフィールド整備等を拡充していきます。

また、４施設・県民局との連携でも共有し、「丹波の森」から直接的に若年層に響くプロダクトを発信していきたいと考えています。

丹波並木道中央公園の企画運営【丹波並木道中央公園】

①かやぶき民家と棚田で「丹波の食を丸ごと楽しむ」

◇実施内容

公園や公園周辺には、赤米、丹波篠山茶、大山スイカ、丹波ブランドの黒豆などの食資源が多く存在する。その味覚を公園で味わい、たまには作るところから楽しめる地産地消型の公園×食プログラムを展開しました。

黒枝豆収穫体験

〇棚田での赤米づくり体験

５月２２日（土）　田植え体験　参加者４名
９月２２日（水）　かかし立て＆草引き体験
　　神戸市の認定こども園２名（先生のみ）
１０月２３日（土）稲刈り体験　参加者３名
１０月２６日（火）神戸市の認定こども園３７名

〇黒枝豆収穫体験

１０月１７日（日）参加者２５名

〇丹波篠山茶プロジェクト

５月２５日（火）　茶摘み体験とお茶の作り方　参加者９名
６月５日（土）　かやぶき民家でお茶づくし　参加者３０名
７月４日（日）　七夕茶会 参加者：８名
７月２３日（金・祝）和紅茶づくり　参加者８人
１０月１６日（土）釜炒り茶づくり体験　参加者数８人
令和４年２月６日（日）　寒茶づくり体験　参加者９人

◇成果（自己評価等）

公園内の棚田で行う赤米の栽培は、地域の協力を得て、古代米である赤米を育てています。田植えから稲刈りを体験していただいています。毎年、市外のこども園の幼児や都市部からの親子参加があります。棚田では丹波篠山市の名産である黒枝豆も育てており、収穫体験は人気です。

また、丹波篠山茶プロジェクトは、日本茶インストラクターとともに四季折々のお茶を楽しめるプログラムを企画・実施しました。参加者からは好評でした。

② こころと身体のヘルシーパーク

◇実施内容

多様な世代に、身体だけでなくこころの健康づくりもできる「場」と「機会」を提供しました。丹波地域で活躍をしている専門家を講師に迎え、講座を実施しました。

〇ノルディックウォーキング

１０回実施（５月、８月は天候不良で中止）参加者１２０名

○心とからだの癒し講座

アロマワックスサシェづくり（アロマテラピー）４月２１日（水）参加者：９人

苔玉づくり（園芸療法）５月１９日（水）参加者：１０人

金彩野草図をかこう！（臨床美術）９月２２日（水）　参加者：９人

ハーブの石けんづくり（アロマテラピー）１０月２７日（水）参加者：７人

クリスマスリースづくり（園芸療法）１１月２４日（水）　参加者：８人

心とからだの癒し講座

◇成果（自己評価等）

ノルディックウォーキングは、リピーターでの参加者が多く、手入れの行き届いた公園を歩くのは気持ちいいなどと好評をいただいています。特に林道を通るコースは森林浴ができると好評です。毎月１回の実施で、園内の花や樹木の四季の移り変わりを楽しみながら、気軽に健康づくりができる機会を提供しています。

また心とからだの癒し講座では園芸療法・臨床美術・アロマテラピーを得意とする地元のグループが講師となり、講座を開催しました。

③ゼロエミッションを目指して！植物性廃棄物リサイクル推進事業

◇実施内容

園内の植物廃材を、チップ化・堆肥化や木工プログラムに活用するなど、環境保全につながる取組を推進しました。

○大人の木工教室

１３回　参加者　３９人（1 回の定員は４名～５名）

○こどもクラフト

実施期間：

６月１２日、７月１０日、８月２８日、９月１１日、１０月３０日、１２月５日、令和４年１月１３日、令和４年２月１２日、令和４年３月１２日

参加者　３８人

大人の木工教室

◇成果（自己評価等）

大人の木工教室やこどもクラフトなど、年間を通じて定期的に開催し、多くの方が参加されました。

④ 花と緑を活かしたイベントの実施

◇実施内容

季節ごとにテーマを設定し、実習形式で行う寄せ植え教室などを実施しました。

・第１回　夏の草花の寄せ植えと管理法
　　５月２１日（金）参加者：２１人
・第２回　夏の花木を使った寄せ植えと管理法
　　６月１８日（金）参加者：２４人
・第３回　秋の苔玉づくりと管理法
　　９月１７日（金）参加者：２０人
・第４回　秋の草花の寄せ植えと管理法
　　１０月１５日（金）参加者：２３人
・第５回 ポインセチアを使った寄せ植えと管理法
　　１１月２６日（金）参加者：１８人
・第６回　正月を飾る寄せ植えと管理法
　　１２月１７日（金）参加者：２８人
・第７回　早春の草花の寄せ植えと管理法
　　令和４年２月１８日（金）参加者：９人
・第８回　春の草花の寄せ植えと管理法
　　令和４年３月１８日（金）参加者数：２５人

花と緑の教室

◇成果（自己評価等）

花と緑の教室は実習形式の講座で、寄せ植えのポイントをはじめ、植物の豆知識なども合わせて学ぶことができ、毎回参加される生徒さんが非常に多く、講師からは持ち帰った後の花の管理方法なども指導され、参加者に大変好評です。

⑤たんばハブ・パーク（他施設や行政との連携によるイベントの実施）

◇実施内容

共同事業体が管理運営する他公園や施設、行政などと積極的に連携し、この公園だから実施可能なイベントを協力・連携実施しました。

〇化石発掘体験会（丹波篠山市教育委員会
　７月２５日(日)、８月２２日(日)、１０月３日(日)
　参加者：合計５４人
〇兵庫丹波チャレンジ 200 フルコースライド大会(丹波県民局）１０月２３日（土）～２４日（日）
　参加者：２２人
〇たんば恐竜街道スタンプラリー(丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会）
　１１月１３日（土）～１２月１９日（日）
　参加者：236 人

兵庫丹波チャレンジ 200

◇成果（自己評価等）

行政や様々な団体と連携をし、イベントやプログラムを実施することができました。

⑥ 公園広報誌「PARK LIFE」での情報発信

◇実施内容

３か月に１回、広報誌「PARK LIFE」を作成しました。丹波地域の全小学生と県立都市公園、丹波地域の公共施設等へ配布を行いました。

〇実施内容

Vol.55 春：園内マップ（春）
Vol.56 夏：外遊び
Vol.57 秋：サイクリング
Vol.58 冬：園内マップ（冬）
Vol.59 春：ツリーイング
発行回数：５回
発行部数：14,000 部

PARK LIFE 表紙

◇成果（自己評価等）

公園の広報誌 PARK LIFE の発行を合計５回行いました。広報誌には公園の季節の話題やトピックについて掲載しており、読んだ方からは高評価をいただいています。

生物地域生物多様性保全事業
まるごと季節暦「フェノロジーカレンダー」
（丹波年輪の里・ささやまの森公園・丹波並木道中央公園）

◇実施内容

フェノロジーとは、生物季節学または花暦学という意味で、自然を中心とする年間暦のことです。一年間の自然と生活・活動の流れをつかむことは、時間軸を考慮して地域や施設を立体的に理解し、資源の利活用のあり方を検討していく上で重要な手がかりとなります。
丹波の森公苑（令和元年度完成）に引き続き、丹波年輪の里、ささやまの森公園及び丹波並木道中央公園では、フェノロジーカレンダー作成のためのプロジェクトチームを立ち上げ、関係者によるワークショップを通して情報や写真を収集し、月ごとにカテゴリー（行事、学び、芸術、自然など）に整理をし、完成しました。

◇成果（自己評価等）

各施設の行事やプログラムだけでなく、豊かな自然、生物の生息する施設であると再認識できました。また来園者にとっても優れたガイドブックとして利用していただけるものと期待しています。現在は、来園者等にお持ち帰りいただけるよう各施設に配置していますが、今後は活用方法も検討しながら内容も更新し、より良いものになるようにしていくことが課題です。

丹波年輪の里

ささやまの森公園

丹波並木道中央公園

里山ボランティア（森づくりスタッフ）養成事業

◇実施内容

里山の魅力や大切さをともに考え、身近な里山づくりを促進していくため、里山整備・管理活動などの森を守り育てる人材養成に取り組みました。

・森づくり活動アドバイザー２人設置
・里山倶楽部等の協力による里山林の保全整備
・森づくり講座の開催
（詳細は P42 講座一覧表に掲載）

森づくり講座

◇成果（自己評価等）

これまで里山の整備・管理に関するノウハウを伝授した森づくり講座受講者等が、丹波の森公苑の里山を拠点としたボランティア活動へ参加するなど、森づくりに参画する人材の育成につながっています。

国蝶オオムラサキの舞う里山づくり

◇実施内容

生物多様性保全に向けた豊かな里山づくりを進めるため、里山のシンボルである国蝶オオムラサキを飼育展示するとともに、小学校等を中心とした地域での飼育指導等、関係機関と連携し実施しました。

啓発事業である「放蝶会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため７月４日（日）に、兵庫丹波オオムラサキの会会員のみで実施しました。

また、地域の小学生を対象に「オオムラサキイメージ画コンテスト」を開催しました。

・小学校等への飼育指導
　　１７小学校、２高校、１０施設
・イメージ画コンテスト
　　対　　象：小学生
　　応募点数：１８１点

小学校でのオオムラサキ出前講座

◇成果（自己評価等）

小学校等での飼育指導や出前講座等を通じ、良好な里山環境を次世代が学ぶ機会を提供することができました。

また、事業推進にあたり、兵庫丹波オオムラサキの会の全面的な協力を得る等、効果的な運営ができました。

イメージ画コンテスト展覧会

丹波の森公苑環境学習推進事業

◇実施内容

丹波の森公苑の豊かな自然環境を生かして、子どもや地域住民の環境学習・自然体験活動を促進するとともに、次代の活動支援ボランティアを育成しました。

・丹波縄文の森塾の開設
　年間　１１回
　塾生　３０人（小学３～６年生）
　※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため２泊３日の縄文キャンプは２日間の日帰りに変更
（詳細は P42 講座一覧表に掲載）

縄文土器づくり（丹波縄文の森塾）

・家族向け環境学習プログラム
　オオムラサキ観察

・環境体験学習支援プログラム
　里山の秋の実り体験

里山の秋の実り体験

・自然体験活動リーダーの育成

・丹波いきもの大集合
　オオムラサキやカブトムシ、ホトケドジョウなど丹波地域に生息する生き物を展示

・オオムラサキ越冬幼虫探し

・里山ふれあいハイキング（中止）　※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため

◇成果（自己評価等）

縄文の森塾は、四季を通じた自然とのふれあいの中で、学校とは違ったプログラムを体験することで、たくましく成長し、学校を越えた友達との交流の場となりました。

また、里山の秋の実り体験やオオムラサキ観察の実施により、丹波地域の子どもたちに自然を肌で感じる機会を提供することができました。

昆虫大捜査線 in 丹波の森公苑　～ひとはくの昆虫博士と一緒に～

◇実施内容

丹波の森公苑の芝生広場を利用して、兵庫県立人と自然の博物館主任研究員及び NPO 法人こどもとむしの会の指導のもと、小学生及びその保護者が昆虫採集、展示、解説、質疑応答などの体験を通じて、昆虫の生態や自然環境を学びました。

開 催 日：８月 28 日（土）17 時～19 時
実施場所：丹波の森公苑　中庭広場ほか
対　　象：小学生以下及びその保護者
参加者数：21 組の親子（子ども 21 人、大人 54 人）
　　総計 75 人
捕まえた昆虫数：69 種、296 匹

◇成果（自己評価等）

新型コロナウイルス感染症拡大防止に努め、定員を最小限に設定し開催し、丹波地域をはじめ阪神地域からも多くの参加者がありました。アンケートでは「コロナ禍でイベントが中止になる中、開催していただき、ありがとうございました。楽しかったです。」等の回答があり、好評でした。

様々な生きた昆虫に触れる機会を提供することにより、環境や生物に対する興味関心の向上にも寄与することができ、今後も定期的に開催する予定です。

ささやまの森公園事業【ささやまの森公園】

１ 体験プログラムの展開

（１） 基本プログラム

① 里山体験班のプログラム

◇実施内容

草木で染めよう、初めての草木染め、癒しのハーブ石鹸を作ろう、九猿（苦去る）を作ろう、布ぞうりを作ろう、布でフクロウを作ろう、癒しのテラリウムを作ろう、みつろうでロウソクとキッチンラップを作ろう、布スリッパを作ろう、森のサンタを作ろう、しめ縄を作ろうなど、里山文化に係る体験プログラムを実施しました。

実施回数：３２回
参 加 者：延べ２１３人

草木で染めよう～アカソ～

◇成果（自己評価等）

伝統技術を体験することによって、伝統を守る苦労や里山のすばらしさを広めることができました。

② 里山伝承班のプログラム

◇実施内容

里山伝承（黒枝豆を栽培しよう）、そば道場シリーズ、健康増進梅味噌を作ろう、こんにゃくを作ろう、黒豆のお味噌を作ろうなど、里山の恵みを活かし、伝承する料理や特産物の栽培・活用に係るプログラムを実施しました。

実施回数：１５回
参 加 者：延べ１３７人

黒豆苗の定植

◇成果（自己評価等）

丹波篠山に伝わる食文化や伝統作物の栽培を実際に体験することで、里山に育まれ守られてきた生活様式のすばらしさを味わってもらうことができました。

③ 自然学習班のプログラム

◇実施内容

バードウォッチング、春の野草観察、モリアオガエルとホタルを観よう、森にすむカエルを見つけよう、３種類のホタルを観よう、セミのぬけがらを探そう、水辺の生きものを探そうなど、園内の動植物を中心に生態・植生等の観察に係るプログラムを実施しました。

実施回数：１０回
参 加 者：延べ１０８人
※雨天のため全１１回の内１回中止

セミのぬけがらを探そう

◇成果（自己評価等）

豊かな公園の植物・昆虫・水生生物などの観察を通して、森の生態系を学ぶことにより里山の自然環境への関心を高めることができました。

④ レクリェーション班のプログラム

◇実施内容

陶芸を楽しもう、ささやまの森探検隊、アマゴのつかみ取りをしよう、森のヨガ、木登り体験～ツリーイング～、大人の火起こし体験など、里山での楽しい遊びや活動に係るプログラムを実施しました。

実施回数：１４回
参 加 者：延べ１２８人
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため１５回の内１回中止

木登り体験～ツリーイング～

◇成果（自己評価等）

自然を生かした森遊びなどを通して、里山の自然の豊かさを学ぶことができました。

⑤ 里山復元班のプログラム

◇実施内容

稲作体験（全４回）、丸太のベンチ作り、ハンガーラックを作ろう、森の時計作り、囲炉裏テーブルを作ろう、シイタケづくり、チェンソー安全教室などを実施しました。

実施回数：１２回
参 加 者：延べ１１５人
※その他の都合により全１４回の内２回中止

森の時計作り

◇成果（自己評価等）

里山の整備で発生する間伐材などの資源利活用や道具の使い方などプログラムをとおして、理解を深めました。

（２）特別プログラム　「特別企画『里山ワークショップ』を実施」

◇実施内容

春の丹波篠山市「里山の日」や秋の特別企画に里山ワークショップを実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、１１月の秋の特別企画「里山ワークショップ」のみの実施となりました。

実施回数：１回

参 加 者：延べ１３４人

◇成果（自己評価等）

身近で手ごろな材料を使って、作ることの楽しさや加工・表現方法を体感していただくことで、自然の豊かさや大切さを実感していただきました。

草木染め

（３）森の学校（第１４期生）の開校

◇実施内容

今年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながら、豊かな自然の中でさまざまな体験活動を通して、小学３年生～６年生の１５人がたくましく生きる力を育てることを目的に、普段の生活とは違う里山での活動を経験しました。

開催回数：１０回

参 加 者：１５人

◇成果（自己評価等）

ボランティアスタッフの指導のもと、体験学習を通してたくましく生きる力を育むことができました。

第１４期生森の学校開校式

（４）団体プログラム

①　団体利用プログラム

◇実施内容

幼稚園から大学までの学校組織や団体の活動の場として公園を提供しました。

実施回数：２５回

参 加 者：延べ７４４人

（森の学校、里山文化授業、トライやる・ウィークの受け入れを除く）

◇成果（自己評価等）

自然観察や各行事の趣旨を生かしたプログラムを支援することで、里山公園のすばらしさ、大切さを広めました。

木工クラフト体験

② 兵庫県立篠山東雲高等学校「里山文化」の支援

◇実施内容

「里山と人々の生活から生まれた多くの文化を学び、自然や資源、生きていく環境、農業との関わりについて考える」選択授業「里山文化」において連携協力をしました。

実施回数：１９回
受 講 生：８人

◇成果（自己評価等）

学校では体験できないプログラム（自然観察、間伐体験、こんにゃく作り、陶芸、ウッドクラフト、しめ縄作りなどの体験）を、ボランティアスタッフの指導を受けて体験しました。

間伐体験

（５）その他の活動

① トライやる・ウィークの受け入れ

◇実施内容

ささやまの森公園では、「職場体験を通して地域について学び、生きる力を育む」ことを目的に丹波篠山地域の中学２年生による「トライやる・ウィーク」を受け入れしています。

昨年度はコロナ禍で中止となりましたが、今年度は１１月２日から３日までの２日間、篠山東中学校から２年生１名が来園し、園地管理や自然学校向けの缶バッチ作りなどの体験をしました。

◇成果（自己評価等）

職場体験を通して地域のことを学び、生きる力を育むきっかけづくりを支援しました。

缶バッチ作りの体験

２ 園外活動外部のイベント等への参画

◇実施内容

活動スタッフの協力により、外部のイベント等に参画し、ささやまの森公園の活動をＰＲしました。

丹波の森フェスティバル

開催日：１０月２４日（日）

場　所：丹波の森公苑

内　容：コケテラリウム作り

2021 丹波の森フェスティバル
コケテラリウム作り

◇成果（自己評価等）

プログラムを通じ地域との連携や交流を図ることができました。

３ その他の事業

（１）利用促進事業

◇実施内容

プログラムの内容を記載した「プログラムのご案内」を３か月毎に年４回、丹波篠山市内の各戸や県内外の関係機関へ配布し、プログラムへの参加者を募集しました。活動スタッフ向けに「八幡谷通信」を年４回発行、公園の１年間の活動のまとめとして「ささやまの森公園だより」を年度末に丹波篠山市内の各戸に配布しました。

プログラムのご案内：２３，０００枚×４回

八幡谷通信：１２０部

公園だより：１８，０００部

情報発信のツール

◇成果（自己評価等）

公園だよりなどを発行することにより、地域の方々へ当公園の事業について理解と関心を深めていただくことができました。また、昨年度ホームページのデザインやモバイル対応ができるようリニューアルしたことにより、公園の情報をタイムリーに発信することができるようになりました。

ささやまの森公園ホームページ

生活創造活動支援事業（消費生活含む）

◇実施内容

丹波地域の団体・グループ等の生活創造活動の情報を収集発信し、団体・グループ活動を支援しました。

また、消費者被害防止のための普及啓発を実施しました。

〇生活創造グループ登録と活動支援
- 登録グループ数：２０８団体
- グループ活動コーナーの利用：８１件　４８０人
- 生活創造活動グループサポート事業：９件

〇消費生活の普及啓発
- 消費生活出前講座の実施　７回
- 消費生活にゅーすの発行　４回

〇情報発信のための印刷機械の利用件数　２０７件

◇成果（自己評価等）

生活創造活動グループサポート事業は、地域で活動されているグループによる多彩なイベントを開催しました。幅広い年代の方に参加いただくことができ、グループの支援にもつながりました。

消費生活に関しては普及啓発を通じ、正しい消費生活のあり方を喚起しました。

高等学校対象の出前講座
（令和４年１月19日篠山鳳鳴高等学校）

生活創造活動グループサポート事業
「初夏のナチュラルリースを作りましょう」

スポーツ大会・文化教室の開催【丹波年輪の里】

丹波年輪の里杯グラウンドゴルフ大会

◇実施内容

平日利用のグラウンドゴルフ愛好者を対象に、相互の交流と利用を促進、健康づくりのため年４回の開催を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため２回を中止、定員を削減して２回の大会を開催しました。

開催状況：６月１日（火）（中止）
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため
９月７日（火）（中止）
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため
１２月７日（火）９９人／（募集定員１４４人）
令和４年
３月２日（水）１１６人／（募集定員１４４人）

年輪の里杯グラウンドゴルフ大会

◇成果（自己評価等）

参加希望者も多く、抽せんとなることが度々あります。大会の他に週末、祝日、夏休みなど繁忙期を除いた閑散期に芝生広場の活用を図っていますが、コロナ禍にもかかわらず利用者は年間約３，０００人に迫り、大変好評を得ています。

兵庫県地域高齢者大学４年制大学講座

「丹波 OB 大学」の開設

◇実施内容

生涯学習の一環として、高齢者が生きがいのある充実した生活基盤を確立するため、学習と交流の機会を提供するとともに、社会の担い手として永年培ってきた知識や経験をより磨き、魅力ある地域社会を創り出す実践者を養成するため実施しました。

講　座：教養講座、特別講座
専門講座（①健康福祉コース・②地域文化コース・③生活創造コース）
学外研修、運動会、オープン学習、看護学生との交流、地域実践の日、学年別研修、地域別研修、クラブ活動（グラウンドゴルフ、童謡音楽、写真、パソコン、オカリナ、書道、水彩画、花、詩吟）

受講者：１０１人（令和３年４月時点）

開講日：４月２１日(水)～令和４年３月２日(水)
（全１８回詳細は P43 講座一覧表に掲載）

日　程　　９：３０～朝のつどい
１０：３０～専門講座など
１３：００～教養講座など
１４：３０～クラブ活動

（詳細は P43 講座一覧表に掲載）

特別講座

◇成果（自己評価等）

講座では、地域活動の実践者や学識経験者、医師等を講師として招へいし、時代の変化に対応した話題をテーマに設定するなどして、受講生から概ね高い評価を得ることができました。また、学外研修、運動会、クラブ活動等の様々な活動を通して受講生間の交流を図るとともに、地域実践のネットワークづくりに寄与することができました。

兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座

「丹波 OB 大学大学院」の開設

◇実施内容

兵庫県地域高齢者大学４年制大学講座「丹波ＯＢ大学」等での学習をもとに、実践的な社会参加活動について総合的・体系的、かつ実践的に学習することにより、地域づくり活動などの実践能力を習得するとともに、地域づくり活動などへの主体的な取り組み意欲を醸成し、その実践者を育成するため実施しました。

講　座：１年生　地域活動実践講座他
２年生　地域活動実践講座他

受講者：１年生１６人、２年生　４人

開講日：４月２１日(水)～令和４年３月２日(水)

（詳細は P45 講座一覧表に掲載）

実践発表会

◇成果（自己評価等）

１年生は、３つの班（地域神社の歴史研究班、伝統芸能調査班、丹波の方言研究班）を編成し、調査研究を行いました。２年生は、丹波地域の要介護者の避難計画について、丹波篠山市及び丹波市の担当課を訪問するなど調査研究を行い、実践発表会ではその具体的対応策を寸劇にして発表しました。

調査研究のテーマ、調査研究方法やまとめ方は班ごとに協議して作成され、主体的で対話的な深い学びにつながりました。

講座「丹波学」の開設

◇実施内容

多彩な地域資源を有する丹波地域の魅力の再発見を通じて、地域の特色を活かした地域づくりに結びつく学習の機会を提供しました。

テーマ：『丹波ゆかりの人ともの～丹波史研究の最前線～』
開催日：８月２８日(土)～１２月１８日(土)　全５回
受講者：１１５人（募集定員：１２０人）

（詳細は P48 講座一覧表に掲載）

第５回講義

◇成果（自己評価等）

「丹波ゆかりの人ともの」をテーマに、幅広い時代における丹波史の最前線の研究を行っている研究者による全５回の講座を開催しました。幅広い時代における丹波ゆかりの偉人や宮廷に献上されていた丹波栗といった食材にスポットを当てた講座により、丹波地域の魅力を再発見できる学習の機会を提供することができました。

丹波地域学ぶ高齢者のつどいの開催

◇実施内容

丹波篠山市高齢者大学、丹波市高齢者学級、丹波ＯＢ大学及び丹波ＯＢ大学大学院で学ぶ高齢者が創作作品の展示を通して、日ごろの学習活動の成果を発表しました。

開催日：９月２３日(木・祝）～２４日（金）
場　所：丹波の森公苑多目的ルーム
内　容：書、絵画、工芸、写真、短歌等の展示
参加者：４５５人
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、芸能発表は中止

作　品　展

◇成果（自己評価等）

丹波地域学ぶ高齢者のつどい実行委員会が主体となって、つどいの運営を行いました。芸能発表は中止になりましたが、多くの創作作品の出展を通じて日頃の学習活動の成果を発表し、互いに学びあい、交流を深めることができました。

丹波の森子どもミュージカル体験塾

◇実施内容

将来の芸術文化を担う子どもたちの豊かな感性や表現力、コミュニケーション能力を育むとともに、舞台芸術による表現や創造する楽しさを体験する機会を提供することにより、舞台芸術創造活動のすそ野の拡大を図るため、「子どもミュージカル体験塾」を実施しました。

〇丹波の森子どもミュージカル体験塾レッスン
開催期間：７月２４日(土)～１０月１６日(土)
全１６回
参 加 者：４７人

〇丹波の森子どもミュージカル体験塾発表公演
公 演 日：１０月１７日(日)　２回公演
演　　目：「スノーホワイト」白雪姫
（「劇団ウエスト」の劇団員との共演）
入 場 者：７２５人

丹波の森子どもミュージカル体験塾発表公演

◇成果（自己評価等）

丹波地域の小学生・中学生・高校生４７人の子どもたちが、劇団ウエストの劇団員による指導を受け、個々の歌・ダンス・演技に磨きをかけ、発表公演では観客の心に感動を与える舞台を行うことができました。塾生のみんなが一丸となって素晴らしい作品を創り上げることができました。

丹波（丹波篠山市・丹波市）のむかしばなし語りべクラブの活動支援

◇実施内容

当協会が発行している「丹波のむかしばなし（全１０集）」には、昔から語り継がれてきた郷土の民話や伝説を１１９話（丹波篠山市５２話・丹波市６７話）収録しています。

一人でも多くの方に「丹波のむかしばなし」を知ってもらうきっかけとなり、またできるだけ多くの子どもたちが読んでくれることを願い、小学校のクラブ活動の支援を行いました。

実施場所：丹波市立大路小学校
内　　容：語りべクラブのメンバーが「むかし話クラブ」の活動支援を行う。

丹波の森ﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙでの発表

◇成果（自己評価等）

語りべクラブの活動は、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため自粛をされました。

そのようなコロナ禍において、大路小学校のむかし話クラブについては、当協会の発行している「むかしばなし」を題材に取り上げ、紙芝居を作成し、発表するまでの過程を語りべクラブのメンバーがゲストティーチャーとして支援しています。また NPO 法人（生涯学習応援隊 SOSO39）の方が動画を製作し、動画配信ツールで公開されています。今後もこのように子どもから大人までの多くの方に協力をいただきながら、「丹波のむかしばなし」を周知できる機会を探っていきます。

丹波の森国際音楽祭シューベルティアーデたんば２０２１の開催

◇実施内容

２７回目を迎えた本音楽祭は、「今こそ！シューベルト」をテーマに、２年ぶりにオープニング・サロンコンサート、ガラ・コンサートを開催しました。このほか、街角コンサート（２会場）、フラッシュ・モブ、子ども達を対象とするふるさと音楽ひろばや、キン・コン・カン・コンサートを開催しました。

ガラ・コンサート

開催期間：９月２６日(日)～１１月１３日(土)
テ ー マ：今こそ！シューベルト
フランツ：老田裕子氏

○ オープニング・サロンコンサート
　開催日：９月２６日(日)２回公演
　場　所：お菓子の里丹波ミオール館
　入場者：１１８人

○ ガラ・コンサート
　開催日：１１月１３日(土)
　場　所：丹波の森公苑ホール
　入場者：３０８人

○街角コンサート（丹波地域２会場）
　入場者：１９２人

○フラッシュ・モブ（前触れなく突然始める演奏）
　開催日：１１月２１日（日）
　観客数：約２００人

○ふるさと音楽ひろば（小学校１０校）
　参加者：１，００６人

○キン・コン・カン・コンサート（１会場）
　参加者：２７８人

◇成果（自己評価等）

本年度は２年ぶりにホールコンサートを開催し、特にガラ・コンサートでは、関西フィルハーモニー管弦楽団を招き、オーケストラの迫力ある演奏を提供することができました。

多くの方に本物の音楽を鑑賞する機会を提供することができ、音楽を通した地域交流を図ることができました。

丹波の森公苑ホール等自主事業

◇実施内容

丹波地域の子どもたちに本物の音楽を鑑賞する機会を提供するため、全国から選抜された小学生から高校生までの弦楽器オーケストラの「スーパーキッズ・オーケストラ」を招き、コンサートを開催しました。

スーパーキッズ・オーケストラ公演

開催日：１２月２５日(土)２回公演
場　所：丹波の森公苑ホール
入場者：５５０人

◇成果（自己評価等）

多くの方にスーパーキッズ・オーケストラの元気いっぱいの音楽を楽しんでいただき、質の高い音楽の鑑賞機会を提供することができました。アンケートでも満足度が高く好評を得ました。

アートクラフトフェスティバル in たんば 2021 の開催【丹波年輪の里】

◇実施内容

全国の木工や陶磁器、布など様々なジャンルのクラフトマンの作品が、野外で自由に展示出来る場を提供し、展示者と来園者との交流を図り・手づくり文化や地域文化の向上など、創造活動の普及を図りました。

開催日：１１月６日(土)・７日(日)
出展者：１３５人
入場者：１６，０００人

◇成果（自己評価等）

丹波地域におけるクラフト文化の向上、創作活動の普及を図りました。また、全国各地で活動するクラフトマンが一堂に集い、芝生広場など園内での自由な作品展示や来園者との交流を深めることができました。

丹波の森アートフェスティバルの開催

（兵庫県文化賞受賞者小品展、丹波の森新春書き初め展、展示ギャラリーの開設）

◇実施内容

日頃から美術を愛好し、創作活動に励まれている多くの人々の作品を展示することにより、世代や分野を越えた心の交流を深め、豊かな芸術文化の高揚を図りました。

〇２０２１兵庫県文化賞受賞者小品展
開催日：１０月１０日(日)～１４日(木)
出展数：３６点
入場者：５２人
〇第４４回丹波の森新春書き初め展
開催日：令和４年１月２６日(水)～３０日(日)
場　所：丹波の森公苑多目的ルーム等
出展数：６８４点
入場者：１，７００人
開催日：令和４年２月５日(土)～９日(木)
場　所：丹波篠山市立四季の森生涯学習センター東館
出展数：２７０点
入場者：２７５人
〇展示ギャラリーの開設
利用件数：２３件（年間）
利用日数：２３６日（利用率７９．５%）（詳細は P56 に利用状況一覧表を掲載）

第４４回丹波の森新春書き初め展

◇成果（自己評価等）

丹波の森新春書き初め展は、丹波地域の児童、生徒と一般出品者から多くの作品が出展され、会期中は多くの来場者で賑わいました。

また、展示ギャラリーは、日頃から創作活動に励まれている方の発表の場として幅広い分野で利用いただきました。毎回さまざまな展示で多くの方に鑑賞いただきました。

伝統文化活性化支援事業

◇実施内容

丹波地域の民俗芸能を地域の宝、誇りとして見直し、次代に伝えていくため、民俗芸能の発表・鑑賞の機会を提供するとともに、子どもたちに和楽器の素晴らしさを伝えるため鑑賞会を開催し、伝統文化の活性化を促しました。

〇子どもたちのための和楽器鑑賞会

（丹波文化団体協議会による出前授業）

開催日：１１月～令和４年１月の間

場　所：丹波管内の小学校、特別支援学校９校

内　容：和楽器（尺八、箏、三味線）演奏の鑑賞及び演奏体験

参加者：３２０人

〇第１２回丹波の森童謡唱歌の祭典・民俗芸能特別鑑賞（中止）※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため

子どもたちのための和楽器鑑賞会

◇成果（自己評価等）

和楽器鑑賞会は、丹波地域の小学校８校・特別支援学校１校で実施しました。丹波文化団体協議会の出前授業として、構成団体の中から講師として小学校等に出向いてもらい、子どもたちと交流しながら、尺八、箏、三味線などの和楽器に親しみをもってもらう機会を提供することができました。

年報の発行、ＳＮＳ等での情報発信

◇実施内容

丹波の森づくりをはじめ、地域の各種実践活動等の情報を「年報」「協会ニュース」で情報提供した他、ホームページをはじめフェイスブックやインスタグラムで、各施設の四季折々の様子やイベント案内など随時発信をしました。

・ホームページによる情報発信

アクセス件数　　４，５８２件（兵庫丹波の森協会）
　　２４，７７３件（丹波の森公苑）
　　２５，２８４件（丹波年輪の里）
　　３１，７６６件（ささやまの森公園）
　　３０，０８１件（丹波並木道中央公園）

兵庫丹波の森協会ホームページ

◇成果（自己評価等）

年報については、２０２０年の主な事業や取組について記録書としてまとめるとともに、事業効果の検証を進めました。あわせて協会ニュースについてもホームページに掲載し、地域の方々へ当協会事業についての理解と関心を深めていただくことができました。

また、令和３年２月にホームページをリニューアルしモバイル対応ができるように改善されたことで、閲覧数も増えています。四季折々の様子やイベント案内など、タイムリーな情報を発信することができました。

芸術文化団体への活動支援

◇実施内容

丹波文化団体協議会の事務局を担い、丹波の森公苑を拠点として芸術文化団体等が活発な活動を展開できるよう支援を行いました。丹波文化活動交流会、ふるさとの心をうたう丹波合唱祭、夏休み子ども向け文化体験講座、伝統文化鑑賞会等の事業を実施しました。

〇丹波文化活動交流会
　開催日：１２月３日（金）～５日（日）
　場　所：丹波の森公苑ホール、多目的ルーム
　入場者：８２８人

〇ふるさとの心をうたう丹波合唱祭
　開催日：１１月２１日（日）
　場　所：丹波の森公苑ホール
　入場者：３２１人

〇子ども向け文化体験講座
　内　容：和太鼓教室、池坊いけばな教室
　受講者：和太鼓教室６名、池坊いけばな教室４０名

丹波文化活動交流会

〇伝統文化鑑賞会
　開催日：令和４年１月２２日（土）
　場　所：丹波の森公苑ホール
　入場者：２３０人

◇成果（自己評価等）

丹波文化団体協議会の事務局を担い、丹波地域の芸術文化団体相互の連携を図るとともに、発表、交流等の事業について円滑に実施できるよう支援しました。丹波文化活動交流会等のイベントには多くの方に来場いただき、丹波地域の芸術文化力を発信することができました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった事業

・丹波の森公苑事業【丹波の森公苑】
たんばオープンガーデン（4 月）
丹波縄文の森塾（縄文キャンプ）
春の里山ふれあいハイキング
丹波地域学ぶ高齢者のつどい芸能発表
丹波のむかしばなしを活用した交流会、研修会
民俗芸能発表・鑑賞機会の提供

・年輪の里事業【丹波年輪の里】
ギャラリーアトリエとゴールデンウィークフェスタ
丹波ウッドワーカーズクラフト
座っ展２０２１ −丹波で坐る・木の椅子−
グラウンドゴルフ大会（６月、９月）

・ささやまの森公園事業【ささやまの森公園】
特別企画「里山ワークショップ」（４月～５月）、
深山登山～巨大石めぐり～（５月）

・丹波並木道中央公園事業　【丹波並木道中央公園】
丹波の森収穫祭（なみきみちまつり）の開催【代替イベントに変更】
活力あふれる地域づくりに資する公園〈ささやま狂言の会発表会〉
子育てに資する公園事業〈そうめん流し、無料ぬりえ・管理棟おもちゃコーナー〉

兵庫丹波の森協会事務局・丹波の森公苑

・講座一覧

・出前講座の状況

・活動一覧

・施設利用一覧

・評議員会の開催状況

・評議員名簿

・協会役員名簿

・運営委員会の開催状況

・運営委員会委員名簿

・機能

・沿革

・施設の概要

・組織と職員

講座一覧

丹波の森大学（第31期）

回	開催日	テーマ・内容　（基本テーマ：森の声を聴く）	講師（敬称略）
1	5月29日	新縄文人がくらす丹波の森	関西学院大学建築学部学部長 丹波の森大学学長　　角野　幸博
2	6月19日	人と災害－水・旱・風・虫害の歴史	滋賀県立大学名誉教授　　水野　章二
3	7月17日	森との対話	兵庫県立人と自然の博物館名誉館長 東京大学名誉教授　　岩槻　邦男
4	8月21日	丹波地域の森林の特徴と保全	兵庫県立大学自然・環境科学研究所教授 石田　弘明
5	9月18日	森づくりに関わる「ひと」の声を聴く	神戸大学農学研究科特命准教授　清水　夏樹
6	11月6日	わかりあえないことから	芸術文化観光専門職大学学長・演劇家　平田オリザ
7	11月20日	現地学習	滋賀県※交通事情の影響で近江八幡市旧西川家住宅他、解説と見学
8	12月18日	小さな流域の単位で捉える地域の歴史文化とその保全	大阪大学工学研究科環境エネルギー工学専攻助教 松本　邦彦
9	令和4年 1月22日	里山林の健全性と持続性確保のための活用とは	神戸大学大学院農学研究科森林資源学研究室教授 黒田　慶子

花と緑の教室

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	5月20日	講義：植物に関する基礎知識① 実習：初夏の草花を使った寄せ植え ※ 新型コロナウィルス感染症拡大防止のため中止	県立フラワーセンター派遣講師　門上　幸子
2	7月15日	講義：植物に関する基礎知識② 実習：観葉植物を使った寄せ植え	
3	9月9日	講義：植物にお関する基礎知識③ 実習：秋の草花の寄せ植えと管理法	
4	11月18日	講義：植物に関する基礎知識④ 実習：クリスマスを飾る寄せ植えと管理法	
5	12月16日	講義：植物に関する基礎知識⑤ 実習：正月を飾る寄せ植えと管理法	
6	令和4年 3月17日	講義：植物に関する基礎知識⑥ 実習：春の草花の寄せ植えと管理法	

園芸教室

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	6月24日	実習：小作品づくり 講義：プロが教えるガーデニング	但馬高原植物園 植栽主任 田丸　和美 （ひょうごガーデンマイスター）
2	8月24日	実習：寄せ植えひょうごまちなみガーデンショ ー出展作品づくり） 講義：秋のガーデン管理Q&Aその1	
3	9月22日	講義：丹波の森公苑内散策	
4	10月29日	実習：秋の草花の寄せ植え	
5	12月9日	実習：　クリスマス&お正月の寄せ植え 講義：　秋終わりのガーデン管理Q&A	
6	令和4年 3月10日	実習：春の花いっぱいの寄せ植え 講義：春のガーデン管理Q&A	

森づくり講座

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	10月17日	里山整備講座①（チェンソーの構造と目立て）	森づくり活動アドバイザー
2	10月31日	里山整備講座②（伐倒技術の基本）	
3	11月7日	里山整備講座③（間伐する木の選定）	
4	11月28日	里山整備講座④（間伐木の伐倒：ロープウィンチ編）	
5	12月12日	里山整備講座⑤（間伐木の伐倒：チルホール編）	
6	令和4年 1月23日	里山整備講座⑥（間伐材の搬出方法）	

丹波縄文の森塾

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	6月26日	【開塾式・オリエンテーション】 「サツマイモ苗植え、水生生物・オオムラサキ観察」	丹波地域のホトケドジョウを守る会 山科ゆみ子、森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
2	7月10日	「縄文時代の話、縄文土器づくり」	滋賀県文化財保護協会 鈴木康二、陶芸家 宮本ルリ子ほか
3	7月30日	「縄文土器づくり、カレーづくり、昆虫観察」	陶芸家 宮本ルリ子、市野麻由子、森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
4	7月31日	「縄文土器づくり、昆虫観察、ツリーイング、水鉄砲遊び」	陶芸家 宮本ルリ子、市野和俊、Tree Master Climing Academy、森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
5	9月25日	「里山遊び、栗拾い、竹トンボ飾りづくり」	まなあそ代表濵畑直也、森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
6	10月16日	「稲刈り、芋掘り、クリスマスリースづくり」	森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
7	11月20日	「里山尾根登り、昔ながらの脱穀体験」	森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
8	12月11日	「シイタケ原木の枝打ち、餅つき、しめ縄づくり」	森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
9	令和4年 1月15日	「凧づくり、シイタケ原木の玉切り、杉玉づくり」	森林インストラクター　山崎春人、森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
10	2月19日	「里山の小枝を使ったクラフトづくり」	森林インストラクター　山崎春人、里山倶楽部ほか
11	3月19日	【閉塾式】 「シューベルト花壇植栽、記念植樹、シイタケ狩り、みんなで一年を振り返ろう」	森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか

※　縄文キャンプ（7月30日～8月1日）は中止し、2日間（7月30日、31日）の日帰りで実施。

兵庫県地域高齢者大学４年制大学講座「丹波OB大学」

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	4月21日	【開講式】	
		学年別研修	
		歓迎行事	桂　壱之輔（落語家）
2	5月26日	学年別研修	
		教養講座①：「楽しむ果樹」	元兵庫県立但馬農業高等学校教諭　中井　俊明
		自治会総会	
3	6月16日	地域別研修・学年別研修	
		教養講座②：「お菓子づくりを通して得たこと」	パティスリーサント・アン取締役会長　塚口　肇
		インターネット安全講座：「インターネットの危険性及びその利活用について」	NTT西日本 兵庫支店 ビジネス営業部公共営業担当　平本　将也
		クラブ活動	
4	7月7日	地域実践の日	
5	7月21日	学年別研修	
		専門講座①健康福祉：「森林の快適性増進効果と癒やし効果を活かして、心も身体も健康に」	公益財団法人しそう森林王国観光協会 事務局長 大北　真彰
		専門講座①地域文化：「丹波の昆虫に学ぶ生物多様性」	自然体験教育研究所 所長　足立 勲
		専門講座①生活創造：「丹波のボランティアの取り組み」	丹波市ボランティア活動センター 上山　渉　　藤原 優
		特別講座①：「地域で求められる医療人の育成」	兵庫県立丹波医療センター 地域医療センター長　見坂 恒明
		クラブ活動	
6	8月25日	朝のつどい	
		専門講座②健康福祉：「ご自宅での生活を安心して継続していただくために」	社会医療法人社団 正峰会 老人保健施設さんなん桜の里 事務長　山根　徹
		専門講座②地域文化：「消えた丹波の鉄道～柏梁鉄道と篠山電気鉄道～」	丹波市文化財保護審議会委員　山内 順子
		専門講座②生活創造：「図書館の上手な使い方」	兵庫県立図書館 指導主事兼調査専門員 皿池 健二
		学年別研修	
		クラブ活動	
7	9月8日	朝のつどい	
		特別講座②：「美しくしかも持続可能な地域づくり」	丹波の森公苑長　角野 幸博
		学年別研修	
		クラブ活動	
8	9月15日	学年別研修	
		専門講座③健康福祉：「口腔と全身のかかわり～健康寿命の延伸のために～」	佐竹歯科医院 院長　佐竹 茂樹
		専門講座③地域文化：「兵庫・中井権次一統の彫刻」	中井権次顕彰会 会員　岸名 経夫
		専門講座③生活創造：「登山の楽しみ方」	公益社団法人日本山岳ガイド協会 認定山岳ガイド　　加藤 智二
		学年別研修	

9	9月24日	丹波地域学ぶ高齢者のつどい	
10	10月6日	朝のつどい・看護学生との交流（全体会）	丹波市立看護専門学校　２年生
		看護学生との交流（学年別）	丹波市立看護専門学校　２年生
		学年別研修	
		クラブ活動	
11	10月20日	運動会準備	
		学年別研修	
		運動会	
12	10月27日	学外研修：京都府北部方面	
13	11月10日	オープン学習	「秋散策教室」丹波の森公苑 三浦 仁志、角谷 慶治
			「ノルディックウォーキング教室」 余田 幸美、松尾 洋子
			「写真教室」岡林 利幸
			「季節のリース作り教室」足立 恵宣
			「ハンドメイド教室」金崎 美和
			「茶道教室」細見　淳子
			「篆刻教室」酒井 守
14	11月24日	朝のつどい	
		地域防犯講座	兵庫県丹波警察署巡査長　吉田 恵実
		専門講座④健康福祉：「検診結果の見方」	公益財団法人兵庫県健康財団 保健検診センター保健指導課 保健師 伊藤 明子
		専門講座④地域文化：「丹波とお雑煮～雑煮でたどる我が家のルーツ～」	丹波篠山市立城東公民館 社会教育指導員　松本 剛
		専門講座④生活創造：「知っておきたい！キャッシュレス」	近畿財務局神戸財務事務所 総務課課長補佐 東野 育宏
		学年別研修	
		クラブ活動	
15	12月15日	朝のつどい	
		専門講座⑤：「意外性から生まれる笑い」	リサイクル楽器演奏家　足立 晃一郎（マエストロ足立）
		専門講座⑤地域文化：「丹波の人物伝　井上秀」	(株)丹波新聞社　代表取締役社長　荻野　祐一
		専門講座⑤生活創造：「食品添加物ってどんなもの？～保存料メーカーが説明します～」	(株)ウエノフードテクノ　総合企画部次長　荒井 祥
		教養講座③「3ステップマネープランセミナー～豊かなリタイアメントライフのために～」	ジブラルタ生命保険(株) マーケティングディレクター　井上 洋
		クラブ活動	
16	令和4年 1月12日	学年別研修	
		教養講座③「日常での体の使い方」	カラダづくりクラブ講師　足立 喜一
		地域活動研修	
		クラブ活動	
17	2月2日	自治会総会	
		大学院実践発表会	
		特別講座③「心について」	西天目瑞厳山高源寺 住職　山本 祖登
		クラブ活動	

18	3月2日	【修了式】	
		記念行事	笑福亭 遊喬（落語家）
		想い出の記録映写	

兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座「丹波ＯＢ大学大学院」　１年生講座

回	開講日	学習テーマ・内容等	講師（敬称略）
1	4月21日	開講式	
		オリエンテーション	
		歓迎行事	桂　壱之輔（落語家）
2	5月26日	教養講座①：「楽しむ果樹」	元兵庫県立但馬農業高等学校教諭　中井　俊明
		地域活動実践講座①:「自己PRと企画会議」	生涯学習応援隊so-so.39代表　北村　久美子
		クラブ活動	
3	6月16日	教養講座②：「お菓子づくりを通して得たこと」	パティスリーサント・アン取締役会長　塚口　肇
		地域活動実践講座②：「テーマの選定及びグループ編成」	生涯学習応援隊so-so.39代表　北村　久美子
		クラブ活動	
4	7月21日	地域活動実践講座③：「調査研究内容の検討」	生涯学習応援隊so-so.39代表　北村　久美子
		特別講座①：「地域で求められる医療人の育成」	兵庫県立丹波医療センター 地域医療センター長　見坂 恒明
		クラブ活動	
5	8月25日	地域活動実践講座④：「調査研究計画の検討」	生涯学習応援隊so-so.39代表　北村　久美子
		地域活動実践講座⑤：「調査研究計画の検討」	
		クラブ活動	
6	9月8日	特別講座②:「美しくしかも持続可能な地域づくり」	丹波の森公苑長　角野 幸博
		地域活動実践講座⑥：「調査研究」	生涯学習応援隊so-so.39代表　北村　久美子
		クラブ活動	
7	9月15日	地域活動実践講座⑦：「調査研究」	生涯学習応援隊so-so.39代表　北村　久美子
		レクリエーション	
		クラブ活動	
8	9月24日	丹波地域学ぶ高齢者のつどい	
9	10月6日	地域活動実践講座⑧：「調査研究」	生涯学習応援隊so-so.39代表　北村　久美子
		地域活動実践講座⑨：「調査研究」	
		クラブ活動	
10	9、10月～	地域活動体験	
11	10月27日	学外研修：京都府北部方面	

12	11月10日	オープン学習	「秋散策教室」丹波の森公苑 三浦 仁志、角谷 慶治
			「ノルディックウォーキング教室」 金田 幸美、松尾 洋子
			「写真教室」岡林 利幸
			「季節のリース作り教室」足立 恵宣
			「ハンドメイド教室」金崎 美和
			「茶道教室」細見 淳子
			「篆刻教室」酒井 守
13	11月24日	地域活動実践講座⑩：「調査研究」	生涯学習応援隊so-so.39代表　北村　久美子
		地域活動実践講座⑪：「調査研究」	
		クラブ活動	
14	12月1日	地域活動実践講座⑫：「実践発表内容検討」	生涯学習応援隊so-so.39代表　北村　久美子
		地域活動実践講座⑬：「実践発表内容検討」	
15	12月15日	地域活動実践講座⑭：「実践発表準備」	生涯学習応援隊so-so.39代表　北村　久美子
		教養講座③「3ステップマネープランセミナー～豊かなリタイアメントライフのために～」	ジブラルタ生命保険（株） マーケティングディレクター　井上 洋
		クラブ活動	
16	令和4年 1月12日	教養講座③「日常での体の使い方」	カラダづくりクラブ講師　足立 喜一
		地域活動実践講座⑮：「実践発表リハーサル」	生涯学習応援隊so-so.39代表　北村　久美子
		クラブ活動	
17	2月2日	実践発表会	生涯学習応援隊so-so.39代表　北村　久美子
		特別講座③「心について」	西天目瑞厳山高源寺 住職　山本 祖登
18	3月2日	【修了式】	
		記念行事	笑福亭 遊喬（落語家）
		想い出の記録映写	

兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座「丹波ＯＢ大学大学院」　２年生講座

回	開講日	学習テーマ・内容等	講師（敬称略）
1	4月21日	開講式	
		オリエンテーション	
		歓迎行事	桂　壱之輔（落語家）
2	5月26日	教養講座①：「楽しむ果樹」	元兵庫県立但馬農業高等学校教諭　中井　俊明
		地域活動実践講座①:「自己紹介、講義:生涯現役に向けて学習する」	からくさ塾主宰 小嶋 明
		クラブ活動	
3	6月16日	教養講座②：「お菓子づくりを通して得たこと」	パティスリーサント・アン取締役会長　塚口　肇
		地域活動実践講座②：「講義：認知症について、年齢による考え方の相違」	からくさ塾主宰 小嶋 明
		クラブ活動	
4	7月21日	地域活動実践講座③：「フィールドワーク：丹波篠山市長寿福祉課」	からくさ塾主宰 小嶋 明
		特別講座①：「地域で求められる医療人の育成」	兵庫県立丹波医療センター 地域医療センター長　見坂 恒明
		クラブ活動	
5	8月25日	地域活動実践講座④：「替え歌制作、DVD視聴：コークゼミ通信、認知超の理解」	からくさ塾主宰 小嶋 明
		地域活動実践講座⑤：「替え歌制作、DVD視聴：コークゼミ通信、認知超の理解」	
		クラブ活動	
6	9月8日	特別講座②:「美しくしかも持続可能な地域づくり」	丹波の森公苑長　角野 幸博
		地域活動実践講座⑥：「地場産業の創出、実践発表会に向けて」	からくさ塾主宰 小嶋 明
		クラブ活動	
7	9月15日	地域活動実践講座⑦：「地場産業の創出、実践発表会に向けて」	からくさ塾主宰 小嶋 明
		レクリエーション	
		クラブ活動	
8	9月24日	丹波地域学ぶ高齢者のつどい	
9	10月6日	地域活動実践講座⑧：「フィールドワーク：丹波市くらしの安全課」	からくさ塾主宰 小嶋 明
		地域活動実践講座⑨：「協議：寸劇の企画」	
		クラブ活動	
10	9、10月～	地域活動体験	
11	10月27日	学外研修：京都府北部方面	
12	11月10日	オープン学習	「秋散策教室」丹波の森公苑 三浦 仁志、角谷 慶治
			「ノルディックウォーキング教室」 余田 幸美、松尾 洋子
			「写真教室」岡林 利幸
			「季節のリース作り教室」足立 恵宣
			「ハンドメイド教室」金崎 美和
			「茶道教室」細見 淳子
			「篆刻教室」酒井 守
13	11月24日	地域活動実践講座⑩：「講義：豊岡で行われている演劇活動について」	からくさ塾主宰 小嶋 明
		地域活動実践講座⑪：「実践発表準備」	
		クラブ活動	

14	12月1日	地域活動実践講座⑫：「実践発表準備」	からくさ塾主宰 小嶋 明
		地域活動実践講座⑬：「実践発表練習」	
15	12月15日	地域活動実践講座⑭：「実践発表練習」	からくさ塾主宰 小嶋 明
		教養講座③「3ステップマネープランセミナー～豊かなリタイアメントライフのために～」	ジブラルタ生命保険（株） マーケティングディレクター　井上 洋
		クラブ活動	
16	令和4年 1月12日	教養講座③「日常での体の使い方」	カラダづくりクラブ講師　足立 喜一
		地域活動実践講座⑮：「実践発表リハーサル」	からくさ塾主宰 小嶋 明
		クラブ活動	
17	2月2日	実践発表会	からくさ塾主宰 小嶋 明
		特別講座③「心について」	西天目瑞厳山高源寺 住職　山本 祖登
18	3月2日	【修了式】	
		記念行事	笑福亭 遊喬（落語家）
		想い出の記録映写	

令和３年度講座「丹波学」

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	8月28日	足利尊氏の挙兵と丹波	花園大学 専任講師　生駒 孝臣
2	9月18日	戦前戦中における芦田均	大阪観光大学 専任講師 久野 潤
3	10月2日	二人の「秀勝」と丹波	市立枚方宿鍵屋資料館 学芸員 片山 正彦
4	11月20日	丹波食材が彩った宮廷文化	有識故実研究者　美馬 弘
5	12月18日	織田信包の生涯	株式会社歴史と文化の研究所代表取締役　渡邊　大門

令和３年度「丹波の森子どもミュージカル体験塾」

開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
7月24日	開講式	有限会社ウエスト・プロ 代表取締役　巽　詩郎、 劇団員
7月24日～ 10月16日	レッスン（16回）	
10月17日	発表公演「スノーホワイト」白雪姫	

出前講座の状況

森づくり課

回	開催日	場所	対象団体	テーマ等	人数
1	4月28日	丹波篠山市立篠山小学校	丹波篠山市立篠山小学校	オオムラサキの学習	17
2	5月11日	丹波篠山市立八上小学校	丹波篠山市立八上小学校	オオムラサキの学習	23
3	5月12日	丹波市立黒井小学校	丹波市立黒井小学校	オオムラサキの学習	40
4	5月13日	丹波市立新井小学校	丹波市立新井小学校	オオムラサキの学習	14
5	5月19日	丹波市立竹田小学校	丹波市立竹田小学校	オオムラサキの学習	12
6	5月20日	丹波市立小川小学校	丹波市立小川小学校	オオムラサキの学習	15
7	5月20日	丹波市立大路小学校	丹波市立大路小学校	水生生物の学習	14
8	5月21日	丹波市立和田小学校	丹波市立和田小学校	オオムラサキの学習	48
9	5月25日	丹波市立春日部小学校	丹波市立春日部小学校	オオムラサキの学習	18
10	5月26日	丹波市立新修小学校	丹波市立新修小学校	オオムラサキの学習	19
11	5月27日	丹波市立三輪小学校	丹波市立三輪小学校	オオムラサキの学習	11
12	5月27日	丹波市立大路小学校	丹波市立大路小学校	オオムラサキの学習	14
13	6月2日	丹波市立黒井小学校	丹波の森公苑	オオムラサキの学習	36
14	6月4日	丹波篠山市立岡野小学校	丹波篠山市立岡野小学校	オオムラサキの学習	25
15	6月9日	丹波市立南小学校	丹波市立南小学校	オオムラサキの学習	25
16	6月10日	丹波市立大路小学校	丹波市立大路小学校	水生生物の学習	14
17	6月11日	丹波市立大路小学校	丹波市立大路小学校	樹木の学習	20
18	6月16日	丹波篠山市立大山小学校	丹波篠山市立大山小学校	オオムラサキの学習	18
19	6月18日	丹波市立中央小学校	丹波市立中央小学校	オオムラサキの学習	43
20	6月18日	丹波市立春日部小学校	丹波市立春日部小学校	水生生物の学習	15
21	6月22日	丹波市立春日部小学校	丹波市立春日部小学校	水生生物の学習	15
22	6月25日	丹波市立和田小学校	丹波市立和田小学校	オオムラサキの学習	39
23	7月8日	丹波市立崇広小学校	丹波市立崇広小学校	オオムラサキの学習	66
24	7月9日	県立氷上西高等学校	丹波市立青垣小学校・県立氷上西高等学校	オオムラサキ放蝶会	49
25	10月1日	丹波市立東小学校	丹波市立東小学校	昆虫標本づくり	45
26	10月8日	丹波市立東小学校	丹波市立東小学校	昆虫標本づくり	45
27	10月15日	丹波市立東小学校	丹波市立東小学校	昆虫標本づくり	45
28	10月22日	丹波市立東小学校	丹波市立東小学校	昆虫標本づくり	45
29	3月2日	丹波篠山市立篠山小学校	丹波篠山市立篠山小学校他	オオムラサキ越冬幼虫調査	17
30	3月3日	丹波篠山市立八上小学校	丹波篠山市立八上小学校他	オオムラサキ越冬幼虫調査	23

令和３年４月１日～令和４年３月３１日

月　日	主　な　事　項	会　場
令和３年４月		
１７日	ホトケドジョウ４月定例調査	管内生息地
１８日	里山倶楽部	丹波の森公苑
２１日	丹波OB大学、丹波OB大学大学院開講式	丹波の森公苑
２８日	森づくり出前講座	丹波篠山市立篠山小学校
２９日	春の里山ハイキング（中止）	丹波の森公苑
３０日	森づくり出前講座	丹波篠山市立八上小学校
５月		
１１日	森づくり出前講座	丹波篠山市立八上小学校
１２日	森づくり出前講座	丹波市立黒井小学校
１３日	森づくり出前講座	丹波市立新井小学校
１９日	森づくり出前講座	丹波市立竹田小学校
２０日	森づくり出前講座	丹波市立小川小学校
２１日	森づくり出前講座	丹波市立和田小学校
２２日	ホトケドジョウ５月定例調査	管内生息地
２５日	森づくり出前講座	丹波市立春日部小学校
２６日	森づくり出前講座	丹波市立進修小学校
	丹波OB大学、丹波OB大学大学院開講日	丹波の森公苑
２７日	森づくり出前講座	丹波市立三輪小学校
２７日	森づくり出前講座	丹波市立大路小学校
２９日	丹波の森大学第１回（開講式）	丹波の森公苑
	生活創造活動グループサポート事業「初夏のナチュラルリースを作りましょう」	丹波の森公苑
６月		
２日	森づくり出前講座	丹波の森公苑
４日	森づくり出前講座	丹波篠山市立岡野小学校
９日	森づくり出前講座	丹波市立南小学校
１０日	森づくり出前講座（水生生物）	丹波市立大路小学校
１１日	森づくり出前講座（樹木）	丹波市立大路小学校
１２日	ホトケドジョウ６月定例調査	管内生息地
１６日	森づくり出前講座	丹波篠山市立大山小学校
	丹波ＯＢ大学・丹波ＯＢ大学大学院開講日	丹波の森公苑
１８日	森づくり出前講座	丹波市立中央小学校
１８日	森づくり出前講座（水生生物）	丹波市立春日部小学校
１９日	丹波の森大学第２回	丹波篠山市民センター
２２日	森づくり出前講座（水生生物）	丹波市立春日部小学校
２３日	園芸教室①	丹波の森公苑
２５日	森づくり出前講座	丹波市立和田小学校
２６日	丹波縄文の森塾①	丹波の森公苑
２７日	シューベルティーアーデたんば実行委員会総会	丹波の森公苑
７月		
４日	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
	第12回オオムラサキ放蝶会	丹波の森公苑
７日	丹波OB大学　地域実践活動の日	丹波篠山市・丹波市の各所
８日	森づくり出前講座	丹波市立崇広小学校
１０日	丹波縄文の森塾②	丹波の森公苑

月　日	主　な　事　項	会　場
１１日	かいばら一番館オオムラサキ放蝶会	柏原八幡神社付近
１３日	森づくり出前講座	丹波篠山市立篠山小学校
	シューベルティアーデたんば「ふるさと音楽ひろば」	丹波市立北小学校
１５日	森づくり出前講座	氷上西高等学校
１５日	花と緑の教室①	丹波の森公苑
１６日	丹波市環境審議会	氷上住民センター
	生活創造活動グループサポート事業「夏の健康気功体験教室」	丹波の森公苑
１７日	丹波いきもの大集合	丹波ゆめタウン
	丹波の森大学第３回	丹波の森公苑
１９日	シューベルティアーデたんば「キン・コン・カン・コンサート」	丹波市青垣住民センター
２１日	丹波OB大学、丹波OB大学大学院開講日	丹波の森公苑
２４日	ホトケドジョウ７月定例調査	管内生息地
	丹波の森子どもミュージカル体験塾①（開講式）	丹波の森公苑
２５日	生活創造活動グループサポート事業「カラーが選べる！チュールリボンワークショップ」	丹波の森公苑
２７日	夏休み子ども和太鼓教室①	丹波の森公苑
２８日	夏休み子ども池坊いけばな教室①	丹波の森公苑
２９日	丹波の森子どもミュージカル体験塾②	丹波の森公苑
３０月	丹波縄文の森塾③	丹波の森公苑
３１火	丹波縄文の森塾④	丹波の森公苑
８月		
３日	夏休み子ども和太鼓教室②	丹波の森公苑
４日	丹波の森子どもミュージカル体験塾③	丹波の森公苑
８日	夏休み子ども池坊いけばな教室②	丹波の森公苑
１７日	丹波の森子どもミュージカル体験塾④	丹波の森公苑
	夏休み子ども和太鼓教室③	丹波の森公苑
２０日	夏休み子ども和太鼓教室④	丹波の森公苑
２１日	ホトケドジョウ８月定例調査	管内生息地
	丹波の森大学第４回	丹波篠山市民センター
	丹波の森子どもミュージカル体験塾⑤	丹波の森公苑
２２日	丹波の森子どもミュージカル体験塾⑥	丹波の森公苑
	生活創造活動グループサポート事業「ジュエリーテープで作る　消毒液ホルダーとコースター」	丹波の森公苑
２４日	園芸教室②	丹波の森公苑
	夏休み子ども和太鼓教室⑤	丹波の森公苑
	夏休み子ども池坊いけばな教室③	丹波の森公苑
２５日	丹波ＯＢ大学、丹波ＯＢ大学大学院開講日	丹波の森公苑
２８日	講座「丹波学」①	丹波の森公苑ホール
９月		
２日	丹波の森子どもミュージカル体験塾⑦	丹波の森公苑
８日	丹波ＯＢ大学、丹波ＯＢ大学大学院開講日	丹波の森公苑
９日	花と緑の教室②	丹波の森公苑
１１日	ホトケドジョウ９月定例調査	管内生息地
	夏休み子ども池坊いけばな教室④	丹波の森公苑
１２日	丹波の森子どもミュージカル体験塾⑧	丹波の森公苑
１５日	丹波ＯＢ大学、丹波ＯＢ大学大学院開講日	丹波の森公苑
１６日	丹波の森子どもミュージカル体験塾⑨	丹波の森公苑
１８日	講座「丹波学」②	丹波の森公苑ホール
	丹波の森大学第５回	丹波の森公苑
２２日	園芸教室③	丹波の森公苑
	里山の秋の実り体験（認定こども園ミライズそら）	丹波の森公苑
２３日	丹波地域学ぶ高齢者のつどい作品展（～２４日）	丹波の森公苑
２４日	丹波ＯＢ大学、丹波ＯＢ大学大学院開講日	丹波の森公苑
２５日	丹波縄文の森塾⑤	丹波の森公苑
	生活創造活動グループサポート事業「ハンドメイド教室　がまロポーチを作ろう！」	丹波の森公苑
２６日	シューベルティアーデたんば「オープニング・サロンコンサート」	お菓子の里丹波ミオール館

月　日	主　な　事　項	会　場
２７日	シューベルティアーデたんば「ふるさと音楽ひろば」	丹波市立南小学校
２８日	丹波の森子どもミュージカル体験塾⑩	丹波の森公苑
２９日	里山の秋の実り体験（認定こども園みつみ、大路小学校）	丹波の森公苑
３０日	里山の秋の実り体験（認定こども園さちよ）	丹波の森公苑
１０月		
１日	里山の秋の実り体験（認定こども園ふたば）	丹波の森公苑
	森づくり出前講座	丹波市立東小学校
	丹波の森子どもミュージカル体験塾⑪	丹波の森公苑
２日	夏休み子ども池坊いけばな教室⑤	丹波の森公苑
	講座「丹波学」③	丹波の森公苑ホール
３日	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
５日	里山の秋の実り体験（認定こども園わだ、崇広小学校）	丹波の森公苑
６日	里山の秋の実り体験（認定こども園かすが花の子園、新井小学校）	丹波の森公苑
	丹波ＯＢ大学（看護学生との交流）、丹波ＯＢ大学大学院開講日	丹波の森公苑
７日	里山の秋の実り体験（富山こども園、西小学校）	丹波の森公苑
	丹波の森子どもミュージカル体験塾⑫	丹波の森公苑
	シューベルティアーデたんば「ふるさと音楽ひろば」	丹波市立小川小学校
８日	里山の秋の実り体験（認定こども園ぬぬぎ）	丹波の森公苑
	森づくり出前講座	丹波市立東小学校
	シューベルティアーデたんば「ふるさと音楽ひろば」	丹波市立進修小学校
９日	丹波の森子どもミュージカル体験塾⑬	丹波の森公苑
１０日	兵庫県文化賞受賞者小品展（～１４日）	丹波の森公苑
１２日	里山の秋の実り体験（認定こども園ミライズにじ）	丹波の森公苑
１３日	オオムラサキ絵画展選考委員会	丹波の森公苑
	里山の秋の実り体験（照福こども園）	丹波の森公苑
	シューベルティアーデたんば「ふるさと音楽ひろば」	丹波市立上久下小学校
１４日	里山の秋の実り体験（崇広小学校）	丹波の森公苑
	丹波の森子どもミュージカル体験塾⑭	丹波の森公苑
１５日	里山の秋の実り体験（認定こども園かすが森の子園）	丹波の森公苑
	森づくり出前講座	丹波市立東小学校
	里山の秋の実り体験（崇広・新井小学校自然学校）	丹波の森公苑
	丹波の森子どもミュージカル体験塾⑮	丹波の森公苑
１６日	丹波縄文の森塾⑥	丹波の森公苑
	丹波の森子どもミュージカル体験塾⑯	丹波の森公苑
１７日	森づくり講座①	丹波の森公苑
１７日	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
	丹波の森子どもミュージカル体験塾　発表公演	丹波の森公苑ホール
	シューベルティアーデたんば氷上街角コンサート	ＰＯＰ　ＵＰ　ＨＡＬＬ
２０日	丹波ＯＢ大学開講日	丹波の森公苑
２２日	森づくり出前講座	丹波市立東小学校
２３日	ホトケドジョウ１０月定例調査	管内生息地
２４日	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
２７日	丹波ＯＢ大学・ＯＢ大学大学院（学外研修）	京都府北部方面
２９日	園芸教室③	丹波の森公苑
３０日	国蝶オオムラサキの舞う里山イメージ画コンテスト作品展（～１１月１１日）	ゆめタウン丹波
３１日	森づくり講座②	丹波の森公苑
１１月		
６日	丹波の森大学第６回	
７日	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
	森づくり講座③	丹波の森公苑
	シューベルティアーデたんば丹南街角コンサート	文保寺
１０日	丹波ＯＢ大学・ＯＢ大学大学院（オープン学習）	丹波の森公苑
１３日	シューベルティアーデたんば「ガラ・コンサート」	丹波の森公苑ホール
１８日	花と緑の教室③	丹波の森公苑
	子どもたちのための和楽器鑑賞会	丹波篠山市立今田小学校
１９日	シューベルティアーデたんば「ふるさと音楽ひろば」	丹波市立三輪小学校

月　日	主　な　事　項	会　場
２０日	丹波縄文の森塾⑦	丹波の森公苑
	丹波の森大学現地学習	滋賀県
	講座「丹波学」④	丹波の森公苑ホール
	シューベルティアーデたんば「ふるさと音楽ひろば」	丹波市立鴨庄小学校
２１日	ホトケドジョウ１１月定例調査	管内生息地
	ふるさとの心をうたう丹波音楽祭	丹波の森公苑ホール
	シューベルティアーデたんば「フラッシュ・モブ」	丹波の森公苑
２４日	丹波ＯＢ大学・ＯＢ大学大学院開講日	丹波の森公苑
２５日	消費生活出前講座	前川いきいきサロン
２８日	森づくり講座④	丹波の森公苑
２９日	丹波市環境審議会	丹波市役所
	子どもたちのための和楽器鑑賞会	丹波篠山市立篠山小学校
１２月		
１日	丹波ＯＢ大学大学院開講日	丹波の森公苑
３日	丹波文化活動交流会（～５日）	丹波の森公苑
	子どもたちのための和楽器鑑賞会	丹波篠山市立大山小学校
６日	子どもたちのための和楽器鑑賞会	丹波市立久下小学校
９日	園芸教室⑤	丹波の森公苑
１１日	丹波縄文の森塾⑧	丹波の森公苑
１２月	森づくり講座⑤	丹波の森公苑
	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
	生活創造活動グループサポート事業「ウクレレ・クリスマス」	丹波の森公苑
１４日	子どもたちのための和楽器鑑賞会	丹波市立上久下小学校
	子どもたちのための和楽器鑑賞会	丹波篠山市立篠山養護学校
	子どもたちのための和楽器鑑賞会	丹波篠山市立八上小学校
１５日	丹波ＯＢ大学・ＯＢ大学大学院開講日	丹波の森公苑
１６日	花と緑の教室④	丹波の森公苑
１８日	講座「丹波学」⑤	丹波の森公苑ホール
	丹波の森大学第８回	丹波の森公苑
	生活創造活動グループサポート事業「フェイクスイーツ・クリスマスツリーのカップケーキ」	丹波の森公苑
２２日	生活創造活動グループサポート事業「アロマ教室・オレンジポマンダーを作りましょう!!」	丹波の森公苑
２５日	ホトケドジョウ１２月定例調査	管内生息地
	ホール等自主事業「スーパーキッズ・オーケストラ公演」	丹波の森公苑ホール
２６日	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
令和４年１月		
８日	国蝶オオムラサキの舞う里山イメージ画コンテスト作品展（～１８日）	兵庫陶芸美術館
１２日	丹波ＯＢ大学・ＯＢ大学大学院開講日	丹波の森公苑
１３日	子どもたちのための和楽器鑑賞会	丹波市立小川小学校
１５日	丹波縄文の森塾⑨	丹波の森公苑
１６日	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
１８日	シューベルティアーデたんば「ふるさと音楽ひろば」	丹波篠山市立岡野小学校
１９日	消費生活出前講座（２回）	篠山鳳鳴高等学校
２０日	子どもたちのための和楽器鑑賞会	丹波市立東小学校
２１日	消費生活出前講座（２回）	篠山鳳鳴高等学校
２２日	伝統文化鑑賞会	丹波の森公苑ホール
	丹波の森大学第９回（閉講式）	丹波の森公苑
	シューベルティアーデたんば「ふるさと音楽ひろば」	丹波篠山市立西紀北小学校
２３日	森づくり講座⑥	丹波の森公苑
２６日	シューベルティアーデたんば「ふるさと音楽ひろば」	丹波市立東小学校
	第４４回丹波の森新春書き初め展（～３０日）	丹波の森公苑
２９日	ホトケドジョウ１月定例調査	管内生息地
２９日	ホトケドジョウ１月定例調査	管内生息地
２月		
２日	丹波ＯＢ大学、丹波ＯＢ大学大学院開講日（大学院実践発表会）	丹波の森公苑
３日	国蝶オオムラサキの舞う里山イメージ画コンテスト作品展（～１５日）	丹波の森公苑

月　日	主　な　事　項	会　場
５ 日	第４４回丹波の森新春書き初め展（～９日）	四季の森生涯学習センター
１９ 日	ホトケドジョウ２月定例調査	管内生息地
	丹波縄文の森塾⑩	丹波の森公苑
２３ 日	丹波ＯＢ大学、丹波ＯＢ大学大学院運営委員会	丹波の森公苑
２７ 日	オオムラサキ越冬幼虫探し	丹波の森公苑
２８ 日	丹波市環境審議会	丹波市役所
３月		
２ 日	森づくり出前講座	丹波篠山市立篠山小学校
	丹波ＯＢ大学、丹波ＯＢ大学大学院修了式	丹波の森公苑
３ 日	森づくり出前講座	丹波篠山市立八上小学校
１０ 日	園芸教室⑥	丹波の森公苑
１２ 日	ホトケドジョウ３月定例調査	管内生息地
	生活創造活動グループサポート事業「ホワイトデーワークショップ」	丹波の森公苑
１５ 日	消費生活出前講座	Web
１７ 日	消費生活出前講座	篠山鳳鳴高等学校
１７ 日	花と緑の教室⑤	丹波の森公苑
１９ 日	丹波縄文の森塾⑪　閉塾式	丹波の森公苑
２７ 日	里山倶楽部活動	丹波の森公苑

施設利用一覧

（令和３年４月１日～令和４年３月３１日）

施設	申込件数	稼動日数	利用日数	利用率				利用回数	利用人数
				１日単位	午前	午後	夜間		
ホール	53 件	248 日	51 日	20.6 %	36 回 14.5	46 回 18.5	18 回 7.3	100 回	8,136 人
練習室兼楽屋	175	299	153	51.2	74 24.7	97 32.4	76 25.4	247	3,998
楽屋Ａ	29	299	29	9.7	26 8.7	28 9.4	6 2.0	60	325
楽屋Ｂ	25	299	25	8.4	21 7.0	25 8.4	4 1.3	50	109
創作工房	104	297	98	33.0	85 28.6	88 29.6	31 10.4	204	2,625
多目的ルーム	201	297	173	58.2	129 43.4	147 49.5	75 25.3	351	9,949
和室	73	297	67	22.6	39 13.1	55 18.5	14 4.7	108	413
会議室１	171	297	158	53.2	112 37.7	90 30.3	30 10.1	232	1,331
会議室２	76	297	75	25.3	51 17.2	53 17.8	4 1.3	108	479
会議室３	154	297	137	46.1	92 31.0	94 31.6	15 5.1	201	1,577
セミナー室	143	297	134	45.1	80 26.9	97 32.7	28 9.4	205	3,092
絵画アトリエ	12	363	363	100.0	363 100.0	363 100.0	362 99.7	1,088	1,815
彫刻アトリエ	8	363	37	10.2	30 8.3	31 8.5	29 8.0	90	94
テニスコート	1286	283	261	92.2	571 201.8	775 273.9		1,346	10,208
グランド	149	283	137	48.4	50 17.7	122 43.1		172	6,492
計	2,659	4,516	1,898	42.0	1,759 39.0	2,111 46.7	692 15.3	4,562	50,643

展示ギャラリー利用状況

月	展　示　会　名（開催期間）
4	二灯会書作展（2～15） 和紙ちぎり絵氷上サークル作品展（16～24）
5	たんば写真川柳つぶやぎ座・たんば川柳つぶやき座作品展（15～27）
6	丹波のむかしばなし原画展Ⅷ（5～13） 絵の会「ワレモコウ」作品展（15～27） 第２回二郎ふたり写真展（29～7/11）
7	陽だまり ～柏高美術部有志展～（15～25） 青垣町の３人展　廣内良・井下渉・星見敏明（27～8/8）
8	井本倫子絵画展・丹波並木道絵画教室展（12～25）
9	中井春翠と書に親しむ仲間たちの小品書作展（1～12） 高齢者向け消費者トラブル防止パネル展示（14～20）
10	パステル画愛好会「ＮＵＫＵ森」展（15～28）
11	第４回心を届けるたんば絵てがみコンクール巡回展（2～12） パープル絵画教室作品展（16～28）
12	丹波文化活動交流会（2～5） 井上信行写真展「棚田」（8～19） 丹波＆丹波篠山を「生き物」で繋ぐ二人のいきものがたり展（25～1/10）
1	年輪の里絵画サークル作品展（12～23） 丹波の森新春書き初め展（26～30）
2	国蝶オオムラサキの舞う里山イメージ画コンテスト作品展（3～15） 風信書道展丹波教室　春の作品展（17～27）
3	第５回丹波ＯＢ大学写真倶楽部同窓会作品展（1～13） サークル虹　作品展（15～27）

（公財）兵庫丹波の森協会評議員会の開催状況

区　分	開　催　日	開　催　地	出席者数	議　決　・　承　認　事　項
① 第 20 回	４月１日	（書面同意）	評議員 １１名	・理事の選任について ・監事の選任について
② 第 21 回	６月 23 日	丹波市柏原町 丹波の森公苑	評議員 １１名 理事３名 監事２名	・令和２年度公益財団法人兵庫丹波の森協会事業報告及び収支決算の承認について

（公財）兵庫丹波の森協会理事会の開催状況

区　分	開　催　日	開　催　地	出席者数	議　決　・　承　認　事　項
① 第 35 回	４月１日	（書面同意）	理事８名	・常務理事の選定について
② 第 36 回	６月３日	丹波市柏原町 丹波の森公苑	理事７名 監事１名	・令和２年度公益財団法人兵庫丹波の森協会事業報告及び収支決算の承認について ・令和３年度公益財団法人兵庫丹波の森協会収支補正予算（第１次）について ・公益財団法人兵庫丹波の森協会資金管理規程の一部改正について ・第２１回公益財団法人兵庫丹波の森協会評議員会の招集について
③ 第 37 回	12 月 24 日	（書面同意）	理事８名	・令和３年度公益財団法人兵庫丹波の森協会収支補正予算（第２次）について
④ 第 38 回	令和４年 ３月 18 日	丹波市柏原町 丹波の森公苑	理事７名 監事２名	・公益財団法人兵庫丹波の森協会特定費用準備資金等取扱規程の制定について ・令和３年度公益財団法人兵庫丹波の森協会収支補正予算（第３次）について ・令和４年度公益財団法人兵庫丹波の森協会事業計画及び収支予算について ・第２２回公益財団法人兵庫丹波の森協会評議員会の招集について ・事務局長の選任について

（公財）兵庫丹波の森協会評議員名簿

令和４年３月３１日現在

役員等の種類	氏　　名	所　属　団　体　等
評議員	浅　葉　勇　貴	丹波青年会議所副理事長
〃	臼　井　雅　子	丹波市愛育会会長
〃	大　木　康　次	丹波青少年本部長
〃	太　田　鈴　子	丹波篠山市愛育会会長
〃	大　野　亮　祐	丹波市自治会長会会長
〃	荻　野　祐　一	（株）丹波新聞社代表取締役社長
〃	杉　尾　吉　弘	（株）夢こんだ代表取締役社長
〃	中　瀬　　勳	県立人と自然の博物館館長
〃	中　道　知代子	丹波市消費者協議会会長
〃	西　潟　　弘	丹波篠山市自治会長会会長
〃	本　多　紀　元	丹波篠山青年会議所理事

（注）評議員について、氏名の記載は５０音順

（公財）兵庫丹波の森協会役員名簿

令和４年３月３１日現在

役員等の種類	氏　　名	所　属　団　体　等
理 事 長	酒　井　隆　明	丹波篠山市長
副理事長	林　　時　彦	丹波市長
常務理事	坂　本　裕　昭	丹波の森公苑次長
〃	芦　田　　茂	（公財）兵庫丹波の森協会
理　　事	角　野　幸　博	丹波の森公苑長
〃	今　井　良　広	兵庫県丹波県民局長
〃	八　尾　博　司	丹波文化団体協議会会長
〃	柳　川　拓　三	丹波市観光協会会長
監　　事	細　見　正　敏	丹波市副市長
〃	渡　邉　康　夫	公認会計士

（注）理事、監事について、氏名の記載は５０音順

丹波の森公苑運営委員会の開催状況

運営委員会の開催状況

区　　分	開　催　日	開　催　地	出席者数	協　　議　　事　　項
第 44 回	令和４年 ３月３日	丹波市柏原町 丹波の森公苑 多目的ルーム	１５名	［議事］ ・事業の実施内容について ・施設利用の推進・情報発信について

丹波の森公苑運営委員会委員名簿

令和４年３月３１日現在

区　分	氏　　名	職　名・所　属　団　体　等	備　考
地域代表	赤井　俊子	英会話講師	
	大木　玲子	丹波市商工会　参事	
	竹岡　郁子	里山ようちえんふえっこ　代表保育士	
	土性　里花	一般社団法人ウイズささやま　総務課長	
	戸田　幸典	丹波市市民活動支援センター　スタッフ 特定非営利活動法人丹波ひとまち支援機構　代表理事	
	中道　知代子	丹波消費者団体連絡協議会　会長	
	藤井　洋一	神戸新聞社　丹波総局長	
	松尾　俊和	篠山音楽協会　会長	
	八尾　博司	丹波文化団体協議会　会長	
行政	岡　　誠	丹波県民局　副局長兼県民交流室長	
	竹見　聖司	丹波篠山市　企画総務部長	
	近藤　巧	丹波市　ふるさと創造部長	
学識経験	相川　康子	特定非営利活動法人ＮＰＯ政策研究所　専務理事	
	赤澤　宏樹	兵庫県立大学自然・環境科学研究所　教授	
	岡　絵理子	関西大学環境都市工学部　教授	
	河内　厚郎	文化プロデューサー	
	客野　尚志	関西学院大学総合政策学部　教授	
	清水　奈緒美	兵庫県広報専門員	
	端　　信行	国立民族博物館　名誉館長	委員長

（氏名の記載は、50 音順）

機能

丹波の森公苑は、「丹波の森構想」を推進するため、森（地域）づくりをはじめ、豊かな自然の中で、文化、スポーツ、レクリエーション活動が楽しめ、真の豊かさの実現に向けた「新しいライフスタイルの創造」と「参画と協働によるこころ豊かな美しい丹波づくり」をみんな（住民、事業者、行政）で推進する拠点として、住民の方々の多様なニーズに対応できる多彩な事業・取り組みを展開するとともに、誰もが使いやすく、親しみやすい施設として機能の充実を図っています。

■　丹波の森公苑がめざすもの（役割・機能）

生活創造・地域づくりの広域拠点、相談・助言、情報収集・発信、学習機会提供・ネットワーク化支援

協働事業企画実施、活動支援機関の連携促進

1　研究員・アドバイザーなどが暮らしや活動を応援

■丹波の森研究所主任研究員、特任研究員	■森づくり活動アドバイザー
環境保全や人づくり、実践活動グループ等の取り組みに対し助言する等地域住民の調査研究活動を応援します。	親しめる森づくりや花いっぱい運動を支援し、緑豊かな丹波の森づくりを応援します。
■生活情報活動アドバイザー	■生活創造活動支援スタッフ
消費生活相談も含めた生活創造活動の相談、アドバイスなどを行い、地域住民の安全な暮らしを支援します。	地域の生活創造活動グループの情報発信や活動を支援します。
■展示・企画スタッフ	■芸術村スタッフ
展覧会の企画やギャラリー等での展示の機会を提供するなど、住民の芸術文化活動を応援します。	芸術を愛する人たちの創作活動を支援し、芸術家と住民との交流を進めます。
■地域活動コーディネーター（青少年本部職員）	
地域づくりの情報発信や相談、アドバイスなどを行い、様々な地域づくり活動を応援します。	

2　その他

■　会議室、ホール、多目的ルーム、アトリエ

■　展示ギャラリー、グループ活動コーナー、子ども室

■　スポーツ施設（グラウンド、テニスコート）、里山、親水河川、芝生広場、駐車場

展示ギャラリーのご案内　（１階）

あなたの作品　展示してみませんか？

丹波の森公苑正面の玄関を入ると、左手に展示ギャラリーがあります。

このコーナーは絵画や写真などの発表スペースとして、無料で開放しています（営利目的のものを除く）。

広報などのサポートもいたしますので、ぜひご利用ください。

■利用期間　　搬入出を含む１２日間以内（休園日を除く）

■お申込み・お問合せ　　丹波の森公苑２階　文化振興部　（０７９５－７２－５１７０）まで

生活創造活動グループサポート制度のご案内

■ご利用特典　　【無料で利用できる施設と備品】

グループ活動コーナー（２階）、展示ギャラリー、子供室、パンフレット台（活動情報紙配布用）、ココロン情報版（ポスター等掲示ボード）、情報ボックス（ グループ間の連絡用）、展示ケース

【有料で利用できる備品】

コピー機（有料１枚 10 円　紙代込み）、印刷機（有料製版 30 円/枚、印刷１円/枚、紙は持参）

■対象グループ　　丹波地域に活動拠点を置き「消費生活」「芸術文化」「環境･資源」「健康･福祉」「家庭」「地域づくり」などの丹波地域ビジョン実現に向けて取り組んでいるグループです。

＊政治･宗教活動･営利目的など、サポート制度の目的になじまないグループは除きます。

■利用できる曜日及び時間

休園日を除く日の午前９時～午後 10 時（受付時間　午前９時～午後５時）

展示ギャラリーの利用は、午前９時～午後５時
受付期間：利用の１年前の初日から５日前まで
受付時間：午前９時～午後５時

印刷機･コピー機の利用は、午前９時～午後５時
受付時間：午前９時～午後４時 30 分

■お申込み・お問合せ　丹波の森公苑（０７９５－７２－２１２７）まで

楽しみましょう～森遊び～

■里山散策　　四季折々の自然にふれながら、自然観察、バードウォッチング、ハイキングが楽しめます。
■お問合せ　　丹波の森公苑１階　活動支援部　森づくり課（０７９５－７２－５１６５）まで

里山のおすすめ散策コース

「里山遊びマップ」を見ながら、里山散策に出かけましょう。
丹波の森公苑の里山には、レベルに合わせて歩けるよう
次の4種類のコースを用意しています。

さんさくの道（だれでも向きコース）

A：三原池を回るコース（約10分）

※池には入らないように注意しましょう

三原池には、一年を通してマガモなどの水鳥が見られます。岸辺には抽水植物のガマが育ち、特定外来生物のウシガエルがすみ、大きなオタマジャクシも見られます。夏から秋にかけては水面にヒツジグサ（スイレン科）が白い花を咲かせ、秋には池の周りがススキで覆われます。

B：ドングリの森から柏原住民センター方面を周遊するコース（約20分）

ドングリの森には10種類のドングリがあり、秋には多くの子どもたちが拾いにやってきます。このエリアにはミニ水田や小川があり、水辺の小動物がすんでいます。そして、かつて茅葺き屋根の材料となった、「オギ」「ヨシ（アシ）」「ススキ」などイネ科のよく似た3種類がそろって見られます。

C：ツツジ・ササユリコース（約30分）

⑩→⑨→㉔→①

2つの倉庫の裏を通るコースです。ヤマザクラ、ウワミズザクラ、ガマズミ、コバノミツバツツジ、モチツツジ、ヤマツツジ、ササユリ、アベマキ（ドングリ）、サルトリイバラ、ヤブコウジ（十両）、フユイチゴなど、四季を通していろいろな草木を見ることができます。

さんぽの道（約1時間）

①→②→③→④→⑤

入り口①からはゆるやかな上り坂。③の近くの池（三原池）には、スイレンの一種、ヒツジグサが浮かんでいます。花期は初夏から晩秋まで。花弁が10ほどの美しい白い花が水面に映る姿を楽しめます。水鳥の姿が見られるときも！

⑤→⑥→⑦→⑧

ゆっくりと下る道すがら、初夏にはヒノキ林の木漏れ日の中、桃色のタニウツギを見ることができます。また秋にはモミジやクヌギの紅葉がきれいです。⑥～⑦周辺の谷川をわたる時はキイチゴにも注目。自然の甘酸っぱさを楽しめます。

⑧→㉔→⑨→⑩

なだらかな山道を下り、ふもとを目指します。春先にはヤマツツジ、モチツツジの群生が里山を彩り、初夏にはササユリの群生を見ることができます。

かんさつの道（約2時間）

⑲→⑳→㉑→④→⑤→⑥

⑲から背の高いスギ、ヒノキの里山に入ります。この林は人が植林したものです。⑳の手前からは木の葉を踏む足音が変わったのに気づきましたか。コナラ、アベマキといった落葉樹の林に切り替わり、林中の明るさも変わってきます。鳥の声はどちらの方が多いでしょうか。⑤周辺にはホオノキがあり、大きい葉がたくさん落ちているのを見つけましょう。

⑥→⑱→⑰→⑯→⑮→**展望台**

⑥のゲートを開け、階段の続く山道を登ります。⑱では眼下が開け氷上盆地を俯瞰。⑰⑯はヒノキ林の中をアップダウンする道が続きます。下草があまり生えていないのはなぜでしょうか。考えてみましょう。

展望台→⑭→⑬→⑫→⑪→⑨→⑩

展望台からの下り道はコバノミツバツツジでいっぱい。かつてヒノキを伐採したことから今は明るい落葉樹の林に。⑩で下山口に出ます。

ながめの道（約4時間）

⑲→⑳→㉓ **西頂上**

⑯から西頂上を目指します。⑳にゲートがあり、それを抜けて起伏が多い道を進みます。道は自然地形のままで、一人しか通れないほど狭く、岩場もあるので注意してください。㉓からは眼下に氷上盆地が広がる眺望が楽しめます。

㉓ **西頂上**→㉒ **東頂上**

道は山の尾根部にあり、なだらかです。眺望を楽しみながら歩きましょう。㉒の手前にはヤマザクラ、ヤシャブシの大木を見つけられます。尾根の反対側の斜面は林相が異なり、背の低いアカマツが多く生えています。

㉒ **東頂上**→⑯～⑪→⑨→⑩

東頂上からはとても急な下り道です。足下がとても滑りやすいので、設置してあるロープを伝って降りましょう。⑯には再びゲートがあり、ここを抜けると展望台です。その後は⑭～⑪→⑨となだらかな道を、脚をクールダウンさせながら下りましょう。

丹波の森公苑 里山の動植物

森公苑には、たくさんの木々や草花が生育し、動物が生息しています。四季折々に美しい花を咲かせたり、おいしい実をつけます。はなやかなチョウなども見られます。里山は私たちの心を癒してくれます。里山で自然とふれあいましょう。

春

シダレザクラ

フデリンドウ　ムラサキサギゴケ　キランソウ　スミレ　ミズバショウ　ムラサキケマン　ミヤマキケマン　ショウジョウバカマ

カンサイタンポポ　セイヨウタンポポ
花を包む苞(ほう)がセイヨウタンポポは反り返る

コバノミツバツツジ　モチツツジ　ヤマツツジ　エビネ　ウワミズザクラ　ヤマブキ

夏

ササユリ

タイサンボク　ヤマボウシ　ヒツジグサ　ガマズミ　タニウツギ　ムロウテンナンショウ　キンラン　ノハナショウブ

サギソウ　ネムノキ　オドリコソウ　ノアザミ　コオニユリ　ゲンノショウコ　クズ　ヒオウギ

秋

イチョウ

ツルニンジン　ヤブラン　アキノタムラソウ　ツリフネソウ　コムラサキ　タカサゴユリ　ヤマジノホトトギス　アケビ（実）

アキノキリンソウ　アケボノソウ　ヤマハギ　ノブドウ(実)　ノジギク(県花)　ガマズミ(実)　サネカズラ(実)　サルトリイバラ(実)

冬

フユイチゴ

サザンカ　ヤブノツバキ　フユノハナワラビ　マユミ　ウラジロ　アセビ　ヤブコウジ(十両)　マンリョウ(万両)

野　鳥

水辺の生き物

丹波の森公苑のドングリ

森公苑には、植えたものを含めて12種類のドングリがあります。
いろいろな形や大きさのドングリを探しましょう。

沿革

（公財）兵庫丹波の森協会の設立

１　設立趣旨

丹波地域の自然環境を守り育て、緑を基軸とした「人と自然と文化」の調和した丹波の森づくりを推進するため、以下の事業を実施する組織として設立されました。

１　自然環境の保全及び緑化の推進に関する事業
２　自然とのふれあいに関する事業
３　地域文化の保存・継承及び創造・育成に関する事業
４　丹波の森づくりの調査研究及び普及啓発に関する事業
５　丹波の森づくりを支援するための公の施設の管理運営及びこれに関する事業の受託
６　その他この法人の目的を達成するために必要な事業

２　沿　革

・昭和６３年１１月１６日　丹波の森構想を地域住民の総意で推進するための組織として「丹波の森協会（任意団体）」が発足
・平成　２年　２月　１日　兵庫県知事から「財団法人　丹波の森協会（公益法人）」の設立を認可
・平成　８年　４月　１日　県立丹波の森公苑の管理運営を受託
・平成１３年１０月　１日　兵庫県からささやまの森公園の事業を受託
・平成１８年　４月　１日　財団法人　兵庫丹波の森協会に名称を変更
同　兵庫県から丹波の森公苑の指定管理者に指定
同　篠山市から、ささやまの森公園（園地管理を除く）の管理運営を受託
・平成２１年　４月　１日　兵庫県から丹波の森公苑及び丹波年輪の里の指定管理者に指定
・平成２３年　４月　１日　兵庫県から丹波並木道中央公園の指定管理者に（財）兵庫県園芸・公園協会とともに指定
・平成２４年　３月２６日　兵庫県指令文第３１１４号－1により公益財団法人として認定
・平成２４年　４月　１日　公益財団法人兵庫丹波の森協会に名称変更
同　兵庫県から丹波の森公苑、丹波年輪の里及びささやまの森公園の指定管理者に指定
・平成２７年　４月　１日　兵庫県から丹波の森公苑、丹波年輪の里及びささやまの森公園の指定管理者に指定
・平成２８年　４月　１日　兵庫県から丹波並木道中央公園の指定管理者に（公財）兵庫県園芸・公園協会とともに指定
・平成３０年　４月　１日　兵庫県から丹波の森公苑、丹波年輪の里及びささやまの森公園の指定管理者に指定
・令和　３年　４月　１日　兵庫県から丹波の森公苑、丹波年輪の里及びささやまの森公園の指定管理者に指定
兵庫県から丹波並木道中央公園の指定管理者に（公財）兵庫県園芸・公園協会とともに指定

丹波の森公苑の設置

１　設置の趣旨

文化会館や生活科学センター、県民局で、それぞれ展開してきた文化や消費生活、地域づくりなどの活動を一体化し、機能を一層充実・発展させた生活創造センターの第１号として、また、県民が地域や世代を越えて、主体的に学習し、交流し、活動する全県的・基幹的野外ＣＳＲ施設の第１号として設置された施設であり、各圏域の地域づくり活動の広域拠点として、身近な活動を支え、活動の進展を支援していくとともに、圏域全体で取り組むべき県民と行政の協働事業を企画・提案し、地域力や文化力豊かな地域づくりを推進していきます。

２　沿　革

・平成　８年　４月　１日　兵庫県立丹波の森公苑の設置及び管理に関する条例（平成８年兵庫県条例第６号）により、氷上郡柏原町柏原５６００番地に設置
兵庫県立丹波の森公苑の管理運営を財団法人丹波の森協会に委託

・平成　８年　４月２９日　県立丹波の森公苑開園

・平成　９年　７月　６日　多目的グラウンド、テニスコート及びクラブハウスの供用開始

・平成１８年　４月　１日　財団法人兵庫丹波の森協会が丹波の森公苑の指定管理者となる
（平成１８年度～平成２０年度）

・平成２０年　４月　１日　兵庫県立丹波の森公苑の設置及び管理に関する条例（平成８年兵庫県条例第６号）を廃止し、各生活創造センター及び拠点施設を兵庫県立生活創造センターの設置及び管理に関する条例（平成２０年兵庫県条例第８号）により一本化

・平成２１年　４月　１日　財団法人兵庫丹波の森協会が丹波の森公苑の指定管理者となる
（平成２１年度～平成２３年度）

・平成２４年　４月　１日　公益財団法人兵庫丹波の森協会が丹波の森公苑の指定管理者となる
（平成２４年度～平成２６年度）

・平成２７年　４月　１日　公益財団法人兵庫丹波の森協会が丹波の森公苑の指定管理者となる
（平成２７年度～平成２９年度）

・平成３０年　４月　１日　公益財団法人兵庫丹波の森協会が丹波の森公苑の指定管理者となる
（平成３０年度～令和２年度）

・令和　３年　４月　１日　公益財団法人兵庫丹波の森協会が丹波の森公苑の指定管理者となる
（令和３年度～令和５年度）

施設の概要

丹波の森公苑の概要

（1）敷地面積　　３５９，３９５．９９㎡

（2）建物面積　　延５，９５３．７４㎡

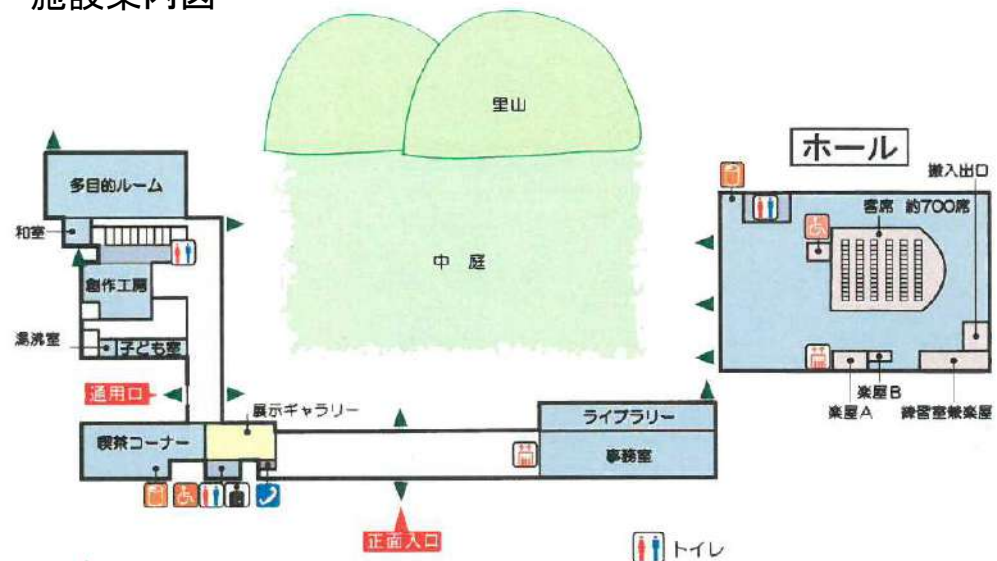
建物の内訳

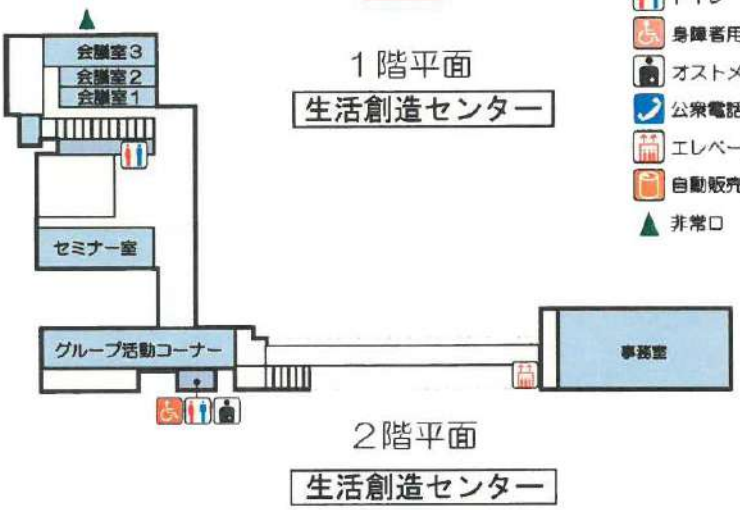
名称		建物面積（㎡）	内容
生活創造センター棟	管理情報棟	１，０６９．３３	ライブラリー、インフォメーション、グループ活動コーナー、事務室等
	研修創作棟	１，１４２．３６	多目的ルーム（展示等）、創作工房、和室、セミナー室、会議室１、会議室２、会議室３等
	渡り廊下	５３．２８	
	プロパン庫	５．１６	
ホール棟	ホール	２，９９６．２６	ホール（固定席６８５席、車椅子席１０席、親子席１０席（定員７０５名））、練習室兼楽屋、楽屋Ａ、楽屋Ｂ等
小計		５，２６６．３９	
その他	アトリエ	２１０．２８	絵画棟、彫刻棟
	クラブハウス	２５２．００	スポーツ施設内
	倉庫棟	２２５．０７	倉庫（４）、車庫兼倉庫（２）
小計		６８７．３５	
合計		５，９５３．７４	

屋外施設

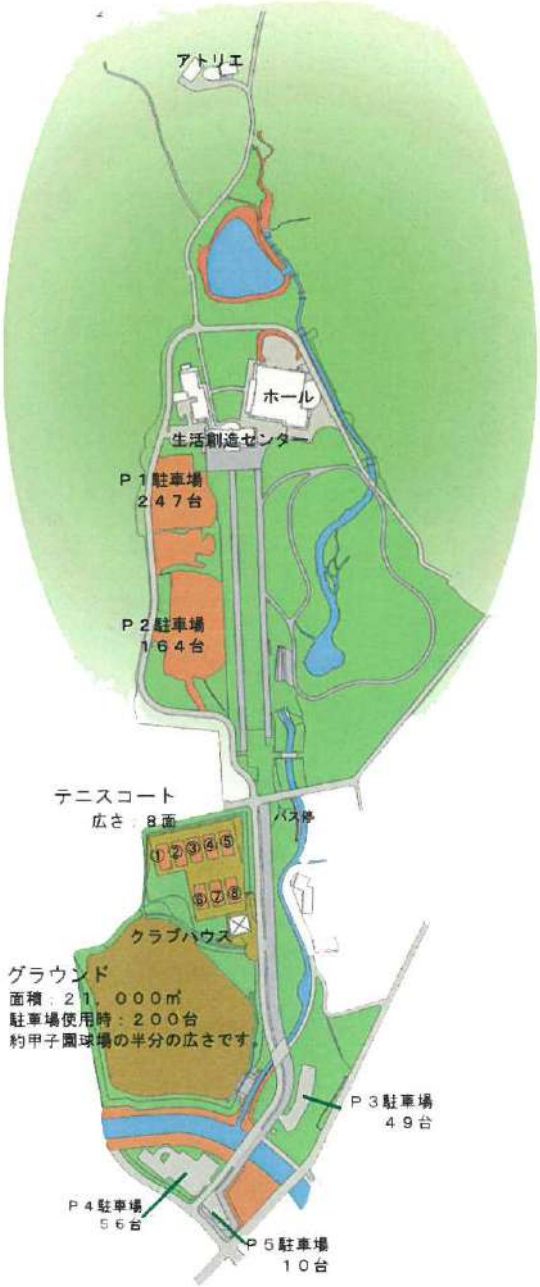
多目的グラウンド	２１，０００㎡
テニスコート	人工芝コート８面
里山、散策路	４９０，０００㎡（借地を含む）
その他の施設	主幹園路、親水河川、イベント広場、駐車場

施設案内図





- トイレ
- 身障者用トイレ
- オストメイト対応トイレ
- 公衆電話
- エレベーター
- 自動販売機
- 非常口



利用者の推移

令和３年度の利用者数

施設使用料対応入苑者数	５０，６４３人
推計入苑者数（参考）	８２，５９８人
計	１３３，２４１人

平成８年度から令和３年度までの累計

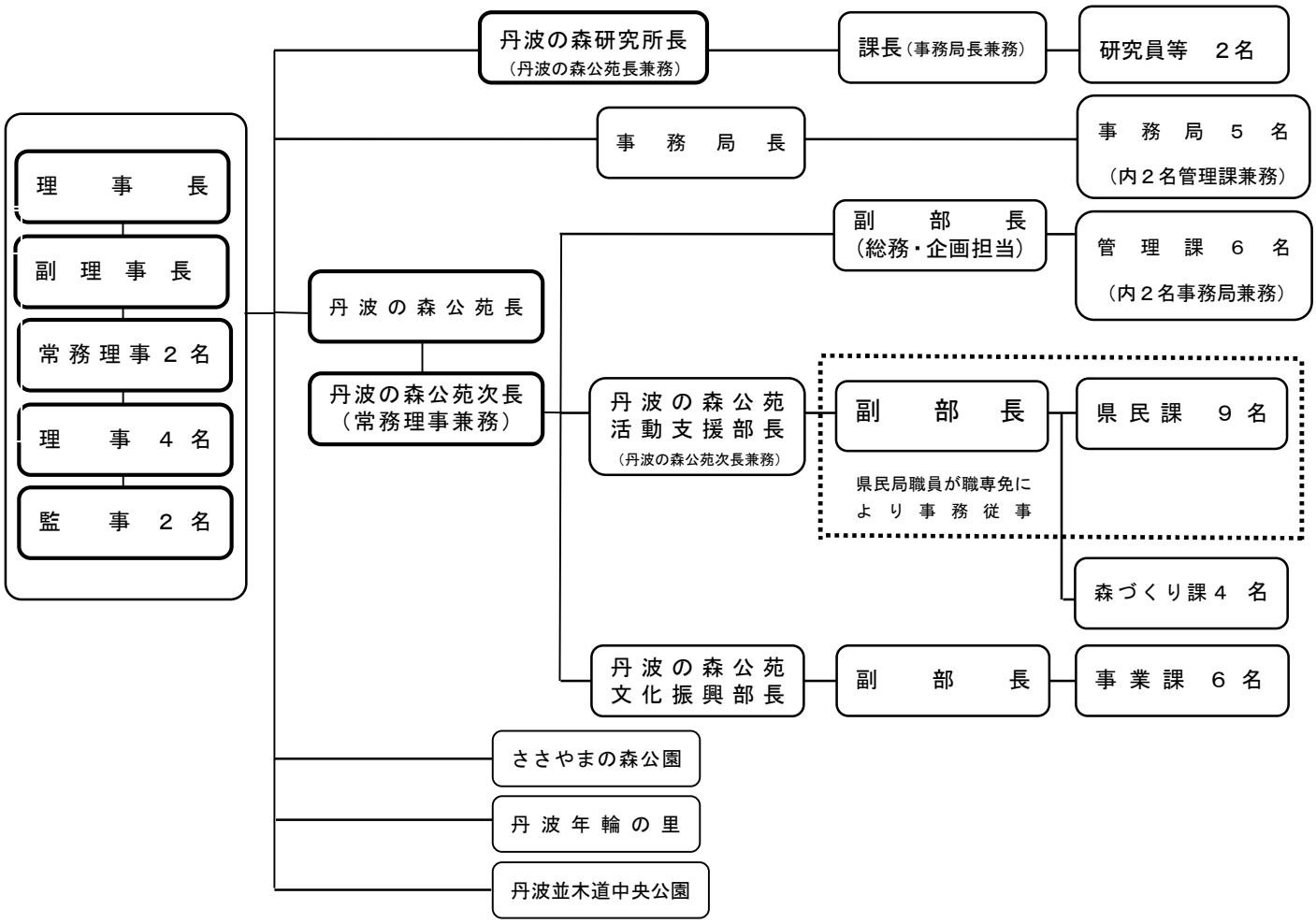
６，１８８，６９８人

組織と職員

（１）組　織　図

令和４年３月３１日現在

（公財）兵庫丹波の森協会組織図（太枠は役員）



（２）職　員　数

（単位：人）

区　　分	事務職	小　計	非常勤嘱託員等		小　計	合　計
丹波の森研究所			研究員	2	2	2
協会事務局	2	2	企画調査事務嘱託員	1	1	3
丹波の森公苑	１１ 【６】	１１ 【６】	生活情報活動アドバイザー 生活創造活動支援スタッフ 森づくり活動アドバイザー 芸術村スタッフ 展示・企画スタッフ 管理事務嘱託員 青少年愛護活動推進員 丹波青少年本部嘱託員	1 1 2 1 1 2 【１】 【４】	８ 【５】	１９ 【１１】

■　丹波の森公苑名誉公苑長、丹波の森公苑長及び同次長は役員等が兼務
■　丹波の森研究所長は丹波の森公苑長が、丹波の森研究所課長は協会事務局長が兼務
■　事務職欄の【　】書きは丹波県民局職員で外数
■　非常勤嘱託員等欄の【　】書きは丹波県民局又は丹波青少年本部職員で外数

（３）職員配置

［事務局］

事務局長	大垣　至康
事務局総務課長	（土肥副部長兼務）
事務嘱託員	荻野　朋子
事務嘱託員	岸本　美鈴
主　　査	（小嶋主査兼務）
職　　員	（細川職員兼務）

［丹波の森公苑］

公 苑 長	（角野理事兼務）
次　　長	（坂本常務理事兼務）
活動支援部長	（坂本次長兼務）
文化振興部長	武部　治仁
副部長（総務企画担当）	土肥　健司
活動支援部副部長	細見　秀和
文化振興部副部長	中井　昌彦

総務企画担当管理課

課　　長	（土肥副部長兼務）
主　　査	小嶋　栄子
職　　員	細川　明日香
職　　員	（荻野事務嘱託員兼務）
職　　員	（岸本事務嘱託員兼務）
管理事務嘱託員	吉田　正二
管理事務嘱託員	石井　和義

森づくり課

課　　長	三浦　仁志
森づくり活動専門員	北条　正昭
森づくり活動アドバイザー	藤本　利一
森づくり活動アドバイザー	角谷　慶治

［丹波出会いサポートセンター］

こうのとり出会いｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ	兼子　香緒里
縁結びサポーター	西垣　奈緒子
縁結びサポーター	前川　悦生

丹波の森研究所

丹波の森研究所長	（角野公苑長兼務）
丹波の森研究所次長	（大垣事務局長兼務）
主任研究員	門上　保雄
特任研究員	上甫木　昭春

活動支援部県民課

課　　長	（細見副部長兼務）
青少年指導専門員	蔭山　広明
主　　任	和田　成史
職　　員	古山　太一
職　　員	佐藤　美奈
職　　員	福冨　ひかり
生活情報活動アドバイザー	西山　　和
生活創造活動支援スタッフ	降矢　有彩
青少年愛護活動推進員	小畠　康永

文化振興部事業課

課　　長	（中井副部長兼務）
森づくり活動専門員（文化担当）	田畑　吉三
森づくり活動専門員（文化担当）	山本　喜美雄
森づくり活動専門員（文化担当）	中村　基生
森づくり活動専門員（文化担当）	足立　雅人
展示・企画スタッフ	河津　知佳
芸術村スタッフ	酒井　寿男

［丹波県民局］

たんば暮らし参事	日原　基
地域再生専門官	北田　智弘
地域振興専門員	山内　一郎

［丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会］

事務局職員	宮脇　寛子

［丹波青少年本部］

地域活動コーディネーター	吉見　恵

丹波年輪の里

・活動一覧

・施設利用一覧

・運営協議会運営委員及び関係者名簿

・沿革

・施設の概要

・組織と職員

活動一覧

令和３年４月１日～令和４年３月３１日

工作事業活動

事業名	実　施　日	内　　容	参加者(人)
（1）　木工指導員による工作	通年	団体利用	４０５
	通年	個人利用	２，３５９
①　１年を通して開催する教室			
手仕事道具塾	月２回	手道具の購入し扱い方をサポート	１９２
Teshigoto work shop	月２回（１０月から）	手道具を通してものづくりに挑戦	４８
②　その都度募集して実施する教室			
刳りモノ work shop	７月１日	スプーン削り	４
	７月９日		５
	７月１１日		５
	７月１８日		４
	７月２５日		４
ウッドライフ教室 木工教室	５月１６日、２３日、３０日	オーバルボックス	２４
	６月１２日	スマートフォンスタンド	５
	６月２０日、２７日	セロテープカッター	１０
	９月１９日、２６日	焼きペン教室	１０
	１０月３日、１０日、１７日	オーバルボックス	２４
	１１月４日、１１日、１８日	プサルテリー	１５
	１１月１４日、２１日、２８日	オーバルボックス	２４
	１２月１１日、１８日、２５日		２４
	令和４年１月１５日	ペーパーカップホルダー	４
	１月２９日		５
私が作る	６月４日、２６日	スプーン教室	７
			５
	９月２５日、１０月２日	菓子盆と菓子切り	１４
	１０月１４日、２１日、２８日	積み木	１５
	１２月９日、１６日	スプーン教室	１６
	令和４年　３月３日、１０日	春のスプーン教室	１６
糸のこ教室	４月１１日	鯉のぼり	５
	４月１８日		５
	１２月１２日	クリスマスツリー	５
	１２月１６日	寅の干支飾り	４
	令和４年　２月２６日	ひな人形	５
木工講座	４月～５月	第２１期　基礎　クラフトスツール	６４
	１１月～１２月	第１０期　中級　４段小袖出し	４０
	令和４年１月～２月	第２２期　基礎　クラフトスツール	７２
夏休み親子工作教室	７月３１日	日光カメラ	８
	８月２１日	ポンポン船を作ろう	１３
木工クラブ	２３回	趣味で集まったグループに工作指導を行う	１８４
クリスマスリース教室	１２月５日	自然の植物の蔓や松ぼっくり、葉っぱなどを使ってクリスマスリースを親子で作る。	２１

展示・イベント事業

事業名	実施日	内　　容	参加者（人）
【ウッドクラフト展】			
丹波の森ウッドクラフト展 歴代グランプリ作品展示	通　年	丹波の森ウッドクラフト展の歴代のグランプリ作品を展示紹介	
【木に関する展示】			
木材利用啓発展示	通　年	県民に木材利用を啓発するため、分かりやすい工夫をしたパネルを展示	
身近な木製品展示	通　年	・木のある暮らしに欠かせない木工品の展示 ・県産木材玩具（ヒノキの積み木）の展示と遊びコーナーの設置	
木のなんでも市・木珠あそび	通　年	木の普及振興事業として、丹波の木材製材関係の業者の協力のもと、県民を対象に木材、端材などの展示販売	
【文化関連・その他の展示】			
第５回こころを届けるたんば絵てがみコンクール	令和４年 ２月５日～２０日	絵手紙作品の公募と作品展示 テーマ「希望」	出展　３１８人 ４３９点 見学　７６５人
年輪の里フリーマーケット	５月３日（中止）	フリマ出店者を募集、日用雑貨、衣類等のリサイクル市	
丹波ウッドワーカーズクラフト	５月１日～２日（中止）	木工作家の作品展示と販売	
アート・クラフトフェスティバル in たんば２０２１	１１月６日～ １１月７日	全国のアートやクラフトに取り組む人たちの自由な作品を苑内芝生広場で展示をおこない、地域をはじめ来苑者との交流を図った。	入場者 １６，０００人 出展　１３５件

その他

丹波年輪の里友の会 ＊入会金１０００円 ＊年会費２０００円	通　年	会員には２４回の利用特典と、毎月「友の会おしらせ」等情報の提供、刃研ぎ塾などの参加を通して施設利用の促進と技術の向上と相互の交流を図る。	延べ９０５人

令和３年４月１日～令和４年３月３１日

競技大会等

事業名	実　施　日	内　　容	参加者（人）
丹波年輪の里杯グラウンドゴルフ大会	１２月７日	グラウンドゴルフ愛好者による大会	９９
	令和４年３月２日		１１６
平日グラウンドゴルフ	通年　平日	グラウンドゴルフ愛好者による利用	２，９６５

サークル教室活動

事業名	実　施　日	内　　容
バードカービング教室	毎月第1･3土曜　10:00～16:00	木彫りの野鳥を作ります。
絵画教室　学美隊	毎月第2･4土曜 小学生 9:30～11:30 中・高校生・一般 13:00～16:30	子供は主に鉛筆、色鉛筆、クレヨン、水彩、墨汁、ポスターカラーでの絵画指導です。大人は水彩画が中心です。
絵画サークル	毎月第1･3木曜10：00～16：00	絵を描くことが大好きな仲間のサークル
日本画教室	毎月第１・2・4火曜 13：30～16：30	水彩画・はがき絵から日本画まで初心者から。
パープル【絵画】	毎月第２土曜　10:00～16:00	絵画が好きな仲間のサークル
絵手紙教室	毎月１回　　10:00～16:00	和紙に書く絵手紙教室

丹波年輪の里運営協議会運営委員及び関係者名簿

令和４年３月３１日現在

	氏　　名	職　　名	
１．運営委員（敬称略）			
会 長	角　野　幸　博	丹波の森公苑　公苑長	
会長代理	林　　時　彦	丹波市長	
委 員	今　井　良　弘	丹波県民局長	
委 員	足　立　光　敏	丹波市木材林産協同組合理事長	
委 員	高　見　　豊	（有）ウッドワーク丹波顧問	
委 員	後　藤　和　敏	丹波市商工会事務局長	
委 員	柳　川　拓　三	丹波市観光協会会長	
委 員	藤　井　洋　一	神戸新聞社　丹波総局長	
委 員	片　山　則　昭	丹波市教育長	
委 員	小　畠　崇　史	丹波市市民活動課課長	
２．県関係者			
	團　野　礼　子	兵庫県産業労働部労政福祉課長	
	谷　口　俊　明	兵庫県農政環境部林務課長	
３．（公財）兵庫丹波の森協会　　丹波年輪の里			
	芦　田　　茂	(公財)兵庫丹波の森協会常務理事	
	小　西　重　正	丹波年輪の里館長	
	村　上　佳　邦	部長兼管理課長	
	田　野　和　昭	林産指導課専門員	

沿革

丹波年輪の里の設置

１　設置目的

　木とのふれあいの中で、勤労青少年の文化活動、スポーツ活動およびレクリエーション活動を促進し、あわせて勤労者をはじめ広く県民に憩いの広場を提供するとともに、林産振興に寄与することを目的としています。

２　沿革

昭和６３年　４月　　丹波年輪の里竣工式典を挙行
　　４月　　常陸宮ご夫妻ご来苑
　　４月１７日～１１月６日
　　「２１世紀をになう青少年祭」開催
　　※ホロンピア’８８「北摂丹波の祭典」のイベントとして開催
　　４月　　ウイーン市公園局長パウエル・シーラー氏来苑
　　８月　　入苑者１０万人達成
　　１０月　　「第１回全国ウッドクラフト公募展」開催
　　※第３回国民文化祭ひょうご’８８の事業として開催
　　※現在も継続して開催
平成　元年１０月　　旧ソ連ハバロフスク地方友好代表団来苑　「子供娯楽園」を寄贈
　　１２月　　「子供娯楽園」完成
平成　２年　８月　　子どもクラフトデーの開催
平成　３年１０月　　旧ソ連ハバロフスク地方友好代表団来苑
平成　４年　３月　　ソーラー時計完成
　　５月　　開苑５周年記念　ツインツリーの植樹（クロガネモチ）
　　９月　　「第１回クラフトフェスティバル IN たんば’９２」開催
　　※平成７年「アート・クラフトフェスティバル IN たんば」に改称
　　※現在も継続して開催
　　１０月　　入苑者１００万人を突破
平成　５年　４月　　アトリエ１０２－３展
　　１１月　　森林文化祭国民会議等参加者来苑（ウイーン１３区　ハインツ・ゲルトバッハ区長ほか２０人）
平成　６年　３月　　全国竹とんぼ競技大会ｉｎたんば開催
平成　８年　８月　　全国産直住宅展開催
平成　９年　５月　　入苑者２００万人を突破
　　１０月　　開苑１０周年記念　第１０回全国ウッドクラフト公募展開催
　　同　記念巡回展開催　１１月東京会場　　１２月神戸会場
　　１月愛知春日井会場　１月丹波の森公苑
平成１０年　５月　　第１回　木木市（もくもくいち）開催
　　※現在も継続して開催
平成１１年　７月　　第１回　コパ・カイバラ少年サッカー大会開催
　　※現在も継続して開催

平成１１年１１月　ひょうご勤労者Ｖネット丹波コーディネートセンター設置（事務所）
※平成１４年３月閉鎖
平成１２年　６月　CSR 丹波支部事務所再設置
平成１３年　３月　ざいもくやさんのフェスティバル開催
８月　入苑者３００万人 を突破
平成１４年　４月　開苑１５周年・春のフェスティバル開催
平成１５年　８月　第１０回記念　竹とんぼ競技大会開催
平成１６年　７月　イベント広場照明設備の改修
平成１７年　３月　「子ども娯楽園」の解体撤去
４月　「ハバロフスクの館」開館（アトリエＢ棟改修）
１１月　入苑者４００万人を突破
平成１８年　４月　芝生広場　グラウンドゴルフ開業（水、木、金曜の平日のみ）
１１月　第１回丹波年輪の里杯グラウンドゴルフ大会開催
※現在も継続して開催
平成１９年１２月　丹波の森ウッドクラフト展　第２０回記念
特別展「恐竜の世界（集まれ丹波恐竜）」開催
平成２１年　４月　指定管理者（財）兵庫丹波の森協会に移管
平成２２年　６月　入苑者５００万人を突破
平成２３年　５月３日～５日
ゴールデンウィークフェスタ開催
※現在も継続して開催
丹波木づくり手づくり市開催
※平成 27 年ウッドワーカーズクラフトに改称
※現在も継続して開催
平成２４年　４月　公益財団法人兵庫丹波の森協会が丹波年輪の里指定管理者となる。
（～平成２６年度）
４月　第１回　座っ展―丹波でうまれた木の椅子―開催
※現在も継続して開催
５月　第１回　大丹波木づくり市手づくり市開催
平成２７年　３月　大改修整備工事実施完了
クラフト館外壁大壁を改修、照明 LED 化、空調設備更新、工作機械自動鉋盤、
手押し鉋盤更新、木の館消防非常用ポンプ更新、レストラン棟前池整備
平成２７年　４月　公益財団法人兵庫丹波の森協会が、丹波年輪の里の指定管理者となる。
（～平成２９年度）
平成２８年　７月　入苑者６００万人を突破
平成３０年２月３日～１８日
第１回こころを届けるたんば絵てがみコンクール開催
平成３０年　４月　公益財団法人兵庫丹波の森協会が、丹波年輪の里の指定管理者となる。
（～令和２年度）
令和　２年　４月　新型コロナウイルス感染症がまん延し、緊急事態宣言発出による休館措置を行う。
感染症拡防止のため、アートクラフトフェスティバルやウッドクラフト展等様々なイベントが中止となる。
令和　３年　４月　公益財団法人兵庫丹波の森協会が、丹波年輪の里の指定管理者となる。
（～令和５年度）

施設の概要

丹波年輪の里の概要

（1）建物の内訳

名　　称		建築面積（㎡）	内　　容
クラフト館		５２４．８８	工作室Ａ・工作室Ｂ・木工機械室・研修室Ｂ・図書室・休養室・館長室・業務課・受付
木の館		６５４．４８	研修室Ａ・会議室・多目的ホール・図書資料室・管理課・林産指導課事務室・倉庫
アトリエＡ		１棟 ６４．８０	２棟 ２階建　１階　洋室３２㎡・１６㎡　２階　和室２０㎡
アトリエＢ			
	ＣＳＲ事務所	３８．８８	ＣＳＲ　丹波支部　事務室
	旧ハバロフスク館	３８．８８	利用方法検討中
レストラン		２１９．５１	約６０席　・営業は業者：喫茶軽食　９時～２１時

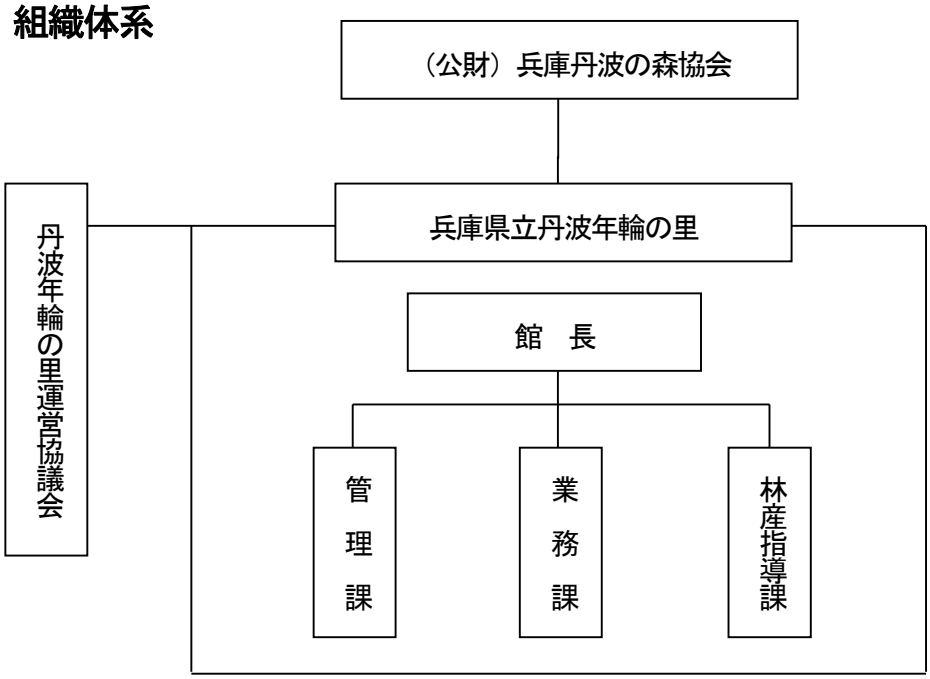
（2）屋外施設

イベント広場	夜間照明設備（照明度平均２００ルクス）約８０ｍ×約８０ｍ
クラフト広場	屋外作業用工作台４台
わんぱく広場	砂場約２０㎡、芝生広場、休憩棟１棟、空中回廊・すべり台等
芝生広場	約１００００㎡の芝生広場とその中央に小川と修景池がある。
丹波県民の森	丹波地域旧１０町の町木（松、ケヤキ、栗、クヌギ、コナラ）などを植栽した森
駐車場	大型バス７台・普通車１３５台・身障用５台

「丹波年輪の里」クラフト創造遊苑

組織と職員

（１）組織体系



（令和４年３月３１日現在）

（２）職　員

役　　職	氏　　名
館　長	小　西　重　正
部長兼管理課長	村　上　佳　邦
管理課	蘆　田　玉　代
同上	伊　福　嘉　彦
同上	足　立　文　代
同上	長　澤　光　一
同上	山　内　茂　弘
業務課長	館　長　兼　務
業務課工作指導員	西　　禎　恒
同上	小　泉　　匡
同上	大　森　　恵
業務課	土　田　陽　子
同上	新　地　佳代子
林産指導課課長	館　長　兼　務
林産指導専門員	田　野　和　昭
林産指導事務員	吉　田　武　史

ささやまの森公園

・活動･施設利用一覧

・運営協議会の開催状況

・運営協議会運営委員名簿

・機能

・沿革

・施設の概要

・組織と職員

活動・施設利用一覧

ささやまの森公園

令和３年４月１日～令和４年３月３１日

月　日	主　な　事　項	利用人数
平成３年４月		
１１日	里山体験班、里山伝承班会議	２
１４日	兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	１０
１５日	マツタケ施業班活動日	２
１６日	プログラム「草木で染めよう～藍～」パート①	７
	プログラム「草木で染めよう～藍～」パート②	５
１７日	里山復元班、レクリェーション班会議	４
２１日	兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	１１
	草木染め同好会活動日	２
２４日	プログラム「バードウォッチング」	１１
	自然学習班会議	２
	あらし班活動日	２
２８日	兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	１１
５月		
１日	里山復元班、レクリェーション班会議	１
	活動スタッフリーダー会	４
４日	自然再発見の会活動日	１
８日	森の学校	１５
	プログラム「稲作体験」	９
１５日	プログラム「春の野草観察」	１２
	プログラム「稲作体験」	１１
１９日	草木染め同好会活動日	１
２１日	プログラム「草木で染めよう～藍の抜染～パート①」	５
	プログラム「草木で染めよう～藍の抜染～パート②」	５
２３日	プログラム「癒しのハーブ石鹸を作ろう」	７
２５日	丹波篠山市立多紀小学校園内散策	２３
	たんなん子育てふれあいセンター　森のようちえん	２２
２６日	兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	８
３０日	プログラム「九猿（苦去る）を作ろう」	３
６月		
１日	あらし班活動日	５
２日	兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	１１
	あらし班活動日	５
５日	森の学校	１４
８日	あらし班活動日	５
９日	兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	１１
１１日	プログラム「草木で染めよう～ネムノキ～」	７

月　日		主　な　事　項	利用人数
	１２日	プログラム「草木で染めよう～ネムノキ～」	９
		プログラム「モリアオガエルとホタルを観よう」	１０
		あらし班活動日	５
	１３日	プログラム「陶芸を楽しもう」	６
	１６日	草木染め同好会活動日	４
		兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	１１
	１７日	マツタケ施業班活動日	２
	１９日	プログラム「森にすむカエルを見つけよう」	１３
	２３日	兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	１１
	２４日	丹波篠山市立岡野幼稚園	１２
	２６日	プログラム「里山伝承　～黒豆を栽培しよう～」	１１
	２７日	プログラム「布ぞうりを作ろう」	８
		あらし班活動日	５
	３０日	たんなん子育てふれあいセンター	３０
		兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	１１
７月			
	３日	森の学校	１５
	４日	プログラム「３種類のホタルを観よう」	９
	６日	自然再発見の会活動日	１
	９日	プログラム「草木で染めよう～アカソ～」	９
	１０日	プログラム「草木で染めよう～アカソ～」	７
	１１日	プログラム「健康増進梅味噌を作ろう　パート①」	５
		プログラム「健康増進梅味噌を作ろう　パート②」	６
		里山体験・伝承班会議	８
		あらし班活動日	４
	１４日	富山こども園　園内散策	１７
		たんなん子育てふれあいセンター　園内散策	３６
	１６日	富山こども園　園内散策	２６
	１７日	里山伝承～黒豆を栽培しょう～	１１
	２０日	富山こども園　園内散策	１７
		自然再発見の会活動日	１
	２１日	富山こども園　園内散策	１７
		草木染め同好会活動日	４
	２４日	プログラム「セミのぬけがらを探そう」	１１
		自然学習班会議	２
	２５日	プログラム「ささやまの森探検隊」	１２
		プログラム「布でフクロウを作ろう」	３
		里山復元班・レクリェーション班会議	８
	３１日	プログラム「癒しのテラリウムを作ろう　パート①」	７
		プログラム「癒しのテラリウムを作ろう　パート②」	９
		草木染め同好会活動日	５
８月			
	１日	活動スタッフリーダー会	７

月　日	主　な　事　項	利用人数
７日	森の学校	１３
８日	プログラム「アマゴのつかみ取りをしよう」	２０
２０日	プログラム「草木で染めよう　～藍の生葉～　パート①　」	８
	プログラム「草木で染めよう　～藍の生葉～　パート②」	６
２１日	プログラム「里山伝承　～黒豆を栽培しよう～」	１０
２８日	プログラム「そば道場シリーズ　第１回」	８
	プログラム「森の時計を作ろう」	９
２９日	プログラム「みつろうでロウソクとキッチンラップを作ろう　パート①」	８
	プログラム「みつろうでロウソクとキッチンラップを作ろう　パート②」	８
９月		
７日	自然再発見の会活動日	１
８日	兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	１１
１０日	たんなん子育てふれあいセンター　森のようちえん	１７
１１日	公園開園２０周年記念事業実行委員会	１０
１２日	プログラム「囲炉裏テーブルを作ろう」	１０
１５日	兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	１１
	草木染同好会活動日	４
１７日	プログラム「草木で染めよう～クルミ～」	６
１８日	プログラム「草木で染めよう～クルミ～」	７
１９日	プログラム「布スリッパを作ろう」	５
２２日	兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	１１
２５日	プログラム「ロケットストーブを作ろう」	９
２６日	プログラム「稲作体験」	１３
	関西国際大学歴史文化ツーリズム研究会	９
２９日	兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	１０
３０日	マツタケ施業班活動日	２
１０月		
２日	森の学校	７
３日	プログラム「森のヨガ」	１０
７日	マツタケ施業班活動日	２
	あらし班活動日	４
８日	たんなん子育てふれあいセンター　園内散策	２９
９日	プログラム「初めての草木染め」	８
１０日	プログラム「秋の花と実を楽しもう」	１３
	活動スタッフ臨時総会	２９
	里山体験・里山伝承・自然学習班会議	８
１４日	マツタケ施業班活動日	２
１５日	プログラム「草木で染めよう　①コチニール」	８
	プログラム「草木で染めよう　②コチニール」	８
１６日	プログラム「陶芸を楽しもう」	１０
	レクリェーション班・里山復元班会議	１

月　日	主　な　事　項	利用人数
１７日	プログラム「稲作体験」	１１
１９日	自然再発見の会活動日	１
２０日	草木染め同好会活動日	３
	西紀きた幼稚園	１２
２１日	マツタケ施業班活動日	３
	関西国際学園初等部	３８
２３日	プログラム「親子で楽しむ工作～モビールづくり～」	８
	プログラム「里山伝承～黒豆を栽培しょう～」	１２
	篠山自然の会	２３
２４日	アオアシゲストハウス	８
２６日	丹波篠山市立味間認定こども園	１０９
２７日	丹波篠山市立城北畑小学校	３９
	兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	７
２８日	マツタケ施業班活動日	２
３０日	プログラム「そば道場シリーズ」	８
３１日	プログラム「丸太のベンチ作り」	５
１１月		
２日	トライやる・ウィーク	１
３日	トライやる・ウィーク	１
	公園開園２０周年記念事業実行委員会	１３
	活動スタッフリーダー会	１０
４日	たんなん子育てふれあいセンター　森のようちえん	２８
６日	森の学校	１３
	プログラム「木登り体験～ツリーイング　パート①」	３
	プログラム「木登り体験～ツリーイング　パート②」	３
７日	プログラム「大人の火起こし体験」	９
１１日	マツタケ施業班活動日	１
１２日	プログラム「草木で染めよう～サンゴジュ～」	８
１３日	プログラム「草木で染めよう～サンゴジュ～」	７
	プログラム「秋の登山～黄葉の深山に登ろう～」	１４
１４日	マツタケ施業班活動日	１
１６日	ママヨガ	５
１７日	兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	９
	草木染め同好会活動日	４
１８日	丹波篠山市立味間小学校５年生	１１４
	桃山台クラブ	４１
２１日	特別企画「里山ワークショップ」	１３４
２４日	兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	１０
２７日	プログラム「そば道場シリーズ」	８
２８日	プログラム「こんにゃくを作ろう」	１１
	プログラム「シイタケづくり～原木の伐採～」	１０
１２月		
１日	兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	１１

月　日	主　な　事　項	利用人数
２日	動物のオブジェ作り	１
３日	たんなん子育てふれあいセンター	２８
４日	プログラム「ハンガーラックを作ろう」	１０
	森の学校	１２
５日	プログラム「森のサンタを作ろう　パート①」	３
	プログラム「森のサンタを作ろう　パート②」	２
９日	動物のオブジェ作り	１
１０日	炭焼き	５
１１日	お楽しみ会	８
	プログラム「黒豆を栽培しょう」	１０
１２日	プログラム「バードウォッチング」	７
	プログラム「ミニかまどを作ろう」	９
１４日	あらし班活動日	５
１６日	動物のオブジェ作り	１
１８日	プログラム「そば道場シリーズ」	８
１９日	プログラム「ミニ門松作り」	１０
２１日	動物のオブジェ作り	１
２２日	動物のオブジェ作り	１
２３日	動物のオブジェ作り	１
２５日	プログラム「しめ縄を作ろう」	８
２６日	正月飾り作り	７
令和４年１月		
８日	森の学校	９
１０日	とんど祭	６
	レクリェーション班、里山復元班会議	３
１２日	兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	１１
１６日	プログラム「こんにゃくを作ろう」	１０
	公園開園２０周年記念品部会	８
	里山体験・里山伝承班会議	５
２月		
４日	公園開園２０周年記念物部会	３
５日	森の学校	８
６日	活動スタッフリーダー会	７
	お楽しみ会	３
	公園開園２０周年記念事業実行委員会	１１
１２日	プログラム「冬の生きもの探し」	７
１６日	あらし班会議	６
１９日	プログラム「黒豆のお味噌を作ろう」	１０
	公園開園２０周年記念品部会	３
２０日	プログラム「黒豆のお味噌を作ろう」	９
	公園開園２０周年記念物部会	７
２２日	丹波篠山市立八上小学校３年生	１９
２７日	プログラム「チェンソー安全教室」	７

月	日	主 な 事 項	利用人数
３月			
	２日	たんなん子育てふれあいセンター	２３
	５日	森の学校	１４
		公園開園２０周年記念物部会	５
	６日	プログラム「シイタケづくり～植菌～」	１０
		公園開園２０周年記念物部会	４
	８日	自然再発見の会活動日	２
	１２日	あらし班活動日	４
		プログラム「早春の生きもの探し」	１５
		プログラム「木製のカトラリーを作りましょう」	９
	１３日	プログラム「布ぞうりを作ろう」	６
	１６日	草木染め同好会活動日	５
	１７日	マツタケ施業班活動日	２
	１８日	プログラム「草木で染めよう～ウメ～」	７
	１９日	プログラム「草木で染めよう～ウメ～」	９
		公園開園２０周年記念物部会	２
	２５日	ささやまの森公園運営協議会総会	１４
	２７日	公園開園２０周年記念誌部会	２
	２９日	公園開園２０周年記念物部会	２

ささやまの森公園運営協議会の開催状況

運営協議会の開催状況

区　分	開 催 日	開　催　地	出席者数	協　　議　　事　　項
第１回	令和４年 ３月２５日	ささやまの森公園	１４名	令和３年度事業報告及び令和４年度事業計画について

ささやまの森公園運営協議会委員名簿

令和４年３月３１日現在

	氏　名	職　名　・　所　属　等
顧問		
会長	樋口　清一	元ささやまの森公園長
副会長	田井　彰人	活動スタッフリーダー
副会長	森田　多喜夫	地元福住地区自治会長会会長
	鈴木　武	兵庫県立大学助教、兵庫県立人と自然の博物館研究員
	丹後　政俊	丹波篠山市教育長
	梶村　徳全	兵庫県立丹波並木道中央公園管理事務所長
	岸部　健司	兵庫県立篠山東雲高等学校長
	川﨑　直哉	丹波篠山市立岡野小学校教諭
	遠山　昌平	地元大字福住地区総代
	杉田　和博	地元川原地区自治会長
	谷口　次男	篠山自然の会
	金川　文雄	丹波自然友の会
	脇塚　陸	ひょうご森のインストラクター、活動スタッフ
	杉田　弘治	地元活動協力者
	森田　悟	地元活動協力者
	井口　剛	元ささやまの森公園長
	岡田　照代	活動スタッフリーダー

機能

体験プログラム・イベントのご案内

丹波篠山は、自然豊かな森に囲まれています。里人たちは「里山」と呼ばれる森を利用して生活してきました。農家の裏山にあたる里山は、村人たちが長い間暮らしと共に育んできたすばらしい環境です。美しい水と森に育まれ、草花や動物たちが生息し、四季それぞれの表情を見せています。身近な動物やホタル、カブトムシなど子供達の大好きな昆虫、春・秋の七草をはじめ、街で見かけなくなった生き物とも出会うことができます。ささやまの森公園は暮らしと共に育んできた里山環境をみんなで理解し、山の幸を味わい、里山文化を伝承し、森の環境そのものを皆で楽しみながら、人と共生できる自然の営みや私達の暮らしのあり方を考える場として整備しています。ボランティアの活動スタッフとともに多彩なプログラムやイベントを展開し、世代や地域を越えた交流を通して、豊かな丹波の里山づくりを目指しています。

■基本プログラム

里　山　体　験	草木染め、癒しのハーブ石鹸を作ろう、九猿（苦去る）を作ろう、布ぞうりを作ろう、布でフクロウを作ろう、癒しのテラリウムを作ろう、みつろうでロウソクとキッチンラップを作ろう、布スリッパを作ろう、森のサンタを作ろう、しめ縄を作ろう
里　山　伝　承	黒豆を栽培しょう、そば道場入門、健康増進梅味噌を作ろう、こんにゃくを作ろう、黒豆のお味噌を作ろう
自　然　学　習	バードウォッチング、春の野草観察、モリアオガエルとホタルを観よう、森にすむカエルを見つけよう、３種類のホタルを観よう、セミのぬけがらを探そう、水辺の生きものを探そう、秋の花と実を楽しもう、冬の生き物探し、早春の生きもの探し
レクリエーション	秋の深山登山、陶芸を楽しもう、ささやまの森探検隊、アマゴのつかみ取りをしよう、ロケットストーブを作ろう、森のヨガ、親子で楽しむ工作～モビールづくり～、木登り体験～ツリーイング、大人の火起こし体験、ミニかまどを作ろう、とんど祭、木製のカトラリーを作りましょう
里　山　復　元	稲作体験、丸太のベンチ作り、ハンガーラックを作ろう、森の時計作り、囲炉裏テーブルを作ろう、シイタケづくり、ミニ門松作り、チェンソー安全教室

■団体プログラム

プログラムは原則として土曜・日曜・祝日に実施しますが、団体の申し込みには、平日でも希望のプログラムを組み実施しています。

■学校向けプログラム

「総合的な学習の時間」の展開に適したプログラムを約２０種類用意し、要望に応じています。

■森の学校

小学３年生から６年生の児童を対象にした里山体験プログラムを年間１０回体験します。

■イベント

春・秋の里山まつり、里山コンサート、里山落語などのイベントを実施しています。

沿革

ささやまの森公園の設置

１　設置の趣旨

兵庫県では法人県民税の超過課税の財源を基に「自然活用型野外ＣＳＲ事業」（文化 Culture/スポーツ Sports/レクリエーション Recreation）を実施しています。

「丹波の森構想」の理念のもとに、自然を生かした生活環境や地域の文化を形成してきた里山を保全育成することを目的とします。住民の参画と実践により都市住民との交流、異世代間の交流、里山の保全利用を目標にしたプログラムを展開し、グリーンツーリズムの場として県民に自然との触れ合いの場を提供し、生活をより豊かにする里山・森づくりを推進します。

２　沿　革

・平成１４年　４月　１日　　兵庫県と丹波の森協会が実施委託契約
・平成１４年　４月　４日　　活動拠点施設開所式
・平成１４年　７月　６日　　ログ小屋完成
・平成１４年　７月２１日　　開園式典
・平成１５年　５月１７日　　杣小屋完成
・平成１６年　３月３１日　　１０号作業道・１２号歩道（木の実の散策路）完成
・平成１６年　６月　１日　　竹の館完成
・平成１７年　３月３１日　　１３号歩道・１４号歩道・１５号歩道（湖上の散策路）完成
・平成１８年　３月３１日　　１６号作業道（エビズエの散策路）・東屋（雑木林の散策路頂上）・藤棚（水辺の広場）・臨時駐車場完成
・平成１８年　４月　１日　　篠山市から、財団法人兵庫丹波の森協会が管理運営を受託
・平成１８年１０月　８日　　森守の小屋完成
・平成１９年　４月１５日　　開園５周年記念式典
・平成１９年　４月１５日　　万兎の森第１期工事完成
・平成１９年１１月１０日　　炭焼き小屋と杣小屋の屋根延長工事完成
・平成２０年　３月１５日　　万兎の森第２期工事完成
・平成２０年１１月２３日　　レンガ窯「ささもり窯」の完成
・平成２０年１１月２６日　　野鳥観察小屋完成
・平成２１年　３月１０日　　万兎の野草園造成
・平成２２年　３月　６日　　野鳥の森第１期植樹完成
・平成２３年　３月２４日　　木材乾燥小屋「木の館」完成
・平成２３年１１月１８日　　ささもり窯作業場完成
・平成２４年　４月　１日　　公益財団法人兵庫丹波の森協会が、ささやまの森公園の指定管理者となる。（平成２４年度～平成２６年度）
・平成２４年　４月１５日　　開園１０周年記念式典
・平成２４年１２月　１日　　来園者２０万人達成記念
・平成２４年１２月　１日　　森の遊び場オープン
・平成２６年　６月２６日　　ささもりのステージ完成
・平成２６年１０月３１日　　水車小屋完成

・平成２７年　４月　１日　　公益財団法人兵庫丹波の森協会が、ささやまの森公園の指定管理者となる。
（平成２７年度～平成２９年度）
・平成２７年　５月３１日　　バーベキュー広場完成
・平成２８年１０月１５日　　森の迷路完成
・平成２９年　４月　９日　　開園１５周年記念式典
・平成３０年　４月　１日　　公益財団法人兵庫丹波の森協会が、ささやまの森公園の指定管理者となる。
（平成３０年度～令和２年度）
・平成３０年１１月１１日　　来園者３０万人達成記念
・令和 元 年１０月１２日　　コカ・コーラ　ボトラーズジャパン株式会社による「水源の森たんばささやま」の活動はじまる
・令和 ２ 年　３月２１日　　ささもりのステージ改築工事完成
・令和 ２ 年　６月　４日　　たいこ橋改修工事完成
・令和 ２ 年　８月３０日　　散策路（こもれびの園地下）災害復旧工事完成
・令和 ３ 年　３月　８日　　ホームページリニューアル及びスマホ対応化完成
・令和 ３ 年　３月１１日　　木柵（ハンノキ林周辺）修繕工事完成
・令和 ３ 年　３月１９日　　階段（東屋上）改修工事完成
・令和 ３ 年　３月２２日　　浄化槽設置工事完成
・令和 ３ 年　４月　１日　　公益財団法人兵庫丹波の森協会が、ささやまの森公園の指定管理者となる。
（令和３年度～令和５年度）
・令和 ３ 年　７月２１日　　森の道場換気設備工事完成
・令和 ３ 年　９月２０日　　給水ポンプ整備工事完成
・令和 ３ 年１２月　８日　　管理棟外外壁塗装工事完成
・令和 ４ 年　２月　３日　　木橋補修工事完成（アカマツ林の散策路）
・令和 ４ 年　２月　３日　　木柵補修工事完成（アカマツ林の散策路）

施設の概要

ささやまの森公園の概要

活動拠点施設がある谷を中心に両側の尾根までを「ささやまの森公園」の範囲としています。その中には、兵庫県所有地と借地を含んでおり、面積は２５５ha におよび、人工林３０％自然林７０％が広がります。

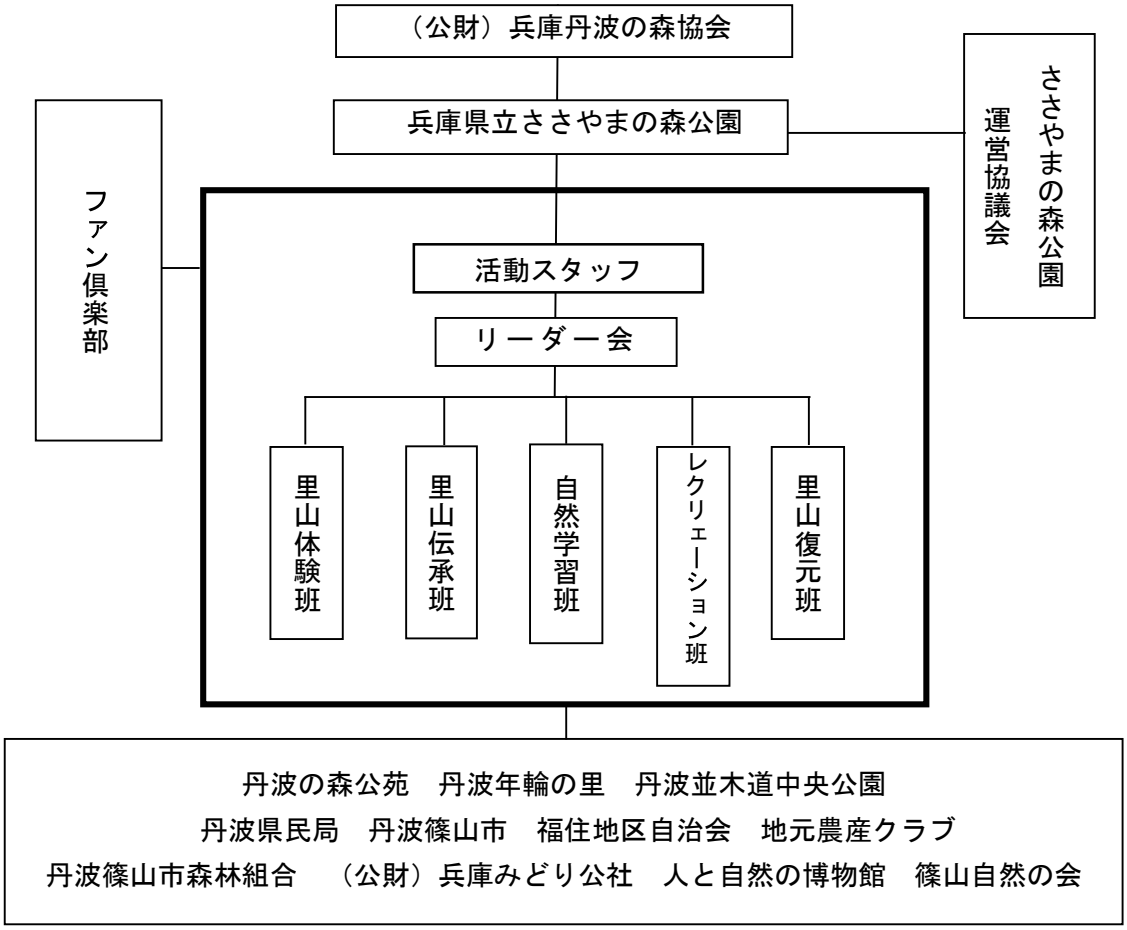
なお、平成１４年７月開園から令和３年度末までの利用者数累計は３６２，４４７人です。

名称	内容
活動拠点施設	事務局・森の道場・和室・倉庫・台所・トイレ・手押しポンプ
森守の小屋	活動スタッフの研修・集会・休憩場所として活動スタッフの手で建築
ログ小屋	作業車の格納庫として、活動スタッフが間伐材を利用して建築
竹の館	木工材料の乾燥・保管場所（４×１０ｍ）活動スタッフが間伐材を利用して建築
炭焼き窯	直径 1.8m の本格的な炭焼き窯
杣小屋	木工細工所として、活動スタッフの手で建築
ささもり窯	丹波焼きの技術を取り入れた窯で、パン・ピザも焼くことができる設計にした
木の館	木材乾燥小屋として、活動スタッフが間伐材を利用して建築
野鳥観察小屋	雑木林の中に野鳥が観察できる小屋（１６㎡ ）が完成
ビオトープ池	トンボや水生生物などが集まり、自然観察ができる場
クリ林の園地	クリ林の中での活動、交流など集いの拠点
万兎の森	昆虫や鳥を呼ぶ森作りとして、活動スタッフの手で植樹・造成
万兎の野草園	石庭形式の中に、公園内の野草を集め観察できる庭を完成
水辺の広場	渓流の傍に芝生の広場が広がり、木陰・石ベンチがあり子どもの遊び場
野鳥の森	鳥を呼ぶ森作りとして、活動スタッフの手で植樹
こもれびの園地	コナラ林の明るい散開林に東屋があり、ネイチャーゲームや野鳥観察ができる
森の遊び場	ヒノキ林の中にある森の迷路の遊び場
モリアオガエルの池	季節にはモリアオガエルが産卵する池で、説明板や観察台を設置
果樹園	農家の庭先に植えてあるような果樹を栽培
散策路	湖岸の散策路・アカマツ林の散策路・雑木林の散策路・黄葉樹の散策路・木の実の散策路・さえずりの散策路、湖上の散策路等全長１２．６４０ｋｍ整備
ハイキング道	尾根に全長１０ｋｍのハイキングコースを活動スタッフの手で開拓・整備
ささもりのステージ	森の中のステージで演奏会などの利用ができる
水車小屋	「コットン、コットン」の音とともに昔の里山風景をつくっている
駐車場	施設前駐車場（５０台）・ダム西駐車場（５０台）・ダム東駐車場（３０台）

組織と職員

令和４年３月３１日　現在

（１）組織体系



■ファン倶楽部：運営を支援するための年会費制応募者。
■活動スタッフ：プログラムの企画・実施や、ささやまの森公園で里山活動を行う。

（２）職　員

担　　当	氏　　名
公園長兼管理課長	花　村　　諭
経　理　担　当	藤　原　一　美
森づくり担当	藤　井　満　成
プログラム担当	長　井　吉　広
総　務　担　当	松　本　真理子
総　務　担　当	大　西　和　之

丹波並木道中央公園

・活動一覧

・施設利用一覧

・森の円卓会議の開催状況及び委員名簿

・施設の概要・沿革

・組織と職員

活動一覧

丹波並木道中央公園

令和３年４月１日～令和４年３月３１日

月　日	主　な　事　項	参加者
令和３年４月		
	レンタサイクル	38
4月3日	大人の木工教室	4
4月5日	木工サポーター	4
4月9日	木工サポーター（自由木工）	2
4月17日	大人の木工教室	4
4月18日	ノルディックウォーキング	10
4月19日	木工サポーター	3
4月21日	こころと体の癒し講座 アロマワックスサシェづくり	9
4月24日	パークガイド「太古の生きもの館に遊びに行こう！」 ※コロナのため中止	0
4月25日	たんばオープンガーデン2021 ※コロナのため不参加	0
4月26日	たんばオープンガーデン2021 ※コロナのため不参加	0
5月		
	レンタサイクル	29
5月1日	大人の木工教室 ※コロナのため中止	0
5月1日～5月9日	並木道倶楽部展覧会 ※コロナのため中止	0
5月2日	石ころアート① ※コロナのため中止	0
5月2日	石ころアート② ※コロナのため中止	0
5月2日	石ころアート③ ※コロナのため中止	0
5月2日	石ころアート④ ※コロナのため中止	0
5月2日	石ころアート⑤ ※コロナのため中止	0
5月5日	化石発掘体験会① ※コロナのため中止	0
5月5日	化石発掘体験会② ※コロナのため中止	0
5月8日	親子de Let'sノルディックウォーキング ※コロナのため中止	0
5月9日	押し花のクリアーアレンジ① ※コロナのため中止	0
5月9日	押し花のクリアーアレンジ② ※コロナのため中止	0
5月15日	茶摘み体験とお茶の作り方 ※コロナのため中止	0
5月16日	ノルディックウォーキング ※雨天の中止	0
5月17日	木工サポーター	4
5月19日	心とからだの癒し講座～苔玉づくり～	10

月　日	主　な　事　項	参加者
5月21日	花と緑の教室（午前） 夏の草花の寄せ植えと管理法	9
5月21日	花と緑の教室（午後） 夏の草花の寄せ植えと管理法	10
5月21日	花と緑の教室（材料のみ） 夏の草花の寄せ植えと管理法	2
5月22日	赤米の田植え体験	4
5月22日	木工クラフト（ミニプランター）①	1
5月22日	木工クラフト（ミニプランター）②	2
5月22日	木工クラフト（イス）①	3
5月22日	木工クラフト（イス）②	2
5月23日	たんばオープンガーデン2021	－
5月24日	たんばオープンガーデン2021	－
5月24日	木工サポーター	2
5月25日	茶摘み体験とお茶の作り方（午前）	3
5月25日	茶摘み体験とお茶の作り方（午後）	2
5月28日	木工サポーター（自主活動）	2
5月30日	こどもクラフト（万華鏡づくり）午前	6
5月30日	こどもクラフト（万華鏡づくり）午後	3
5月31日	木工サポーター	4

6月

	レンタサイクル	23
6月5日	大人の木工教室	4
6月5日	かやぶき民家でお茶づくし「新茶の間」	12
6月5日	かやぶき民家でお茶づくし「丹波茶めぐり」	10
6月5日	かやぶき民家でお茶づくし「日本茶のみくらべ」	8
6月7日	木工サポーター	3
6月11日	木工サポーター（自主活動）	1
6月12日	なみきみちクラフト	2
6月14日	木工サポーター	3
6月18日	花と緑の教室（午前） 夏の花木を使った寄せ植え	12
6月18日	花と緑の教室（午後） 夏の花木を使った寄せ植え	11
6月18日	花と緑の教室（材料のみ） 夏の花木を使った寄せ植え	1
6月19日	大人の木工教室	3
6月20日	ノルディックウォーキング	15
6月21日	木工サポーター	2
6月28日	木工サポーター	3
6月30日	第1回なみきみちまつり実行委員会	20

7月

	レンタサイクル	41
7月3日	大人の木工教室	5
7月3日	動く恐竜模型お披露目式	80
7月4日	七夕茶会	8
7月5日	木工サポーター	3
7月10日	なみきみちクラフト	8
7月12日	木工サポーター	2
7月18日	ノルディックウォーキング	7
7月19日	木工サポーター	4
7月20日	四施設連携会議	7

月　日	主　な　事　項	参加者
7月23日	和紅茶をつくろう	8
7月25日	化石発掘体験会①	10
7月25日	化石発掘体験会②	9
7月26日	木工サポーター	2
8月		
	レンタサイクル	75
8月2日	木工サポーター	3
8月4日	第2回なみきみちまつり実行委員会	18
8月7日	大人の木工教室	4
8月9日	あんどんづくり①	6
8月9日	あんどんづくり②	9
8月15日	ノルディックウォーキング ※雨天のため中止	0
8月16日	木工サポーター	3
8月21日	大人の木工教室	1
8月22日	化石発掘体験会①	10
8月22日	化石発掘体験会②	9
8月23日	木工サポーター	1
8月28日	なみきみちクラフト	2
9月		
	レンタサイクル	61
9月4日	大人の木工教室	3
9月5日	押し花のクリアアレンジ（午前）	7
9月5日	押し花のクリアアレンジ（午後）	10
9月6日	木工サポーター	3
9月11日	なみきみちクラフト	3
9月16日～10月1日	ヤギによる除草実験	－
9月17日	花と緑の教室（午前） 秋の苔玉づくりと管理法	6
9月17日	花と緑の教室（午後） 秋の苔玉づくりと管理法	12
9月17日	花と緑の教室（材料） 秋の苔玉づくりと管理法	2
9月18日	大人の木工教室	4
9月19日	ノルディックウォーキング	8
9月22日	心とからだの癒し講座 金彩野草図をかこう！	9
9月22日	かかし立て	2
9月27日	木工サポーター	3
9月27日	釜炒り茶づくり体験（研修）	6
9月30日	森の円卓会議	18
10月		
	レンタサイクル	49
10月2日	大人の木工教室	4
10月2日～10月31日	丹波の森ミニガーデン	－
10月3日	化石のお話しと化石発掘体験会	26
10月3日	UVレジンでアンモナイト化石のストラップづくり	26
10月3日	アンモナイトのクイズと化石のレプリカづくり	51
10月15日	花と緑の教室（午前） 秋の草花の寄せ植えと管理法	8
10月15日	花と緑の教室（午後） 秋の草花の寄せ植えと管理法	11
10月15日	花と緑の教室（持ち帰り） 秋の草花の寄せ植えと管理法	2

月　日	主　な　事　項	参加者
10月15日	花と緑の教室（材料） 秋の草花の寄せ植えと管理法	1
10月16日	釜炒り茶をつくろう	8
10月17日	ノルディックウォーキング	5
10月17日	黒枝豆の収穫体験	25
10月18日	木工サポーター	3
10月19日	味間小学校体験	110
10月23日	ひょうご丹波チャレンジ200	22
10月23日	赤米の稲かり体験	3
10月25日	木工サポーター	7
10月26日	赤米の稲かり体験（つきかげ認定こども園）	17
10月26日	赤米の稲かり体験（みのり認定こども園）	20
10月27日	丹有地区中学校駅伝競走大会	250
10月27日	心とからだの癒し講座 「ハーブの石けんづくり」	7
10月27日	並木道絵画倶楽部展覧会	7
10月28日	並木道絵画倶楽部展覧会	20
10月29日	並木道絵画倶楽部展覧会	15
10月30日	木工クラフト プランターづくり	4
10月30日	木工クラフト イスづくり	4
10月30日	なみきみちクラフト	2
10月30日	並木道絵画倶楽部展覧会	46
10月31日	パークガイド「篠山層群　岩砕調査最前線！」	5
11月		
	レンタサイクル	78
11月1日～2日	トライやるウィーク（篠山中学校）	3
11月1日	木工サポーター	4
11月1日	並木道絵画倶楽部展覧会	28
11月2日	並木道絵画倶楽部展覧会	18
11月3日	石ころアート	41
11月3日	並木道絵画倶楽部展覧会	－
11月4日	トライやるウィーク（丹南中学校）	4
11月4日	エコロコしぜんえんそく（古市幼稚園）	58
11月5日	トライやるウィーク（丹南中学校）	4
11月5日	兵庫ガーデンマイスター交流会	20
11月6日	大人の木工教室	1
11月6日	コスモスつみとり体験	27
11月6日	丹波篠山市ミニ駅伝大会	195
11月8日	木工サポーター	4
11月12日	木工サポーター（研修）	4
11月13日	なみきみちクラフト	2
11月13日～12月19日	たんば恐竜街道スタンプラリー	236
11月15日	木工サポーター	4
11月17日	味間小学校2年生　課外活動	99
11月21日	ふたたび茶会	79
11月21日	ノルディックウォーキング	13
11月22日	木工サポーター	4
11月24日	心とからだの癒し講座「クリスマスリースづくり」	8
11月26日	花と緑の教室（午前） ポンセチアを使った寄せ植えと管理法	7
11月26日	花と緑の教室（午後） ポンセチアを使った寄せ植えと管理法	10
11月26日	花と緑の教室（見本） ポンセチアを使った寄せ植えと管理法	1
11月28日	ハンドメイド教室がまロポーチを作ろう！（午前）	12

月　日	主　な　事　項	参加者
11月28日	ハンドメイド教室　がまロポーチを作ろう！（午後）	7
11月28日	里山スクール（第4回目）	6
11月28日	冬のはじまり茶会	7
11月29日	木工サポーター	5
12月		
	レンタサイクル	25
12月4日	大人の木工教室	1
12月5日	なみきみちクラフト（団体）	6
12月6日	木工サポーター	4
12月17日	花と緑の教室（午前） 正月を飾る寄せ植えと管理法	11
12月17日	花と緑の教室（午後） 正月を飾る寄せ植えと管理法	13
12月17日	花と緑の教室（材料） 正月を飾る寄せ植えと管理法	4
12月19日	ノルディックウォーキング	6
12月19日	ミニ門松づくり	18
12月19日	ミニ門松づくり（販売）	2
12月20日	木工サポーター	5
令和4年1月		
	レンタサイクル	
1月9日	つくって遊ぼう凧づくり（午前）	6
1月9日	つくって遊ぼう凧づくり（午後）	7
1月10日	木工サポーター	4
1月14日	コケテラリウムつくり	5
1月15日	製材所見学（里山研修会）	25
1月16日	ノルディックウォーキング	9
1月17日	木工サポーター	2
1月24日	木工サポーター	3
1月31日	木工サポーター	4
2月		
	レンタサイクル	
2月6日	寒茶をつくろう	9
2月7日	木工サポーター	3
2月12日	なみきみちクラフト	5
2月14日	木工サポーター	4
2月18日	花と緑の教室 早春の草花の寄せ植えと管理法	8
2月18日	花と緑の教室（材料） 早春の草花の寄せ植えと管理法	1
2月20日	ノルディックウォーキング	10
3月		
	レンタサイクル	
3月2日	森の円卓会議	17
3月7日	木工サポーター	3
3月12日	なみきみちクラフト	7
3月14日	木工サポーター	4
3月18日	花と緑の教室（午前） 春の草花の寄せ植えと管理法	11
3月18日	花と緑の教室（午後） 春の草花の寄せ植えと管理法	11
3月18日	花と緑の教室（持ち帰り） 春の草花の寄せ植えと管理法	2
3月18日	花と緑の教室（見本） 春の草花の寄せ植えと管理法	1

月　日	主　な　事　項	参加者
3月19日	大人の木工教室	1
3月19日	化石発掘体験会①	8
3月19日	化石発掘体験会②	7
3月19日	化石発掘体験会③	8
3月20日	ノルディックウォーキング	9
3月21日	木工サポーター	3
3月26日	親子で楽しむデイキャンプ ※雨天のため中止	0
3月26日	大型恐竜遊具遊び初め式	40
3月26日	木工サポーター	4

施設利用一覧

丹波並木道中央公園

令和３年４月１日～令和４年３月３１日

実施等	団体名	活動内容	参加者数
4月5日	新婦人の会	絵手紙教室	10
4月6日	丹波彫刻会	彫刻教室	7
4月6日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	7
4月8日	にしき会	グラウンドゴルフ	8
4月12日	並木道絵画倶楽部	絵を描く活動	6
4月13日	並木道絵画倶楽部	絵を描く活動	3
4月13日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	7
4月13日	丹波彫刻会	彫刻教室	11
4月14日	住友ゴム	植樹活動	6
4月15日	住友ゴム	植樹活動	4
4月19日	並木道絵画倶楽部	絵を描く活動	8
4月20日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	6
4月20日	丹波彫刻会	彫刻教室	5
4月21日	住友ゴム	植樹活動	6
4月22日	にしき会	グラウンドゴルフ	14
4月22日	住友ゴム	植樹活動	5
4月23日	住友ゴム	植樹活動	2
5月17日	並木道絵画倶楽部	絵を描く活動	5
5月18日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	8
5月24日	並木道絵画倶楽部	絵を描く活動	4
5月25日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	6
5月28日	並木道絵画倶楽部	絵を描く活動	4
5月31日	絵画教室	絵を描く活動	4
6月1日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	8
6月1日	丹波彫刻会	彫刻教室	8
6月7日	新婦人の会	絵手紙教室	3
6月8日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	8
6月8日	丹波彫刻会	彫刻教室	8
6月10日	にしき会	グラウンドゴルフ	9
6月14日	絵画教室	絵を描く活動	5
6月15日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	8
6月15日	丹波彫刻会	彫刻教室	7
6月15日	絵画教室	絵を描く活動	5
6月22日	丹波彫刻会	彫刻教室	8
6月24日	にしき会	グラウンドゴルフ	10
6月24日	並木道絵画倶楽部	絵を描く活動	4
6月24日	住友ゴム	植樹活動	5
6月28日	並木道絵画倶楽部	絵を描く活動	3
6月29日	並木道絵画倶楽部	絵を描く活動	4
6月29日	丹波彫刻会	彫刻教室	4
6月29日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	8
7月1日	住友ゴム	植樹活動	7
7月5日	新婦人の会	絵手紙教室	5

7月6日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	9
7月6日	丹波彫刻会	彫刻教室	12
7月12日	並木道絵画倶楽部	絵を描く活動	4
7月13日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	4
7月13日	丹波彫刻会	彫刻教室	11
7月19日	並木道絵画倶楽部	絵を描く活動	3
7月20日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	7
7月20日	丹波彫刻会	彫刻教室	7
7月20日	並木道絵画倶楽部	絵を描く活動	4
7月21日	住友ゴム	植樹活動	2
7月26日	並木道絵画倶楽部	絵を描く活動	4
7月27日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	5
7月27日	並木道絵画倶楽部	絵を描く活動	4
7月27日	丹波彫刻会	彫刻教室	12
7月28日	丹波OB大学	ノルディックウォーキング	4
7月29日	スターブレインズ インターナショナルスクール	遠足	32
8月1日	にしき会	グラウンドゴルフ	8
8月2日	新婦人の会	絵手紙教室	5
8月3日	丹波彫刻会	彫刻教室	7
8月7日	神戸灘まちづくり協議会	公園見学	18
8月10日	日本茶サークル「Tan-te」	紅茶づくり研修会	6
8月10日	並木道絵画倶楽部	絵を描く活動	5
8月12日	丹波彫刻会	彫刻教室	4
8月16日	並木道絵画倶楽部	絵を描く活動	5
8月30日	並木道絵画倶楽部	絵を描く活動	7
8月31日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	6
8月31日	並木道絵画倶楽部	絵を描く活動	4
8月31日	丹波彫刻会	彫刻教室	5
9月6日	新婦人の会	絵手紙教室	5
9月7日	並木道絵画倶楽部	絵を描く活動	4
9月7日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	7
9月7日	丹波彫刻会	彫刻教室	4
9月8日	住友ゴム	植樹活動	6
9月9日	にしき会	グラウンドゴルフ	12
9月9日	丹波彫刻会	彫刻教室	4
9月14日	並木道絵画倶楽部	絵画倶楽部	3
9月14日	丹波彫刻会	彫刻教室	5
9月15日	住友ゴム	植樹活動	7
9月19日	三田学園中学校	駅伝の試走	21
9月21日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	8
9月21日	並木道絵画倶楽部	絵を描く活動	3
9月21日	丹波彫刻会	彫刻教室	5
9月21日	住友ゴム	植樹活動	2
9月22日	住友ゴム	植樹活動	7
9月27日	並木道絵画倶楽部	絵画倶楽部	6
9月27日	住友ゴム	植樹活動	6
9月28日	並木道絵画倶楽部	絵を描く活動	4
9月28日	第10福寿会	植樹活動	8
9月28日	丹波彫刻会	彫刻教室	5
9月29日	篠山産業高校	ミニガーデン作業	4

9月29日	住友ゴム	植樹活動	6
9月30日	丹波彫刻会	彫刻教室	4
9月30日	にしき会	グラウンドゴルフ	8
10月1日	市島中学校	駅伝の試走	12
10月1日	柏原中学校	駅伝の試走	9
10月1日	中野母親クラブ	ミニガーデン作業	6
10月4日	新婦人の会	絵手紙教室	6
10月4日	八上小学校	遠足	20
10月4日	小川小学校	遠足	16
10月5日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	8
10月5日	丹波彫刻会	彫刻教室	8
10月7日	並木道絵画倶楽部	絵を描く活動	5
10月7日	丹波彫刻会	彫刻教室	5
10月9日	丹波篠山市スポーツ推進委員会	研修会	13
10月9日	篠山東中学校	駅伝の試走	10
10月9日	柏原中学校	駅伝の試走	14
10月9日	篠山中学校	駅伝の試走	32
10月9日	青垣中学校	駅伝の試走	19
10月9日	市島中学校	駅伝の試走	10
10月9日	春日中学校	駅伝の試走	15
10月9日	狭間中学校	駅伝の試走	5
10月9日	けやき台中学校	駅伝の試走	21
10月9日	氷上中学校	駅伝の試走	16
10月9日	長坂中学校	駅伝の試走	7
10月10日	狭間中学校	駅伝の試走	5
10月10日	丹南中学校	駅伝の試走	25
10月11日	並木道絵画倶楽部	絵を描く活動	4
10月12日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	7
10月12日	並木道絵画倶楽部	絵を描く活動	6
10月16日	春日中学校	駅伝の試走	17
10月16日	氷上中学校	駅伝の試走	21
10月16日	八景中学校	駅伝の試走	17
10月16日	ゆりのき台中学校	駅伝の試走	29
10月16日	三田学園中学校	駅伝の試走	19
10月16日	丹南中学校	駅伝の試走	32
10月16日	柏原中学校	駅伝の試走	13
10月16日	丹波障害者就業・生活支援センターほっぷ	散策	12
10月17日	狭間中学校	駅伝の試走	3
10月18日	並木道絵画倶楽部	絵を描く活動	6
10月18日	大山幼稚園	遠足	12
10月19日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	5
10月19日	今田小学校	遠足	23
10月21日	並木道絵画倶楽部	絵画教室	5
10月21日	丹波彫刻会	彫刻教室	3
10月22日	ノルディックウォーキング	ノルディックウォーキング	5
10月23日	サイクルステーション開所式	サイクルステーション開所式	30
10月23日	氷上中学校	駅伝の試走	15
10月23日	春日中学校	駅伝の試走	4
10月23日	長坂中学校	駅伝の試走	9
10月23日	狭間中学校	駅伝の試走	12
10月23日	八景中学校	駅伝の試走	15

10月24日	長坂中学校	駅伝の試走	20
10月24日	けやき台中学校	駅伝の試走	20
10月24日	丹南中学校	駅伝の試走	23
10月24日	篠山東中学校	駅伝の試走	16
10月24日	八景中学校	駅伝の試走	10
10月25日	並木道絵画倶楽部	絵画教室	7
10月26日	多紀小学校	遠足	25
10月26日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	8
10月26日	丹波彫刻会	彫刻教室	10
10月28日	にしき会	グラウンドゴルフ	8
10月28日	人と自然の博物館	岩砕調査	6
10月29日	富山こども園	遠足	15
10月29日	今田幼稚園	遠足	35
10月29日	人と自然の博物館	岩砕調査	10
10月30日	丹南中学校	駅伝の試走	13
10月30日	人と自然の博物館	岩砕調査	9
11月1日	城東小学校1年生、2年生	遠足	35
11月2日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	8
11月2日	城南幼稚園	遠足	54
11月2日	住友ゴム	植樹活動	4
11月2日	人と自然の博物館	岩砕調査	5
11月2日	丹波彫刻会	彫刻教室	11
11月3日	人と自然の博物館	岩砕調査	10
11月4日	人と自然の博物館	岩砕調査	7
11月5日	人と自然の博物館	岩砕調査	7
11月7日	人と自然の博物館	岩砕調査	4
11月8日	並木道絵画倶楽部	絵画教室	5
11月9日	並木道絵画倶楽部	絵画教室	4
11月9日	神戸保護観察所	公園の清掃手伝い	6
11月9日	丹波彫刻会	彫刻教室	10
11月9日	人と自然の博物館	岩砕調査	5
11月10日	人と自然の博物館	岩砕調査	7
11月11日	にしき会	グラウンドゴルフ	12
11月11日	並木道絵画倶楽部	絵画教室	3
11月11日	丹波彫刻会	彫刻教室	5
11月13日	丹波障害者就業・生活支援センターほっぷ	散策	14
11月16日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	9
11月16日	丹波彫刻会	彫刻教室	10
11月19日	並木道絵画倶楽部	絵画教室	3
11月19日	西脇市立桜小学校	遠足	32
11月24日	住友ゴム	植樹活動	5
11月24日	にしき会	グラウンドゴルフ	12
11月28日	消防団	訓練	20
11月29日	並木道絵画倶楽部	絵画教室	7
11月29日	住友ゴム	植樹活動	6
11月30日	並木道絵画倶楽部	絵画教室	4
11月30日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	9
11月30日	丹波彫刻会	彫刻教室	7
12月6日	新婦人の会	絵手紙教室	3
12月7日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	12
12月7日	丹波彫刻会	彫刻教室	8
12月10日	並木道絵画倶楽部	絵画教室	4
12月10日	住友ゴム	植樹活動	2

12月13日	並木道絵画倶楽部	絵画教室	5
12月14日	並木道絵画倶楽部	絵画教室	6
12月14日	丹波彫刻会	彫刻教室	9
12月16日	丹波彫刻会	彫刻教室	5
12月17日	住友ゴム	植樹活動	4
12月20日	並木道絵画倶楽部	絵画教室	5
12月21日	並木道絵画倶楽部	絵画教室	3
12月21日	丹波彫刻会	彫刻教室	6
12月23日	丹波彫刻会	彫刻教室	4
12月23日	住友ゴム	植樹活動	3
12月26日	丹波の森OB大学	園内散策	4
12月27日	並木道絵画倶楽部	絵画教室	4
令和4年1月5日	並木道絵画倶楽部	絵画教室	4
1月6日	並木道絵画倶楽部	絵画教室	6
1月11日	並木道絵画倶楽部	絵画教室	4
1月11日	丹波彫刻会	彫刻教室	8
1月18日	丹波彫刻会	彫刻教室	7
1月20日	丹波彫刻会	彫刻教室	4
1月25日	丹波彫刻会	彫刻教室	8
1月25日	並木道絵画倶楽部	絵画教室	6
1月27日	丹波彫刻会	彫刻教室	4
1月27日	丹波の森花クラブ	勉強会	7
1月28日	並木道絵画倶楽部	絵画教室	10
1月29日	鳳鳴高校陸上部	部活	6
1月31日	並木道絵画倶楽部	絵画教室	5
2月1日	丹波彫刻会	彫刻教室	7
2月3日	並木道絵画倶楽部	絵画教室	6
2月4日	並木道絵画倶楽部	絵画教室	4
2月7日	新婦人の会	絵手紙教室	4
2月8日	並木道絵画倶楽部	絵画教室	6
2月8日	丹波彫刻会	彫刻教室	7
2月15日	並木道絵画倶楽部	絵画教室	5
2月15日	丹波彫刻会	彫刻教室	6
2月21日	住友ゴム	植樹活動	5
2月21日	並木道絵画倶楽部	絵画教室	7
2月22日	並木道絵画倶楽部	絵画教室	5
2月22日	住友ゴム	植樹活動	2
2月24日	丹波彫刻会	彫刻教室	4
2月28日	住友ゴム	植樹活動	6
2月28日	並木道絵画倶楽部	絵画教室	4
3月1日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	8
3月1日	丹波彫刻会	彫刻教室	6
3月2日	住友ゴム	植樹活動	5
3月3日	並木道絵画倶楽部	絵画教室	7
3月7日	絵手紙の会	絵手紙教室	5
3月8日	並木道絵画倶楽部	絵画教室	7
3月8日	住友ゴム	植樹活動	4
3月8日	丹波彫刻会	彫刻教室	8
3月10日	丹波彫刻会	彫刻教室	4
3月10日	にしき会	グラウンドゴルフ	10
3月14日	並木道絵画倶楽部	絵画教室	6
3月14日	奈良交通	園内散策	35
3月15日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	6
3月15日	並木道絵画倶楽部	絵画教室	7

3月22日	並木道絵画倶楽部	絵画教室	6
3月22日	丹波彫刻会	彫刻教室	6
3月23日	住友ゴム	植樹活動	3
3月24日	にしき会	グラウンドゴルフ	11
3月24日	丹波彫刻会	彫刻教室	4
3月28日	並木道絵画倶楽部	絵画教室	5
3月29日	並木道絵画倶楽部	絵画教室	4
3月29日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	7
3月29日	丹波彫刻会	彫刻教室	6

丹波並木道中央公園森の円卓会議開催状況

森の円卓会議開催状況

区分	開催日	開催地	出席者数	協議事項
第１回	９月３０日	丹波並木道中央公園かやぶき民家	１８名	・令和３年度　丹波並木道中央公園の運営管理事業について ・第９回丹波なみきみちまつりについて ・「サイクルステーション」「動く恐竜模型」「大型遊具について
第２回	令和３年３月２日	丹波並木道中央公園かやぶき民家	１７名	・令和３年度第１回議事録について ・令和３年度の運営管理事業について ・令和３年度　丹波なみきみちまつりウィーク ・イノシシの被害ついて ・令和４年度の運営管理事業について ・公園利用のルールについて ・「恐竜遊具」の整備について

丹波並木道中央公園 森の円卓会議名簿

令和４年３月３１日現在

職名	氏　名	職　名　・　所　属　等
委員長	角野　幸博	関西学院大学教授、丹波の森公苑長、丹波の森研究所所長
副委員長	杉尾　吉弘	株式会社　夢こんだ社長
副委員長	土性　里花	一般社団法人ウイズささやま　総務課長
委員	谷垣　友里	一般社団法人 ROOT　代表理事
委員	上野　浩司	大山郷づくり協議会　会長
委員	溝端　義男	味間地区まちづくり協議会　会長
委員	雪岡　健一	大山下自治会会長
委員	山本　光一	西古佐自治会会長
委員	谷口　次男	篠山自然の会　副代表
委員	池田　忠広	兵庫県立人と自然の博物館　主任研究員
委員	中谷　光孝	（公財）兵庫県園芸・公園協会　総務部長
委員	芦田　茂	（公財）兵庫丹波の森協会　常務理事
オブザーバー	西脇　誠	協同組合 丹波林産振興センター理事
オブザーバー	中澤　康夫	篠山市左官技術研究会　会長
オブザーバー（行政）	髙本　良平	兵庫県県土整備部まちづくり局公園緑地課整備班
オブザーバー（行政）	廣田　宗朗	丹波県民局　丹波土木事務所　公園砂防課　課長
オブザーバー（行政）	中原　康弘	丹波県民局　丹波土木事務所　管理課　課長
オブザーバー（行政）	村上　由樹	丹波篠山市教育委員会 文化財課　課長

施設の概要・沿革

丹波並木道中央公園について

１　概要

丹波並木道中央公園は、「丹波の森構想」に基づく広域レクリエーション、都市と農村の交流及び地域活性化の拠点となる丹波地域初の広域公園です。

本公園を「丹波の夢ビジョン」で示されている「いのち（自然)、ひと（人間)、なりわい（産業)」の 3 つの「環」を育む拠点として、県民の参画と協働によって魅力的な森の空間を体感していただける公園です。

■所在地　　兵庫県丹波篠山市西古佐・大山下
■開園面積　70.9ha
■開園年月　平成 19 年 10 月 14 日
■種別　　広域公園
■休業日　　12 月 29 日～1 月 3 日
■主な施設

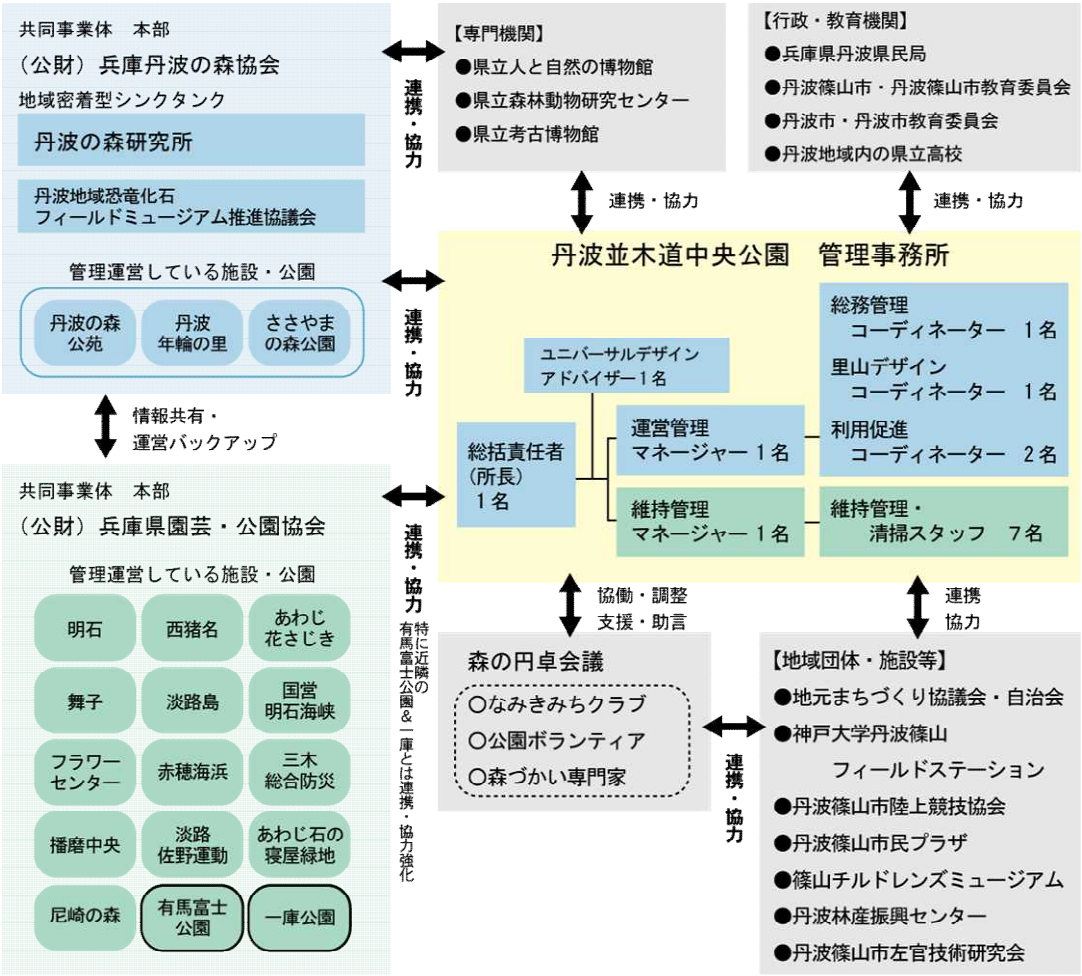
名　　称	内　　容
公園管理棟	事務所、会議室、トイレ（木造平屋建 279 ㎡）
かやぶき民家	畳部屋、かまど、トイレ（木造平屋建　242 ㎡）
森林活動センター	森林活動拠点（木造平屋建　374 ㎡）
駐車場	普通乗用車 110 台、バス 5 台、臨時駐車場 80 台
広場	芝生広場（4200 ㎡)、森の広場（9,400 ㎡)、お花見広場（1900 ㎡)、朝市広場（1200 ㎡）
棚田	棚田（2200 ㎡)、あおぞら広場（2500 ㎡）
育成展示林	生産林（5.1ha)、景観林（1.8ha)、活動林（2.6ha)、
植栽地等	高木　約 1000 本、中低木　約 7200 本
トイレ・休憩所	トイレ 4 棟、東屋 7 棟、展望テラス 1 基、パーゴラ 2 基
調整池	調整池 3 箇所、ため池 1 箇所
倉庫	木造平屋建　30 ㎡　2 棟
遊具等	遊具 3 基、木製散歩道 77m、動く恐竜模型 2 体
森の聖域ゾーン	21.4ha
サイクルステーション	休憩所、シャワー室、更衣室、便所、駐車場 5 台

２　沿　革

・平成 19 年 10 月 14 日　公園開園
・平成 23 年 4 月 1 日　財団法人兵庫丹波の森協会が財団法人兵庫園芸・公園協会とともに指定管理者となる。（平成 23 年度～平成 27 年度）
・平成 24 年 10 月 15 日　公園開園 5 周年
・平成 28 年 4 月 1 日　公益財団法人兵庫丹波の森協会が公益財団法人兵庫園芸・公園協会とともに指定管理者となる。（平成 28 年度～令和 2 年度）
・平成 29 年 10 月 15 日　公園開園 10 周年
・令和 3 年 4 月 1 日　公益財団法人兵庫丹波の森協会が公益財団法人兵庫園芸・公園協会とともに指定管理者となる。（令和 3 年度～令和 5 年度）

組織と職員

（１）組織体系



（２）業務分担表（兵庫丹波の森協会所属スタッフのみ）

令和４年３月３１日現在

	役職・氏名	担当業務内容
管理事務所	総括責任者（所長） 梶村　徳全	・公園管理業務の総括及び各業務の総合調整 ・対外的対応の総括 ・安全管理の総括 ・森の円卓議会の開催、運営企画
	ユニバーサル デザインアドバイザー 門上　保雄	・平等利用の確保や利用サービスの向上に関する助言 ・ユニバーサルデザイン・パークの取組に関する助言
	管理運営マネージャー 塩山　沙弥香	・統括責任者の代行、補佐 ・住民の参画と協働の実務 ・広報発行、イベント企画 ・苦情処理、利用調整、利用者対応等 ・森の円卓議会の開催、運営企画

	維持管理マネージャー 奥野　直之	・維持管理計画の作成・実行 ・作業工程管理、安全管理 ・維持管理関係の各種調整 ・苦情処理、利用調整、利用者対応等
	総務・管理 コーディネーター 谷口　政代	・財務会計処理業務 ・事業報告書処理業務 ・森の円卓議会の企画、運営 ・広報紙の企画・編集、情報発信
	利用促進コーディネーター 溝端 季子	・受付業務、苦情処理業務 ・利用調整、利用者対応業務 ・会計処理業務 ・住民の参画と協働のサポート ・イベント企画、各種調整
	利用促進コーディネーター 花川 恭子	・受付業務、苦情処理業務 ・利用調整、利用者対応業務 ・会計処理業務 ・住民の参画と協働のサポート ・イベント企画、各種調整
森林活動センター	里山デザイン コーディネーター 吉田　欣司	・森林活動センターの各種プログラムの企画、開催、運営 ・森林活動センターの維持管理作業 ・利用者対応、苦情受付

利用案内

丹波の森公苑

■開園時間　午前9時～午後10時

■休 園 日　月曜日（祝日の場合はその翌日）
12月31日から1月1日まで
（ただし、アトリエの継続利用については
月曜日も利用可）

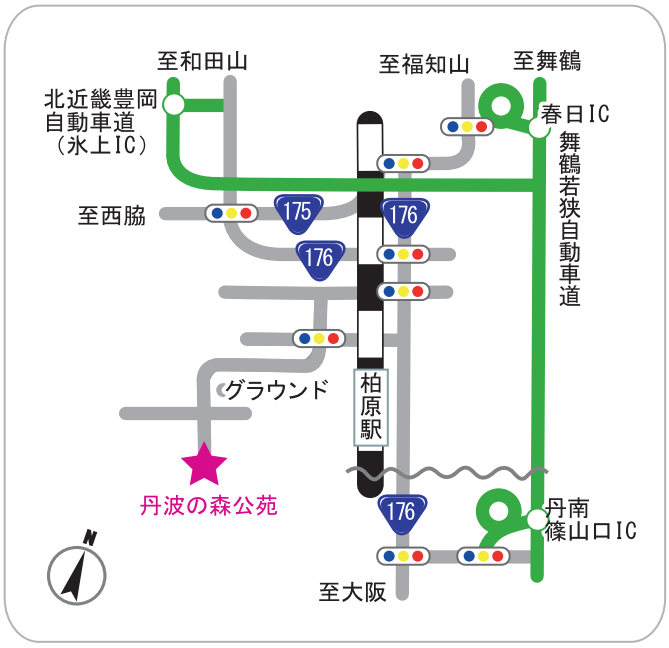
■アクセス　◇自動車利用
・舞鶴若狭自動車道「丹南篠山口IC」から、
国道176号を福知山方面へ25分

・舞鶴若狭自動車道「春日IC」から、
国道175号・176号を柏原方面へ20分

・北近畿豊岡自動車道「氷上IC」から、
柏原青垣線、国道176号を篠山方面へ15分

・中国自動車道「滝野社IC」から、
国道175号を福知山方面へ45分

◇JR利用
・JR福知山線「柏原駅」下車、徒歩15分



丹波年輪の里

■開園時間　午前9時～午後9時

■休 園 日　月曜日（祝日の場合はその翌日）
12月29日から1月3日まで

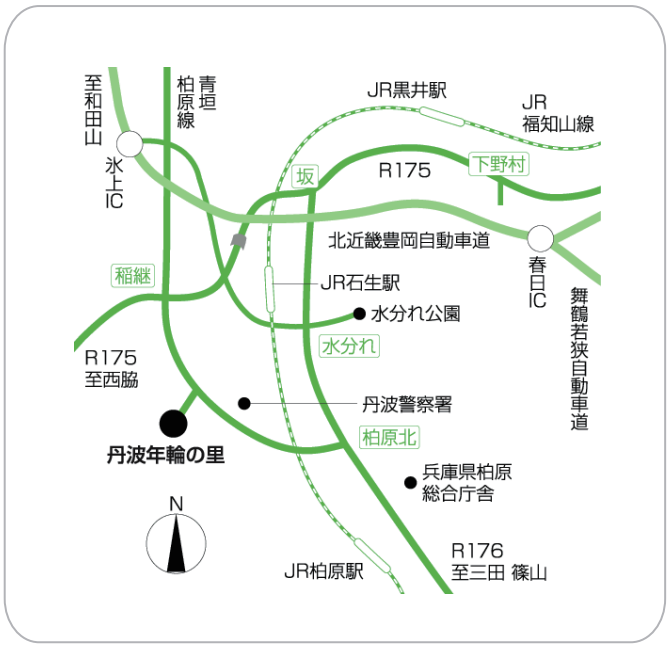
■アクセス　◇自動車利用
・舞鶴若狭自動車道「丹南篠山口IC」から、
国道176号を福知山方面へ30分

・舞鶴若狭自動車道「春日IC」から、
国道175号・176号を柏原方面へ15分

・北近畿豊岡自動車道「氷上IC」から、
柏原青垣線、国道176号を篠山方面へ5分

・中国自動車道「滝野社IC」から、
国道175号を福知山方面へ40分

◇JR利用
・JR福知山線「柏原駅」下車、車で約5分



ささやまの森公園

■開園時間　午前9時～午後5時

■休 園 日　月曜日（祝日の場合はその翌日）
12月29日から1月3日まで

■入園料・駐車料　無料

■アクセス

◇自動車利用
・舞鶴若狭自動車道「丹南篠山口IC」から、
国道372号を亀岡方面へ30分

・京都縦貫自動車道「亀岡IC」から、
国道372号を篠山方面へ40分

丹波並木道中央公園

■開園時間　駐車場利用時間　午前8時～午後5時30分

■休 園 日　12月29日から1月3日まで

■入園料・駐車料　無料

■アクセス

◇自動車利用
・舞鶴若狭自動車道「丹南篠山口ＩＣ」から、
国道175号を福知山方面へ10分

・北近畿豊岡自動車道「氷上ＩＣ」から、
柏原青垣線、国道176号を篠山方面へ30分

・中国自動車道「神戸三田ＩＣ」から、
国道176号を福知山方面へ30分

◇JR利用
・ＪＲ福知山線「丹波大山駅」下車、徒歩10分